

平成 2 3 年度

長久手市公共交通利用実態調査

結果報告書案

平成 2 4 年 2 月

長久手市地域公共交通会議

目 次

1 . 調査の実施方法	1
2 . アンケート設問設定の概要	4
3 . O D 調査の概要	10
4 . 調査の実施状況	12
5 . N - バス利用実態調査の結果	14
6 . アンケート結果の概要	31

1. 調査の実施方法

(1) 調査の目的

連携計画の目標の達成度など、事業の評価及び検証を行うために実施する。

(2) 調査項目

- ・バス利用実態調査（バス停別乗降客数調査、OD調査、利用者アンケート調査）
- ・住民アンケート調査

(3) N - バス利用実態調査

調査実施日

- ・10月19日（水） 予備日：10月20日（木）

始発バスから最終バスまで、終日全便を対象に実施

調査方法

1) バス停別乗降客数調査

調査員がバス車両に乗り込み、バス停別の乗降客数をカウントする。

2) OD調査

バス車両内の調査員が、乗車客に調査カードを配布し、降車時に調査カードを回収して乗降バス停を把握する。

N - バス同士の乗継が把握できるように、乗継利用者は調査カードを切り離し、乗継先の路線まで持参していただくようにする。

3) 利用者アンケート調査

バス車両に乗り込んだ調査員が、利用者に直接配布し、後日郵送回収する。

PR

アンケート協力のお礼とPRを兼ねて、携帯ストラップとマグネットクリップを、アンケート配布と同時に手渡しする。

(4) 住民アンケート調査

調査対象者と調査実施時期

市内在住の小学生以上の住民を対象とする。

調査方法と実施時期

1) 調査票の配布・回収

郵送配布を行い、返信用封筒を同封し、郵送により回収する。

郵送配布は、N - バス利用実態調査と同時期に実施する。

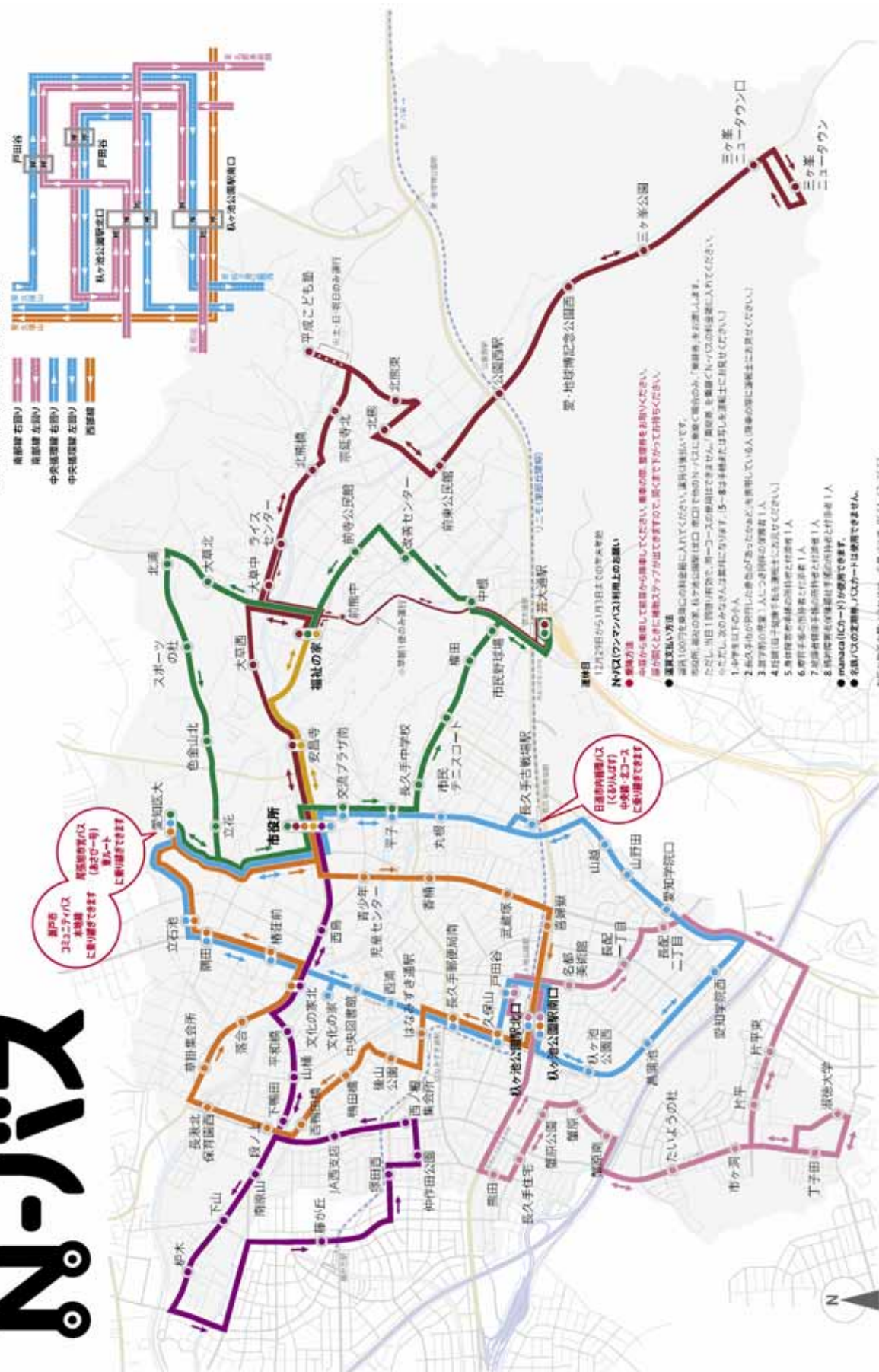
2) 配布対象者数

無作為抽出により、1,500人に対してアンケート調査票を配布する。

PR

市内の公共交通のPRを兼ねて、N - バス時刻表・ルート図、名鉄バス路線図・藤が丘バス停時刻表、リニモ時刻表を同封する。

秋ヶ池公園駅停留所周辺地図



N - バス路線図

(資料：長久手市ホームページ)

西部線

1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番
市役所	7:10	8:05	9:55	11:45	13:55	15:45
文化のまち	7:12	8:07	9:57	11:47	13:57	15:47
市役所	7:14	8:09	9:59	11:49	13:59	15:49
文化のまち	7:16	8:11	10:01	11:51	14:01	15:51
市役所	7:18	8:13	10:03	11:53	14:03	15:53
文化のまち	7:20	8:15	10:05	11:55	14:05	15:55
市役所	7:22	8:17	10:07	11:57	14:07	15:57
文化のまち	7:24	8:19	10:09	11:59	14:09	15:59
市役所	7:26	8:21	10:11	12:01	14:11	16:01
文化のまち	7:28	8:23	10:13	12:03	14:13	16:03
市役所	7:30	8:25	10:15	12:05	14:15	16:05
文化のまち	7:32	8:27	10:17	12:07	14:17	16:07
市役所	7:34	8:29	10:19	12:09	14:19	16:09
文化のまち	7:36	8:31	10:21	12:11	14:21	16:11
市役所	7:38	8:33	10:23	12:13	14:23	16:13
文化のまち	7:40	8:35	10:25	12:15	14:25	16:15

三ヶ峯線

1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番
市役所	7:10	8:05	9:55	11:45	13:55	15:45
文化のまち	7:12	8:07	9:57	11:47	13:57	15:47
市役所	7:14	8:09	9:59	11:49	13:59	15:49
文化のまち	7:16	8:11	10:01	11:51	14:01	15:51
市役所	7:18	8:13	10:03	11:53	14:03	15:53
文化のまち	7:20	8:15	10:05	11:55	14:05	15:55
市役所	7:22	8:17	10:07	11:57	14:07	15:57
文化のまち	7:24	8:19	10:09	11:59	14:09	15:59
市役所	7:26	8:21	10:11	12:01	14:11	16:01
文化のまち	7:28	8:23	10:13	12:03	14:13	16:03
市役所	7:30	8:25	10:15	12:05	14:15	16:05
文化のまち	7:32	8:27	10:17	12:07	14:17	16:07
市役所	7:34	8:29	10:19	12:09	14:19	16:09
文化のまち	7:36	8:31	10:21	12:11	14:21	16:11
市役所	7:38	8:33	10:23	12:13	14:23	16:13
文化のまち	7:40	8:35	10:25	12:15	14:25	16:15

※ 平日のみ運行



※ 平日のみ運行

福祉の乗車

1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番	8番	9番	10番	11番	12番	13番	14番	15番	16番
市役所	7:00	7:45	8:30	9:15	10:00	10:45	11:30	12:15	13:00	13:45	14:30	15:15	16:00	16:45	17:30
文化のまち	7:02	7:47	8:32	9:17	10:02	10:47	11:32	12:17	13:02	13:47	14:32	15:17	16:02	16:47	17:32
市役所	7:04	7:49	8:34	9:19	10:04	10:49	11:34	12:19	13:04	13:49	14:34	15:19	16:04	16:49	17:34
文化のまち	7:06	7:51	8:36	9:21	10:06	10:51	11:36	12:21	13:06	13:51	14:36	15:21	16:06	16:51	17:36
市役所	7:08	7:53	8:38	9:23	10:08	10:53	11:38	12:23	13:08	13:53	14:38	15:23	16:08	16:53	17:38

※ 平日のみ運行

中央循環線

1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番	8番	9番	10番	11番
市役所	7:12	8:00	8:52	9:47	10:42	11:37	12:32	13:27	14:22	15:17
文化のまち	7:14	8:02	8:54	9:49	10:44	11:39	12:34	13:29	14:24	15:19
市役所	7:16	8:04	8:56	9:51	10:46	11:41	12:36	13:31	14:26	15:21
文化のまち	7:18	8:06	8:58	9:53	10:48	11:43	12:38	13:33	14:28	15:23
市役所	7:20	8:08	9:00	9:55	10:50	11:45	12:40	13:35	14:30	15:25
文化のまち	7:22	8:10	9:02	9:57	10:52	11:47	12:42	13:37	14:32	15:27
市役所	7:24	8:12	9:04	9:59	10:54	11:49	12:44	13:39	14:34	15:29
文化のまち	7:26	8:14	9:06	10:01	10:56	11:51	12:46	13:41	14:36	15:31
市役所	7:28	8:16	9:08	10:03	10:58	11:53	12:48	13:43	14:38	15:33
文化のまち	7:30	8:18	9:10	10:05	11:00	11:55	12:50	13:45	14:40	15:35
市役所	7:32	8:20	9:12	10:07	11:02	11:57	12:52	13:47	14:42	15:37
文化のまち	7:34	8:22	9:14	10:09	11:04	11:59	12:54	13:49	14:44	15:39
市役所	7:36	8:24	9:16	10:11	11:06	12:01	12:46	13:41	14:36	15:31
文化のまち	7:38	8:26	9:18	10:13	11:08	12:03	12:48	13:43	14:38	15:33
市役所	7:40	8:28	9:20	10:15	11:10	12:05	12:50	13:45	14:40	15:35
文化のまち	7:42	8:30	9:22	10:17	11:12	12:07	12:52	13:47	14:42	15:37
市役所	7:44	8:32	9:24	10:19	11:14	12:09	12:54	13:49	14:44	15:39
文化のまち	7:46	8:34	9:26	10:21	11:16	12:11	12:56	13:51	14:46	15:41
市役所	7:48	8:36	9:28	10:23	11:18	12:13	12:58	13:53	14:48	15:43
文化のまち	7:50	8:38	9:30	10:25	11:20	12:15	13:00	13:55	14:50	15:45

南部線

1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番
市役所	7:14	8:05	9:55	11:45	13:55	15:45
文化のまち	7:16	8:07	9:57	11:47	13:57	15:47
市役所	7:18	8:09	9:59	11:49	13:59	15:49
文化のまち	7:20	8:11	10:01	11:51	14:01	15:51
市役所	7:22	8:13	10:03	11:53	14:03	15:53
文化のまち	7:24	8:15	10:05	11:55	14:05	15:55
市役所	7:26	8:17	10:07	11:57	14:07	15:57
文化のまち	7:28	8:19	10:09	11:59	14:09	15:59
市役所	7:30	8:21	10:11	12:01	14:11	16:01
文化のまち	7:32	8:23	10:13	12:03	14:13	16:03
市役所	7:34	8:25	10:15	12:05	14:15	16:05
文化のまち	7:36	8:27	10:17	12:07	14:17	16:07
市役所	7:38	8:29	10:19	12:09	14:19	16:09
文化のまち	7:40	8:31	10:21	12:11	14:21	16:11
市役所	7:42	8:33	10:23	12:13	14:23	16:13
文化のまち	7:44	8:35	10:25	12:15	14:25	16:15

鷹が丘線

1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番
市役所	7:10	8:05	9:55	11:45	13:55	15:45
文化のまち	7:12	8:07	9:57	11:47	13:57	15:47
市役所	7:14	8:09	9:59	11:49	13:59	15:49
文化のまち	7:16	8:11	10:01	11:51	14:01	15:51
市役所	7:18	8:13	10:03	11:53	14:03	15:53
文化のまち	7:20	8:15	10:05	11:55	14:05	15:55
市役所	7:22	8:17	10:07	11:57	14:07	15:57
文化のまち	7:24	8:19	10:09	11:59	14:09	15:59
市役所	7:26	8:21	10:11	12:01	14:11	16:01
文化のまち	7:28	8:23	10:13	12:03	14:13	16:03
市役所	7:30	8:25	10:15	12:05	14:15	16:05
文化のまち	7:32	8:27	10:17	12:07	14:17	16:07
市役所	7:34	8:29	10:19	12:09	14:19	16:09
文化のまち	7:36	8:31	10:21	12:11	14:21	16:11
市役所	7:38	8:33	10:23	12:13	14:23	16:13
文化のまち	7:40	8:35	10:25	12:15	14:25	16:15

東部線

1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番
市役所	7:10	8:05	9:55	11:45	13:55	15:45
文化のまち	7:12	8:07	9:57	11:47	13:57	15:47
市役所	7:14	8:09	9:59	11:49	13:59	15:49
文化のまち	7:16	8:11	10:01	11:51	14:01	15:51
市役所	7:18	8:13	10:03	11:53	14:03	15:53
文化のまち	7:20	8:15	10:05	11:55	14:05	15:55
市役所	7:22	8:17	10:07	11:57	14:07	15:57
文化のまち	7:24	8:19	10:09	11:59	14:09	15:59
市役所	7:26	8:21	10:11	12:01	14:11	16:01
文化のまち	7:28	8:23	10:13	12:03	14:13	16:03
市役所	7:30	8:25	10:15	12:05	14:15	16:05
文化のまち	7:32	8:27	10:17	12:07	14:17	16:07
市役所	7:34	8:29	10:19	12:09	14:19	16:09
文化のまち	7:36	8:31	10:21	12:11	14:21	16:11
市役所	7:38	8:33	10:23	12:13	14:23	16:13
文化のまち	7:40	8:35	10:25	12:15	14:25	16:15

※ 平日のみ運行

※ 平日のみ運行

２．アンケート設問設定の概要

（１）連携計画の評価のために必要となる指標

公共交通利用者数：10%増

公共交通の推進度：「進んでいない」25%未満（現状27.1%：市民意識調査）

公共交通転換者：調査段階ごとで増加

（２）設問設定の考え方

設問設定の考えは、連携計画の評価と利用実態の把握の把握に加え、昨年度の事後評価を踏まえた周知・広報に対する認知度や効果の把握と、N - バスの利用者が増えていることを踏まえて、変化の理由を把握することを重視して設問内容を設定した。

（３）利用者アンケート

設問の視点

設問内容は、下記の視点を考慮して設定した。

A．連携計画の評価

B．利用実態の把握

C．利用者の増加を踏まえた変化の実態把握

D．周知状況の認知と効果の把握

設問設定の概要

設問No	視点	備考
問１～８	B．利用実態の把握	
問９	A．連携計画の評価	連携計画の目標指標のうち、公共交通転換者を把握
問10～13	C．利用者の増加を踏まえた変化の実態把握	
問14	D．周知状況の認知と効果の把握	昨年の事後評価で情報周知の取り組みに対する二次評価を踏まえて、状況把握のために設定
問15	●属性把握	

N-バスの利用実態に関するアンケート調査のお願い

日ごろから市政の推進に格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

長久手町では、より便利な公共交通の実現を目指して、平成21年に『長久手町地域公共交通総合連携計画』を策定し、この計画に基づいて、平成21年度から順次様々な取り組みを実施しているところです。

N-バスについては一部見直しを行い、平成23年4月1日から運行を始めています。このたび、利用者のみなさまの利用状況やご意見をお聞きするために、アンケート調査を行うこととなりました。

お手数ですが、調査の趣意をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成23年10月 長久手町地域公共交通会議

●アンケートの回答・返信の方法

1. 行きと帰りと同じものをお受け取りになった方は、1組のみのご記入で構いません。
2. アンケートへのご回答は、すべて別紙の「アンケート調査票」に直接記入してください。
3. ご回答の厚は、あてはまる番号に○をつけるか、[] 内に必要なことをご記入ください。
4. 番号を選ぶ場合は、設問によって1つの場合と複数の場合がありますので、各設問の指示に従ってください。
5. ご記入になったアンケート調査票は、調査票が入っていた封筒に直接入れて、**平成23年10月31日(月)**までにポストにご投函ください。(切手は不要)

※ アンケートでご回答いただきました内容につきましては、統計的に処理します。みなさまの個人情報外部に開示することは一切ございません。

●お問い合わせ先

○ アンケートでご不明な点がございましたら、下記お問い合わせください。

調査主体：長久手町地域公共交通会議
事務局：長久手町 まちづくり推進部 企画政策課
〒480-1196 長久手町大字岩作字城の内6-0番地1
電話：0561-63-1111（内線254） FAX：0561-63-2100
担当：栗田・小田

調査受託者：サトーニチコンサルタント中部支社
担当部署：技術部 計画調査室
〒460-0008 名古屋市中区栄4-6-15 フォーティンビル5F
電話：052-262-4537 FAX：052-241-1887
担当：前田・福島

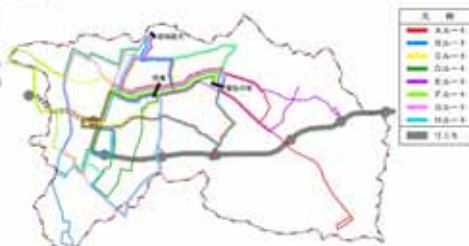
裏面に続きます。

時期によるN-バスの路線の違い

アンケート調査票の「問10」の記入の参考としてください。

1 平成21年9月1日以前

- ・多くのルートがありました。
- ・各ルートが町内の様々な地点を通る路線網でした。



2 平成21年9月1日から平成23年3月31日まで

- ・各ルートがなるべく同じ道路を通らないようにしました。
- ・N-バス同士を乗り継ぐバス停を定め、各路線を乗り継いで利用できるようにしました。
- ・全体の運行本数を増やしました。
- ・双方向で運行する区間を増やしました。



3 平成23年4月1日以降（現在）

- ・ルートが幹線地を、一部変更しました。
- ・車両を1台増やして全体の運行本数を増やしました。
- ・双方向で運行する区間を増やしました。



(4) 住民アンケート

設問の視点

設問内容は、下記の視点を考慮して設定した。

- A . 連携計画の評価
- B . 公共交通の利用実態の把握
- C . N - バスの利用実態の把握
- D . 周知状況の認知と効果の把握

設問設定の概要

設問No	視点	備考
問 1 ~ 2	B . 公共交通の利用実態の把握	公共交通の利用実態の把握
問 3	A . 連携計画の評価の把握	連携計画の目標指標のうち、公共交通転換者を把握
問 4 ~ 5	B . 公共交通の利用実態の把握	公共交通転換理由を補足的に把握
問 6 ~ 15	C . N - バスの利用実態	
問16 ~ 19	D . 周知状況の認知と効果の把握	昨年の事後評価で情報周知の取り組みに対する二次評価を踏まえて、状況把握のために設定
問20	A . 連携計画の評価の把握	連携計画の目標指標のうち、公共交通の推進度を把握
問21	● 情報提供媒体の閲覧状況の把握	
問22	● 属性把握	

公共交通の利用実態に関する住民アンケート調査票

日ごろから町政の推進に格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。
長久手町では、より便利な公共交通の実現を目指して、平成21年に『長久手町地域公共交通総合連携計画』を策定し、この計画に基づいて、平成21年度から順次様々な取り組みを実施しているところです。N-バスについては一部見直しを行い、平成23年4月1日から運行を始めています。

このたび、N-バスや公共交通に関する取り組みについて、町民のみなさまの意見をお聞きするために、アンケート調査を行うこととなりました。

本調査は、無作為に選ばれた小学生以上の町民1,500人を対象に、公共交通に関するみなさまのお考えやご意見をお聞きするものです。お手数ではございますが、調査の趣意をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成23年 10月 長久手町地域公共交通会議

アンケートの回答・返信の方法

1. お送りした封筒の**あて名の方**がお答えください。小中学生の場合は、ご家族の方が手紙で返してください。
2. アンケートへのご回答は、すべてこの**アンケート調査票に直接記入**してください。
3. ご回答の際は、**あてはまる番号に○をつけるか、() 内に必要なことをご記入**ください。
4. 番号を選ぶ場合は、設問によって**1つの場合と複数の場合**がありますので、各設問の指示に従ってください。
5. ご記入になったアンケート調査票は同封の返信用封筒に入れて、**10月31日(月)**までにポストにご返送ください。(切手は不要)

※ アンケートでご回答いただきました内容につきましては、統計的に処理します。みなさまの個人情報が外部に漏洩することは一切ございません。

お問い合わせ先

調査主体: 長久手町地域公共交通会議	調査受託者: 湘トータルソリューションズ株式会社
事務局: 長久手町 まちづくり推進部 企画政策課 (担当: 桑田・小田)	担当部署: 技術部 計画調査室 (担当: 前田・福島)
〒480-1198 長久手町大字岩作字城の内60番地1 電話: 0561-63-1111 (内線254) FAX: 0561-63-2100	〒480-0908 名古屋市中区4-6-15 フォーティンエスセンタービル 電話: 052-282-4537 FAX: 052-241-1815

設問の構成

設問の主な内容	問番号	掲載ページ
1. 普段の公共交通の利用について	問1～問5	P2
2. N-バスの利用について	問6～問15	P3～4
3. 町の公共交通に関する取り組みについて	問16～問20	P4～6
4. あなたご自身について	問21～問22	P7

1

2. N-バスの利用についてお聞きします。

問6 - あなたは町内を走るN-バスを利用したことがありますか？ あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 利用したことがある | ⇒【問7へお進みください】 |
| 2. 利用したことはない | ⇒【問14へお進みください】 |

問7 - N-バスを利用したことがある時期はいつですか？ 利用時期(1欄)1～3のうち、あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で最も利用しやすかった時期(2欄)の番号1つに○をつけてください。
※時期によるN-バスの路線の違いは、本用紙の8ページを参考にしてください。

	平成21年 9月1日 利用し (1年前)	平成23年 9月1日 見直し (今年)	
【回答欄】	1	2	3
① 利用時期			
② 最も利用しやすかった時期	1	2	3

⇒①利用時期で【3】に○印をつけていない方は
【問12へお進みください】

問8 - 今年4月1日以降、どの路線を利用したことがありますか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|-------------|----------|--------|
| 1. 中央循環線右回り | 2. 中央循環線左回り | 3. 福祉の玄関 | 4. 西部線 |
| 5. 南部線右回り | 6. 南部線左回り | 7. 藤が丘線 | 8. 東部線 |
| 9. ミツ峯線 | 10. ミツ峯線 早便 | | |

問9 - 普段、N-バスをどれくらい利用していますか？ あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|------------------|------------|-----------|-----------|---------|
| 1. 週に5日以上 | 2. 週に3～4日 | 3. 週に1～2日 | 4. 月に1～2日 | 5. 年に数回 |
| 6. 雨など天気が悪いときに利用 | 7. その他 () | | | |

問10 - 普段、N-バスをどのような移動目的で利用していますか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|-------|--------------|------------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 通院、福祉サービス | 4. 買い物 |
| 5. 娯楽・社交・食事 | 6. 業務 | 7. 帰宅 | 8. その他 () |

問11 - N-バスを使ってよく行く場所はどこですか？ 具体的な施設名とその利用頻度を、よく行く順に2カ所までご記入ください。行き先が長久手町内の場合は住所(大字・字名まで)を、長久手町外の場合は市町名をご記入ください。

よく行く場所① (施設名)	住所: 長久手町内の場合 () 市・町		
よく行く場所② (施設名)	住所: 長久手町外の場合 () 市・町		
よく行く場所①の利用頻度	1. 週に5日以上	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日
	4. 月に1～2日	5. 年に数回	
よく行く場所②の利用頻度	1. 週に5日以上	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日
	4. 月に1～2日	5. 年に数回	

問11を終えた方は、問16へお進みください

2

1. 普段の公共交通の利用についてお聞きします。

「普段」については、平日の通勤・通学、買物、通院などの日常的な移動に関してお答えください。

問1 - あなたはどれくらいの頻度で町内の公共交通(リニモ、名鉄バス、N-バス)を利用していますか？ あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|------------------|------------|-----------|-----------|---------|
| 1. 週に5日以上 | 2. 週に3～4日 | 3. 週に1～2日 | 4. 月に1～2日 | 5. 年に数回 |
| 6. 雨など天気が悪いときに利用 | 7. その他 () | | | |

問2 - 町内の公共交通は、どのような移動目的で利用していますか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|-------|--------------|------------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 通院、福祉サービス | 4. 買い物 |
| 5. 娯楽・社交・食事 | 6. 業務 | 7. 帰宅 | 8. その他 () |

問3 - あなたは昨年と比べて、町内の公共交通の利用機会はどのように変わりましたか？ あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|---------------|
| 1. 増えた | ⇒【問4へお進みください】 |
| 2. 少し増えた | |
| 3. 変わらない | ⇒【問6へお進みください】 |
| 4. 少し減った | |
| 5. 減った | ⇒【問5へお進みください】 |

問4 - 公共交通の利用頻度が増えたのは、どのような理由からですか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 公共交通が便利になった | 2. 経済性を考慮して公共交通利用に変えた |
| 3. 安く利用できる年齢になった | 4. 目的地が変わった |
| 5. 車が自由に使えるようになった | 6. 他人の送迎に頼れなくなった |
| 7. 利用促進に貢献するため意識的に利用 | 8. 送迎を考慮して意識的に利用 |
| 9. 情報を知り便利になった | 10. その他 () |

問4を終えた方は、問6へお進みください

問5 - 公共交通の利用頻度が減ったのは、どのような理由からですか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 公共交通が不便になった | 2. 経済性を考慮して車利用に変えた |
| 3. 経済性を考慮して徒歩・自転車利用に変えた | 4. 目的地が変わった |
| 5. 車が自由に使えるようになった | 6. 他人の送迎に頼れるようになった |
| 7. 他人を送迎する機会が増えた | 8. その他 () |

2

問12 - 以前利用していたN-バスの代わりに、現在使っている交通手段はどれですか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|------------|---------|------------|---------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク・原付 | 4. 自動車(自分で運転) |
| 5. 自動車(送迎) | 6. タクシー | 7. 名古屋市営バス | 8. 名鉄バス |
| 9. その他のバス | 10. リニモ | 11. 外出をやめた | 12. その他 () |

問13 - N-バスを利用しなくなった理由は何ですか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 乗換えが必要になったから | 2. ルートが回りになったから |
| 3. 目的地まで時間がかかるようになったから | 4. ルートが分りにくくなったから |
| 5. ダイヤが分りにくくなったから | 6. 利用できるダイヤがなくなったから |
| 7. 頻りに利用できる便がなくなったから | 8. 自宅からバス停が遠くなったから |
| 9. バス停が目的地から遠くなったから | 10. 目的地が変わったから |
| 11. 他の交通手段を使うようになったから | 12. 他に理由は無い |
| 13. その他 () | |

問13を終えた方は、問15へお進みください

問14 - N-バスを利用していない理由は何ですか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------------|------------------------|-------------|
| 1. 行きたいところに行けない | 2. 料金が高い | 3. 始発の時間が早い |
| 4. 最終の時間が早い | 5. 運行本数が少ない | 6. バス停が遠い |
| 7. 時刻表とりに来ない | 8. 目的地まで時間がかかる | 9. 乗換えが不便 |
| 10. 公共交通を乗り継ぐと運賃が高い | 11. バスがどのように走っているか知らない | |
| 12. 車の方が便利 | 13. その他 () | |

問15 - 問13、または問14で回答した理由が解決すれば、N-バスを利用しますか？ あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1. 必ず利用する | 2. たぶん利用する | 3. たぶん利用しない |
| 4. 絶対利用しない | 5. わからない | |

3. これまでの町の公共交通に関する取り組みについてお聞きします。

問16 - 長久手町では、今後の公共交通の取り組みなどをまとめた「長久手町地域公共交通総合連携計画」を平成21年9月に策定しました。このことをあなたはご存知でしたか？ あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 計画をつくったこともその内容も知っている | ⇒【問17へお進みください】 |
| 2. 計画をつくったことだけは知っている | ⇒【問17へお進みください】 |
| 3. 全く知らなかった | ⇒【問18へお進みください】 |

4

問 17 - 「長久手町地域公共交通総合連携計画」は、どのように知りましたか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 町のホームページ | 2. 広報紙（広報ながくて） |
| 3. 地域公共交通会議 | 4. 昨年のアンケート調査 |
| 5. 町役場 | 6. その他（ ） |

問 18 - Nーバスは平成23年4月1日から一部見直しで運行を始めていますが、あなたはこのことを何で知りましたか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------------------|------------------------|--------|
| 1. 町のホームページ | 2. 広報紙（広報ながくて） | 3. 回覧物 |
| 4. 各戸への案内の配布物 | 5. 町内主要施設での配布または掲示物 | |
| 6. Nーバスを利用した際の掲示物 | 7. ケーブルテレビ（ひまわりネットワーク） | |
| 8. 新聞記事 | 9. 利用者から | |
| 10. その他（ ） | | |
| 11. 知らなかった（今回初めて知った） | □【問20へお進みください】 | |

問 19 - Nーバスの今年4月1日からの見直しに際して、利用促進のための周知・広報活動を行いました。下の表の①～⑨の項目すべてについて、認知状況（知っていたか）と、効果（役に立ったか）に関し、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

周知・広報活動	認知状況 (知っていたか)			効果 (役に立ったか)		
	1	2	3	1	2	3
	4 知月 以前に	4 知月 以降に	4 知月 以降に 初めて知った	役に 立った	役に 立たなかった	役に 立たなかった
① 町のホームページでNーバスの情報が公開されていること	1	2	3	1	2	3
② 町の広報紙で見直しに関する特設記事が掲載されたこと	1	2	3	1	2	3
③ 路線図・時刻表があること	1	2	3	1	2	3
④ ポケットサイズの時刻表があること	1	2	3	1	2	3
⑤ 路線図・時刻表が回覧板で各戸に回覧されたこと	1	2	3	1	2	3
⑥ 路線図・時刻表が広報紙と一緒に各戸に配布されたこと	1	2	3	1	2	3
⑦ 路線図・時刻表が町内の主要施設にあること	1	2	3	1	2	3
⑧ 見直し案内が4月以前にNーバスの車内に掲示されたこと	1	2	3	1	2	3
⑨ 見直し案内が4月以前にNーバスのバス停に掲示されたこと	1	2	3	1	2	3
⑩ 隣接する日進市・尾張旭市・瀬戸市のコミュニティバスと接続していることの情報	1	2	3	1	2	3

問 20 - 町がこれまでに取り組んできた、公共交通を便利にする様々な施策について、長久手町は近隣市町と比べて、どの程度進んでいるとお考えですか。〔① Nーバス〕、〔② 名鉄バス〕、〔③ リニモ〕、〔④ 町全体の公共交通として〕のA～Dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。
また、具体的な理由がありましたら、右欄にご記入ください。

取り組み	1	2	3	4	具体的な理由がありましたらご記入ください
	進んでいる	どちらともいえない	進んでいない	わからない	
A. 利便性の向上	1	2	3	4	
B. 分かりやすい情報の提供	1	2	3	4	
C. 利用者の意見の反映	1	2	3	4	
D. 全体として	1	2	3	4	

取り組み	1	2	3	4	具体的な理由がありましたらご記入ください
	進んでいる	どちらともいえない	進んでいない	わからない	
A. 利便性の向上	1	2	3	4	
B. 分かりやすい情報の提供	1	2	3	4	
C. 利用者の意見の反映	1	2	3	4	
D. 全体として	1	2	3	4	

取り組み	1	2	3	4	具体的な理由がありましたらご記入ください
	進んでいる	どちらともいえない	進んでいない	わからない	
A. 利便性の向上	1	2	3	4	
B. 分かりやすい情報の提供	1	2	3	4	
C. 利用者の意見の反映	1	2	3	4	
D. 全体として	1	2	3	4	

取り組み	1	2	3	4	具体的な理由がありましたらご記入ください
	進んでいる	どちらともいえない	進んでいない	わからない	
A. 利便性の向上	1	2	3	4	
B. 分かりやすい情報の提供	1	2	3	4	
C. 利用者の意見の反映	1	2	3	4	
D. 全体として	1	2	3	4	

4. あなたご自身についてお聞きします。

問 21 - 町のホームページ、町広報紙「広報ながくて」、地元回覧板の閲覧状況（見ているか）について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|------------------------------|--------------|--------------------|----------------------------|---------------------|
| 〔① 町ホームページ〕 | | | | |
| 1. よく見る | 2. 必要な時にのみ見る | 3. パソコンはあるがほとんど見ない | | |
| 4. ホームページがあることを知っているがまったく見ない | | | 5. パソコンはあるが閲覧を知らない | |
| 6. ホームページがあることを知らない | | | 7. パソコンがないので、ホームページを閲覧できない | 8. ホームページのことをよく知らない |
| 〔② 町広報紙「広報ながくて」〕 | | | | |
| 1. ほぼ毎日見る | 2. 時々見る時がある | 3. ほとんど見ない | | |
| 4. 広報紙があることを知っているがまったく見ない | | | 5. 広報紙があることを知らない | |
| 〔③ 地元回覧板〕 | | | | |
| 1. ほぼ毎日見る | 2. 時々見る時がある | 3. ほとんど見ない | 4. まったく見ない | |

問 22 - 下記の設問について、それぞれお答えください。

- 性別：〔 〕 歳 ● 性別： 男 ・ 女
- 住所：長久手町〔 〕 市大字または町名までご記入ください。（「大字〇〇 字〇〇」まで）
- 長久手町に移り住んだ時期 昭和・平成〔 〕 年ごろから
- 職業： 1. 会社員・公務員 2. 自営業 3. 無職
4. パート・アルバイト・派遣社員・契約社員 5. 大学・専門学校・高校生
6. 高校生 7. 小学生・中学生 8. 専業主婦（夫） 9. 無職
10. その他〔 〕
- 自動車運転免許を持っていますか？ 1. 持っている 2. 持っていない
- 自転車に乗る自転車を持っていますか？ 1. 持っている 2. 持っていない

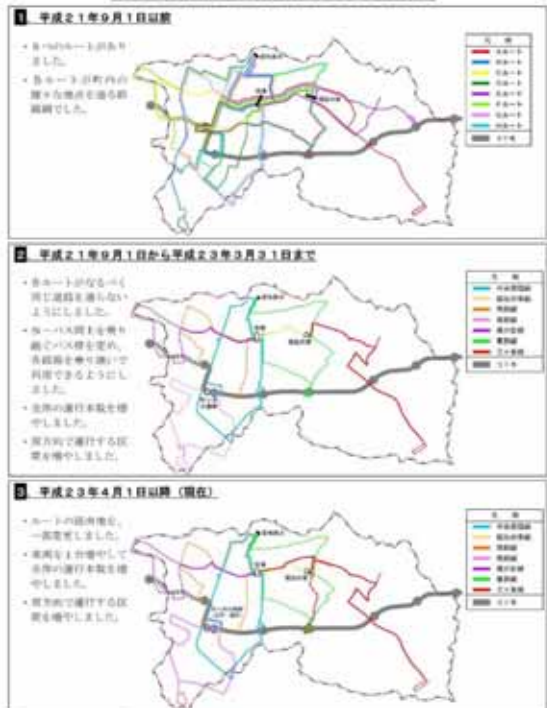
◆ 長久手町の公共交通について、ご意見がございましたら自由にご記入ください。
※いただいたご意見などに対して、適切な回答はいたしませんのでご了承ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

集計結果は統計的に処理しますので、個人情報が公表されることは一切ありません。

時期によるNーバスの路線の違い

アンケート調査票の「問7」の記入を参考にしてください。



3 . O D 調査の概要

O D 調査は、次の要領で実施した。

N - バスの乗り継ぎ経路も含めた、連続的なO Dが把握できるようにする。

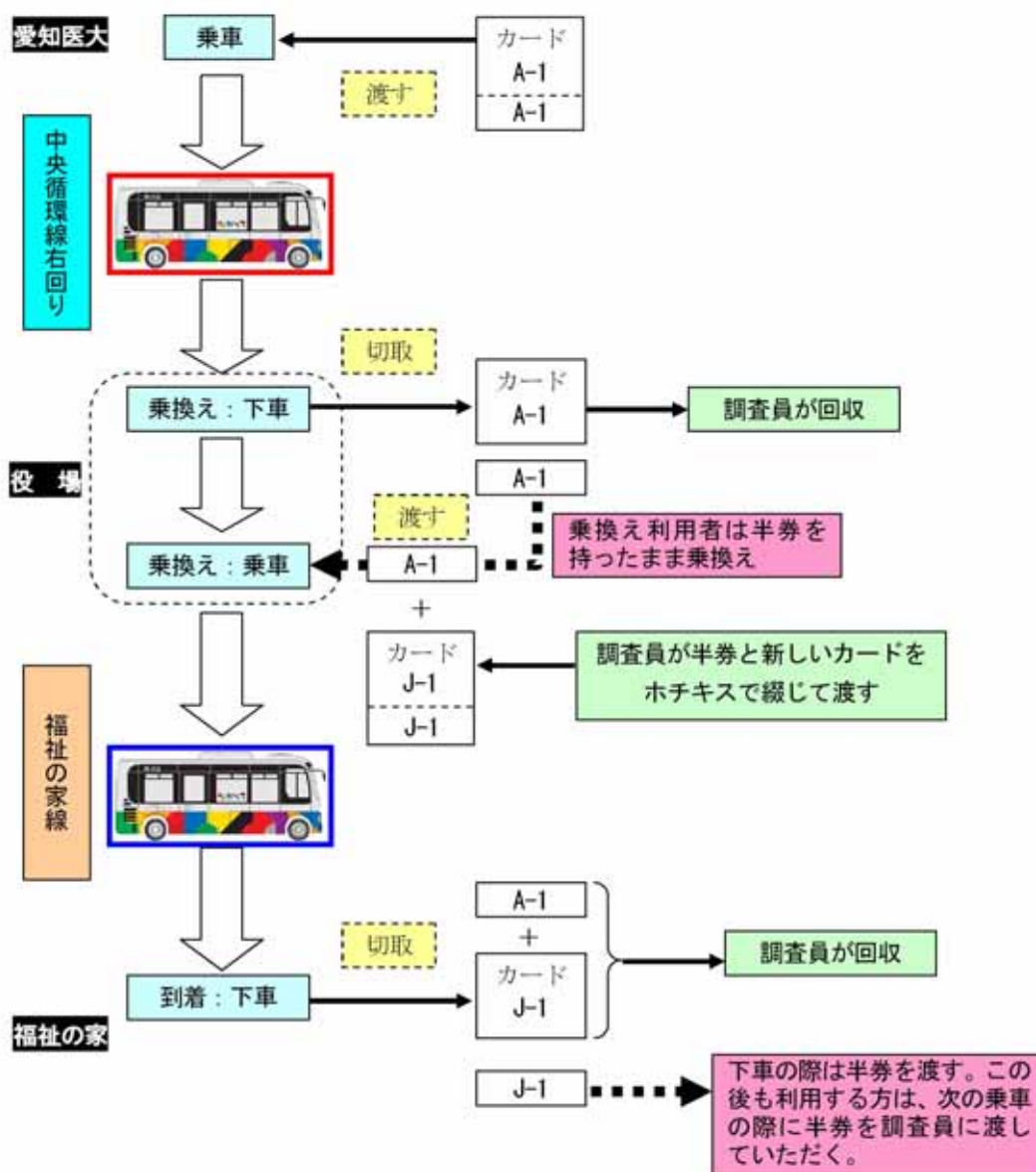
方法は、降車する際に調査員が半券を切り取り、記入カード部分（上側）を回収し、半券（下側）を利用者に渡し、次に利用する路線まで持参していただく。

乗り継ぎ先の路線では、利用者は半券を調査員に渡していただき、その半券と新たな調査カードの上側とホチキスで綴じる。これにより、通し番号がつながり、乗継経路が把握できる。

上記の ～ を終日繰り返し、通し番号をつなげて整理して、連続的なO Dを把握する。

半券の紛失があったとしても、カード上側の記入カードは回収するので、最低限のO D情報は得られる。

例）愛知医大から役場で乗換えて福祉の家に向かう利用者の場合



A5サイズ：両面モノクロ印刷（厚紙使用）
（クリップタイプの鉛筆をつけて、表面は利用者に直接記入してもらいます。）

表 面	
●お客さまご利用調査カード● Nーバスのご利用ありがとうございます。 本日ご利用のお客さまに、利用者調査を実施しております。 以下の（１）～（４）の設問について、該当する番号にそれぞれ１つだけ ○をつけてください。 このカードは、降りるときに調査員にお渡しください。 お手数をお掛けしますが、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。 <u>※裏面は調査員が記入しますので、この表面のみご記入ください。</u> （１）お住まいはどこですか。 1. 長久手町内 2. 長久手町外 （２）運賃の支払いは、次のうちどちらですか。 1. 現金 2. マナカ 3. 乗継券 4. 無料 （３）Nーバスに乗車するまでにご利用になった交通手段は、どれですか。 1. 徒歩 2. 自転車 3. 車送迎 4. 地下鉄 5. リニモ 6. Nーバス 7. 名鉄バス 8. 他のバス 9. その他 （４）Nーバスを降車したあとにご利用予定の交通手段は、どれですか。 1. 徒歩 2. 自転車 3. 車送迎 4. 地下鉄 5. リニモ 6. Nーバス 7. 名鉄バス 8. 他のバス 9. その他 お願い 点線で切り取った、こちら側のカードは、そのままお持ちになり、次にNーバスに乗車されるとき、忘れずに乗車口の調査員へお渡しください。 (本日のみ)	

路線ごとで、通し番号を予め決めておきます。

A-1～：中央循環線右回り	D-1～：南部線右回り	G-1～：東部線	J-1～：福祉の家線
B-1～：中央循環線左回り	E-1～：南部線左回り	H-1～：三ヶ峯線	
C-1～：西部線	F-1～：藤が丘線	I-1～：三ヶ峯線早朝便	

裏 面	
下の欄は調査員が記入しますので、お客さまの記入は不要です。表面のみご記入をお願いします。 調査員用チェック欄（男・女・子供） 乗車（配布前に赤チェック）／降車（回収後に青チェック） 便番号	
中央循環線右・左 01 夜場 02 愛知医大 03 立石池 04 隅田 05 榑庄前 06 文化の家 07 中央図書館 08 西浦 09 長久手郵便局南 10 久保山 11 戸田谷 12 秋ヶ池公園南口 13 秋ヶ池公園西 14 直瀬池 15 愛知学院西 16 愛知学院口 17 山野田 18 山越 19 長久手古戦場駅 20 丸根 21 平子 22 交流プラザ南 西部線 23 夜場 24 青少年児童センター 25 香橋 26 武蔵塚 27 喜崎塚 28 秋ヶ池公園南口 29 久保山 30 長久手郵便局南	31 はなみずき通駅 32 後山公園 33 鴨田橋 34 西鴨田橋 35 段ノ上 36 長沢北保育園西 37 草根集会所 38 香合 39 文化の家北 40 榑庄前 41 隅田 42 立石池 43 愛知医大 44 秋ヶ池公園南口 45 熊田 46 長久手住宅 47 榑原公園 48 榑原 49 榑原南 50 たいようの杜 51 市ヶ原 52 敬徳大学 53 丁子田 54 片平 55 片平東 56 長配二丁目 57 長配一丁目 58 名都美術館 59 戸田谷 60 秋ヶ池公園北口 藤が丘線 61 夜場 62 西島 63 文化の家北 64 平和橋 65 山越 66 下鴨田 67 南原山 68 下山 69 榑木 70 藤が丘 71 榑田西 72 神作田公園 73 西ノ根集会所 74 J A西支店 東部線 75 夜場 76 交流プラザ南 77 平子 78 長久手中学校 79 町民センター 80 榑田 81 町民野球場 82 雲大通駅 83 中根 84 改修センター 85 前寺公民館 86 福祉の家 87 大草北 88 北浦 89 スポーツの杜 90 色金山北 三ヶ峯線 91 立花 92 愛知医大 93 夜場 94 安昌寺 95 大草西 96 福祉の家 97 大草中 98 ライスセンター 99 北東橋 100 宗延寺北 101 北東東 102 北東 103 前東公民館 104 公園西駅 105 愛・地鉄博記念公園西 106 三ヶ峯公園 107 三ヶ峯ニュータウン口 108 三ヶ峯ニュータウン 三ヶ峯線早朝便 109 ライスセンター 110 大草中 111 福祉の家 112 前東中 113 雲大通駅 福祉の家線 114 夜場 115 安昌寺 116 福祉の家
お願い 点線で切り取った、こちら側のカードは、そのままお持ちになり、次にNーバスに乗車されるとき、忘れずに乗車口の調査員へお渡しください。 (本日のみ)	

4 . 調査の実施状況

(1) 実施時期

N - バス利用実態調査及び住民アンケート調査は、下表のとおり実施した。

表 調査項目と調査日

調査項目	調査項目		調査対象	調査日
	乗降調査	アンケート調査		
N - バス利用者実態調査	乗降者数 OD調査	●	全路線・全便	H23.10.19(水)：晴れ アンケート回収期限10/31
住民アンケート調査	-	●	市民1,500人 (無作為抽出)	H23.10.18郵送配布 アンケート回収期限10/31

(2) 配布・回収状況

アンケートの配布数と回収数は、下表のとおりとなった。

表 アンケート・ODカードの配布・回収状況

調査			数量・比率	備考
N - バス利用者数			604	遠足の園児数を除いた数 (前回:508人)
N - バス OD調査	配布対象数	a	570	三ヶ峯線第1便で通学する小学生を除いた数
	回収数	b	566	
	回収率	b/a	99.3%	(前回:95.1%)
N - バス利用者 アンケート調査	実利用者数	c	391	乗継や往復利用を除いた数
	配布数	d	218	
	配布率	d/c	55.8%	(前回:82.8%)
	回収数	e	98	(前回:130通)
	回収率	e/d	45.0%	(前回:42.8%)
住民アンケート調査	配布数	f	1,500	
	回収数	g	634	
	回収率	g/f	42.3%	(前回:38.5%)

路線別回収状況

概ね路線の利用者数に応じた回答数となっている。

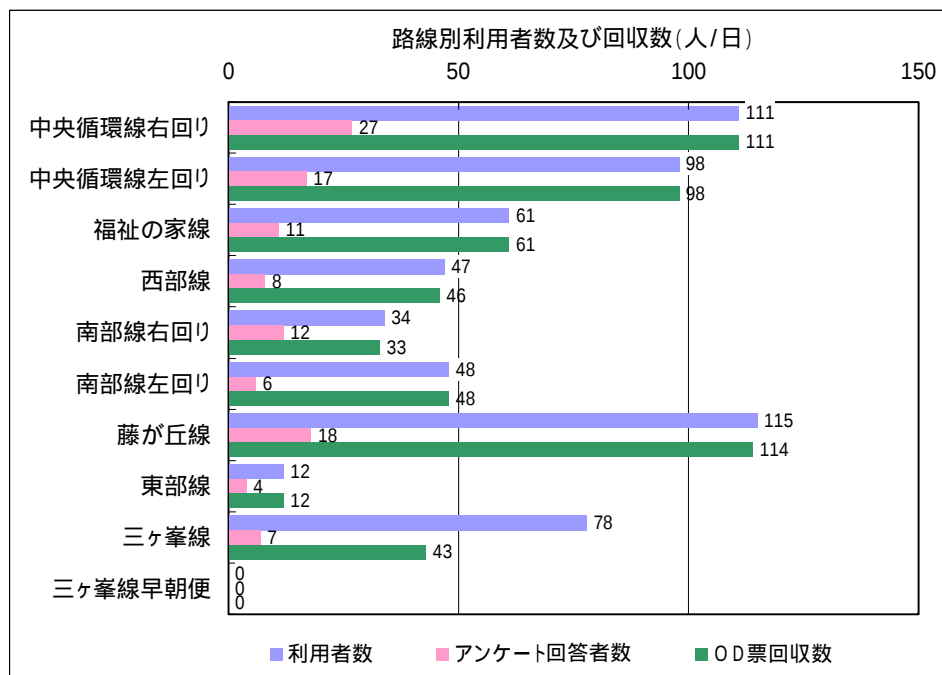


図 路線別の利用者数

アンケート回答者の年齢構成

利用者アンケートでは、運行への影響を考慮して三ヶ峯線で通学する小学生への利用者アンケートの配布は行わなかったため(前回も配布) 前回調査から通学目的の小学生を除いて比較すると、20～30代と80代以上の比率が増えている。

住民アンケートでは、年齢構成に大きな偏りはない結果となっている。

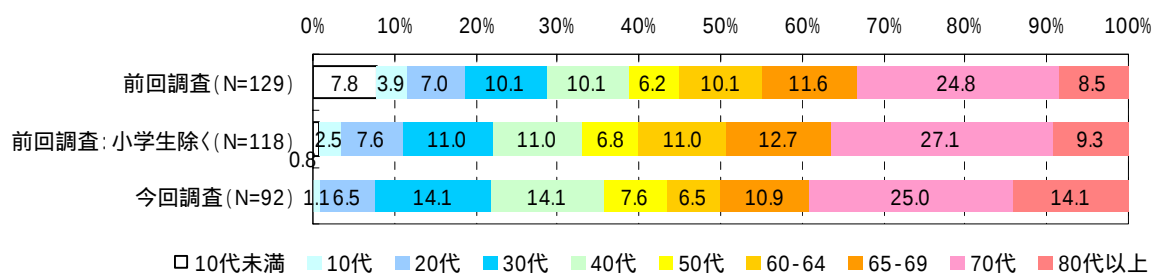


図 利用者アンケート回答者の年齢構成(不明除く)

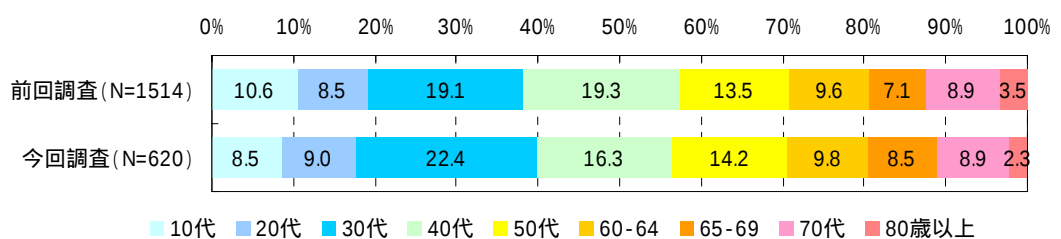


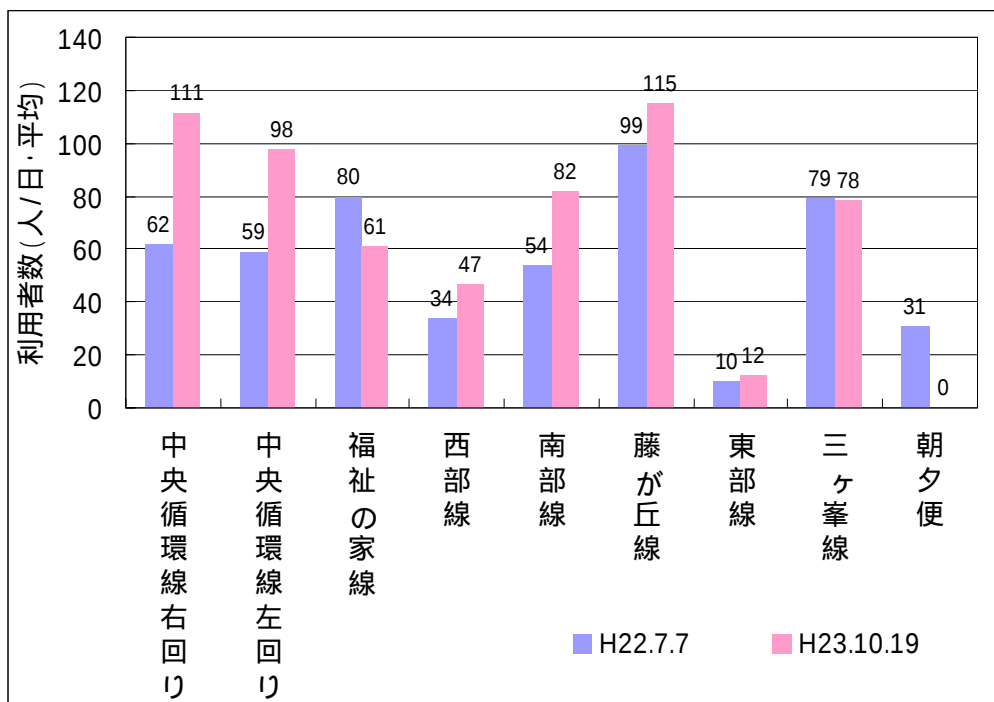
図 住民アンケート回答者の年齢構成(不明除く)

5 . N - バス利用実態調査の結果

(1) 路線別利用者数

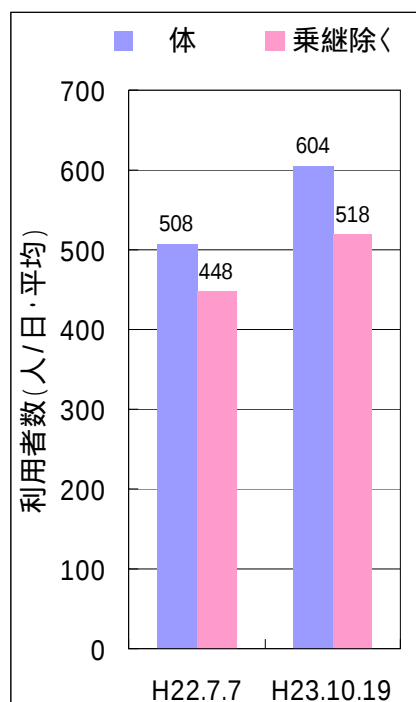
今回の調査では、路線別の利用者数は昨年の前回調査と比べて増加しており、見直しによる効果が表れた結果となっている。

乗継利用を除いた利用者数も、前回調査と比べて約16%増加している。



(N - バス乗降客数調査)

図 前回調査 (H22.07.07) と今回調査 (H23.10.19) と比べた路線別利用者数



(N - バス乗降客数調査)

図 前回調査と今回調査の全体利用者数と乗継を除いた利用者数

(2) 便別利用者数

全体では午前中に利用者が多い傾向にあるが、路線別では福祉の家線、南部線、藤が丘線、東部線は、午後の利用割合が多くなっている。

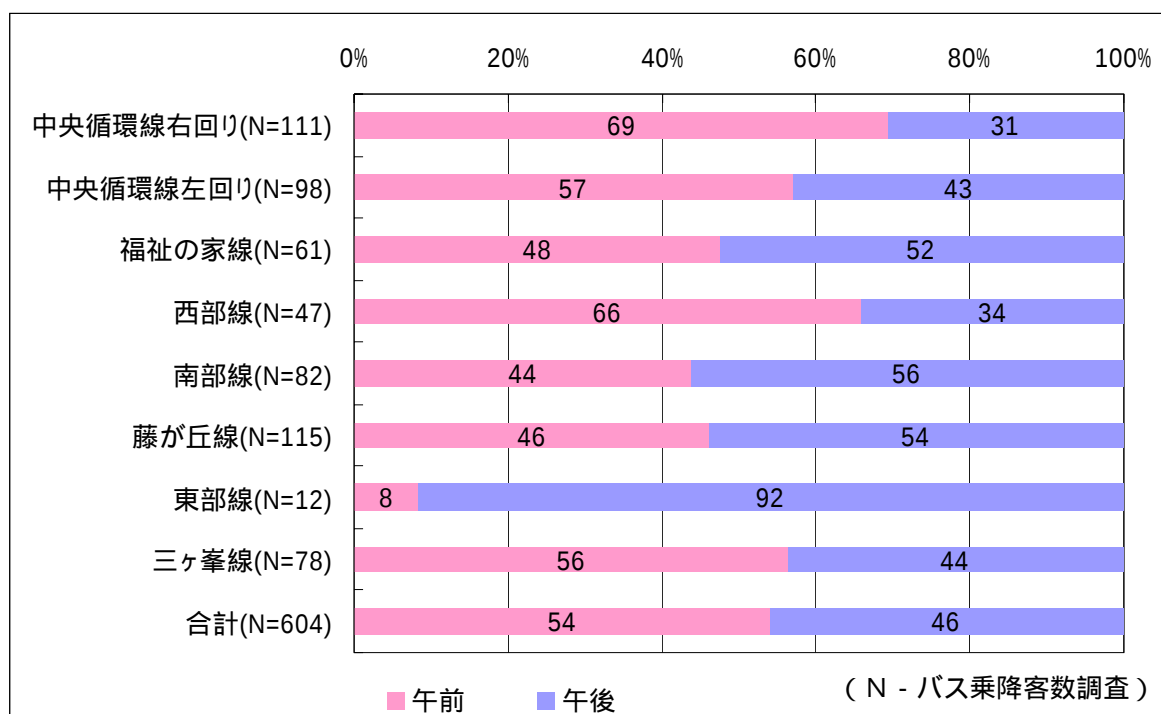
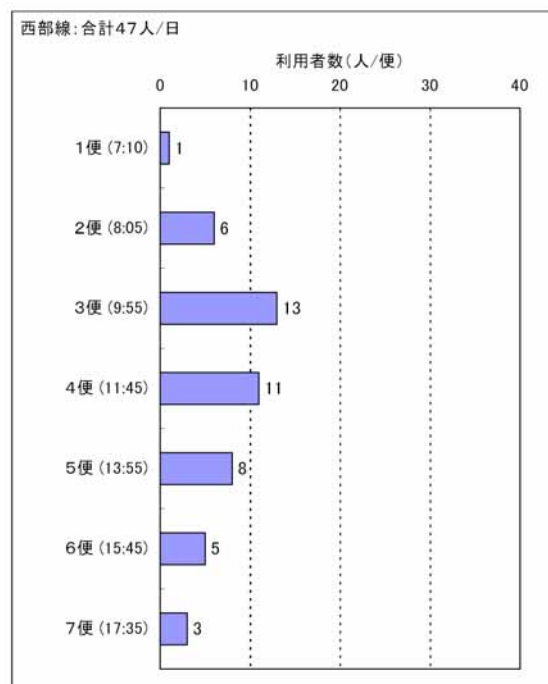
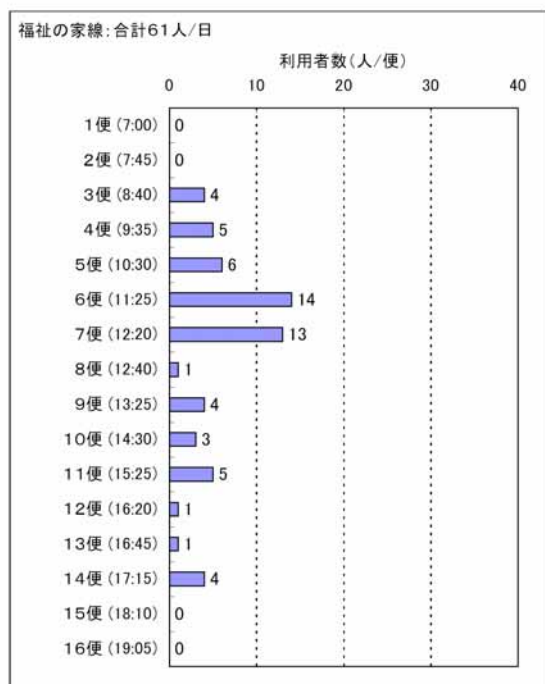
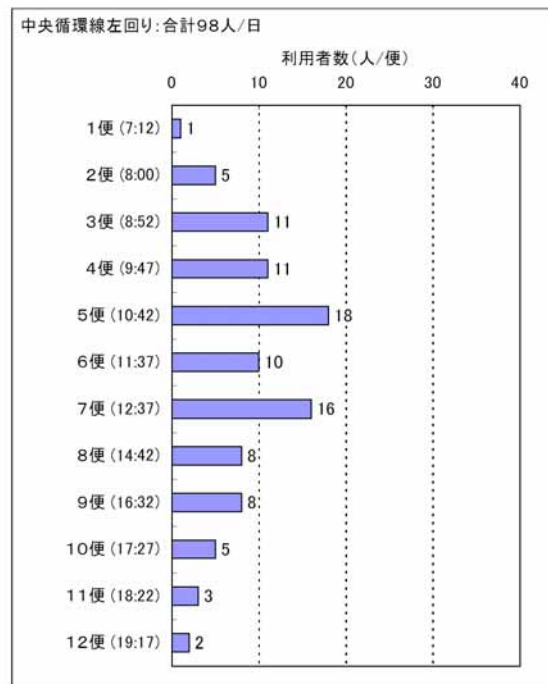
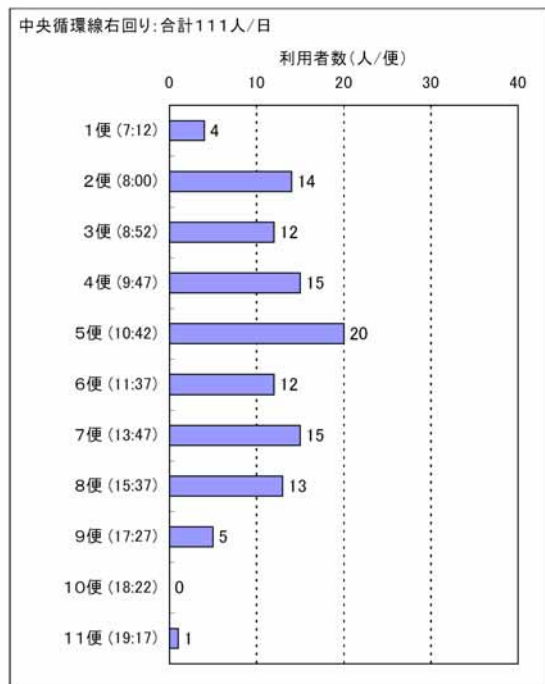
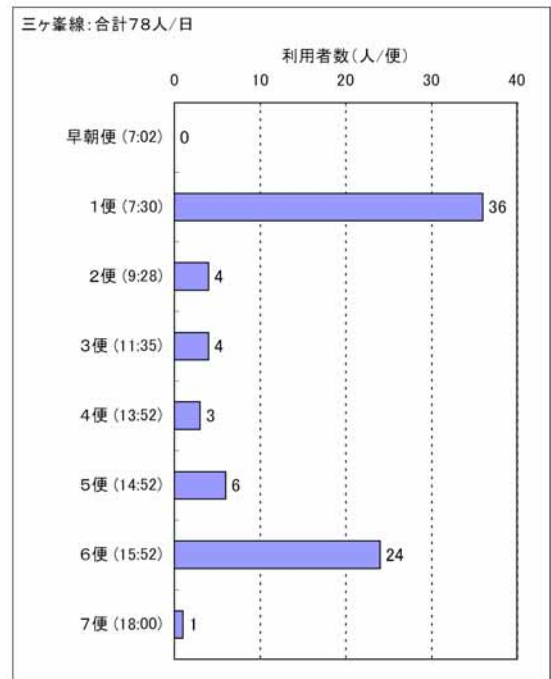
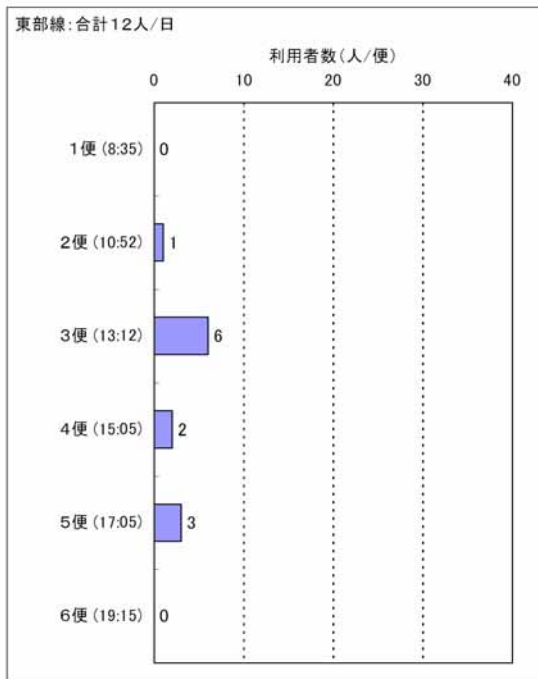
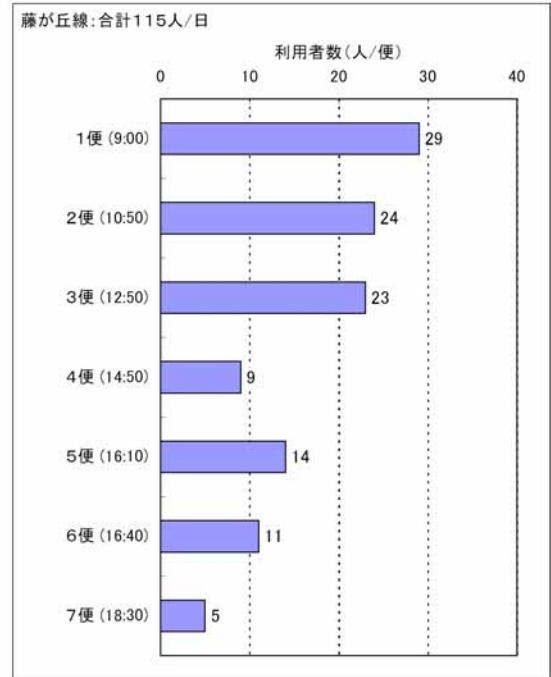
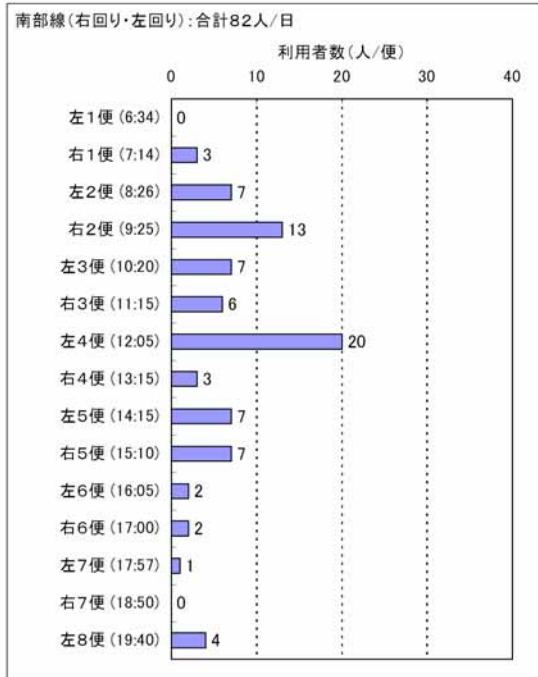


図 昼間便の午前・午後の利用割合



(N - バス乗降客数調査)

図 路線別便別利用者数 (1 / 2)



(N - バス乗降客数調査)

図 路線別便別利用者数 (2 / 2)

(3) バス停別利用者数

路線別のバス停別利用者数について、次頁と次々頁に示した。

利用の主な特徴は、下記の通りである。

1) 中央循環線：右回り

乗車利用は役場が25人/日で最も多く、次いで戸田谷(18人/日) 杵ヶ池公園駅北口(8人/日) 長久手郵便局南(8人/日)などのリニモ沿いのバス停での多さが目立つ。

降車利用は役場が27人/日、愛知医大が26人/日と目立って多い。

2) 中央循環線：左回り

乗車利用は役場が24人/日で最も多く、次いで愛知医大(18人/日)やアピタに近い戸田谷(16人/日)の多さが目立つ。

降車利用は戸田谷が22人/日で最も多く、次いで役場(17人/日) 長久手郵便局南(13人/日)の多さが目立つ。

3) 福祉の家線

乗降ともに、役場(乗車29人/日、降車23人/日)と福祉の家(乗車22人/日、降車36人/日)での利用が主体となっている。

4) 西部線

乗車利用は役場が15人/日で最も多く、次いで杵ヶ池公園駅南口(7人/日)の多さが目立つ。

降車利用は役場が14人/日で最も多く、次いで愛知医大(6人/日) 杵ヶ池公園駅南口(6人/日) 西鴨田橋(5人/日)が多くなっている。

5) 南部線

右回りでは、乗車利用は杵ヶ池公園駅北口(7人/日)と市ヶ洞(7人/日)が多く、降車利用は杵ヶ池公園駅北口(10人/日)の多さが目立つ。

左回りでは、乗車利用は杵ヶ池公園駅南口(24人/日)が突出して多く、降車利用は丁子田(10人/日)の多さが目立ち、次いで淑徳大学(6人/日) 熊田(6人/日)が多くなっている。

6) 藤が丘線

乗降ともに、役場(乗車21人/日、降車27人/日)と藤が丘(乗車28人/日、降車45人/日)での利用が主体となっている。

その他は、役場から藤が丘に向かう方向で、文化の家北～杵木間で利用が多くなっている。

7) 東部線

乗車利用は福祉の家(7人/日) 降車利用は役場(7人/日)で多いが、全体的に少ない。

8) 三ヶ峯線

小学児童が利用する三ヶ峯ニュータウン口(乗車26人/日) 三ヶ峯ニュータウン(降車15人/日)と前東公民館(乗車17人/日、降車34人/日)の利用が突出している。

その他では、福祉の家(乗車6人/日、降車7人/日) 公園西駅(乗車9人/日、降車5人/日)で多さが目立つ。

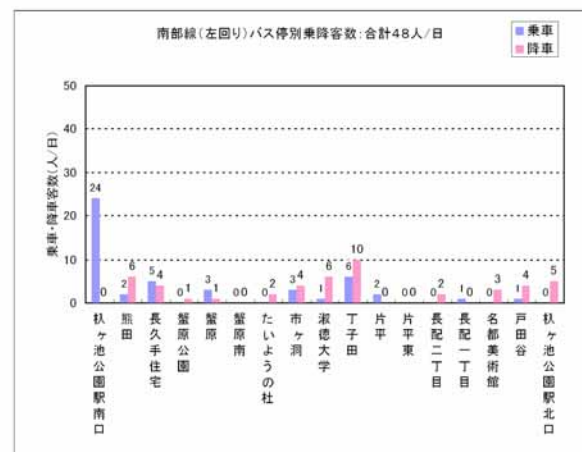
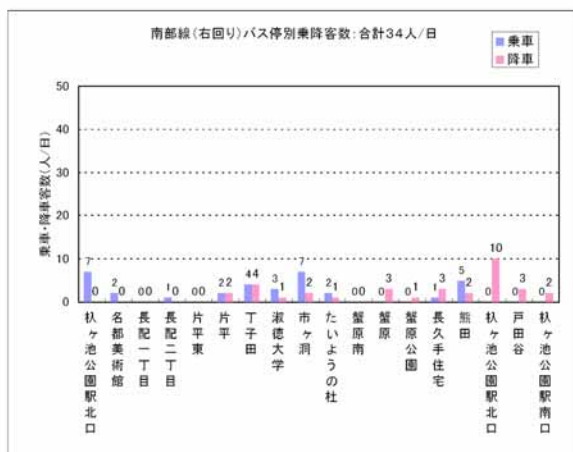
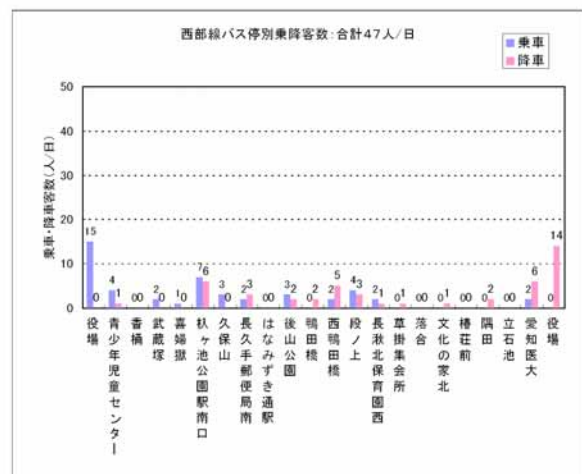
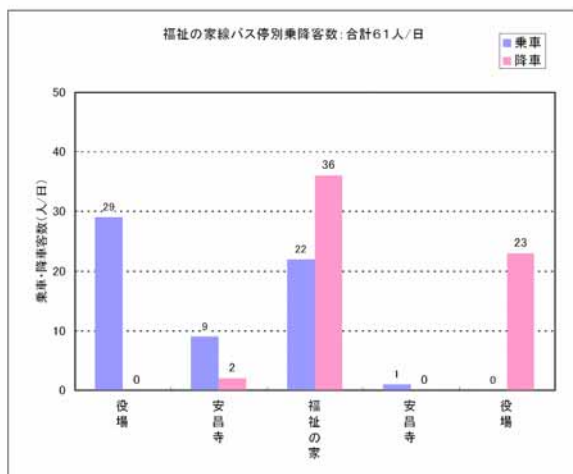
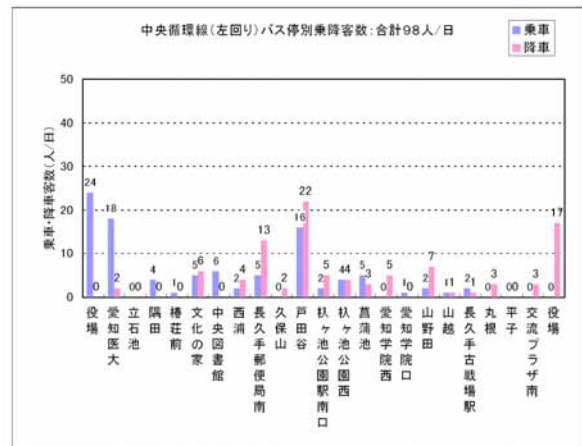
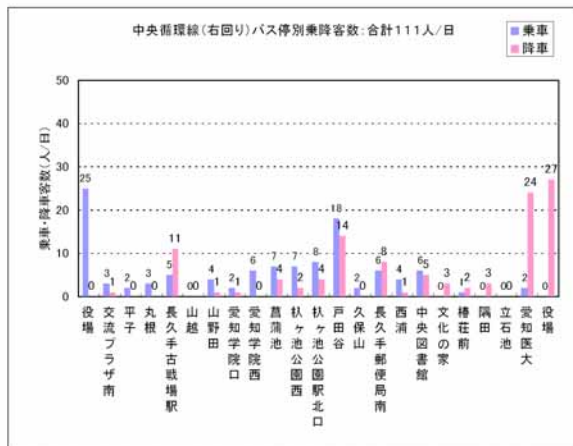


図 バス停別利用者数(1/2)

(N - バス乗降客数調査)

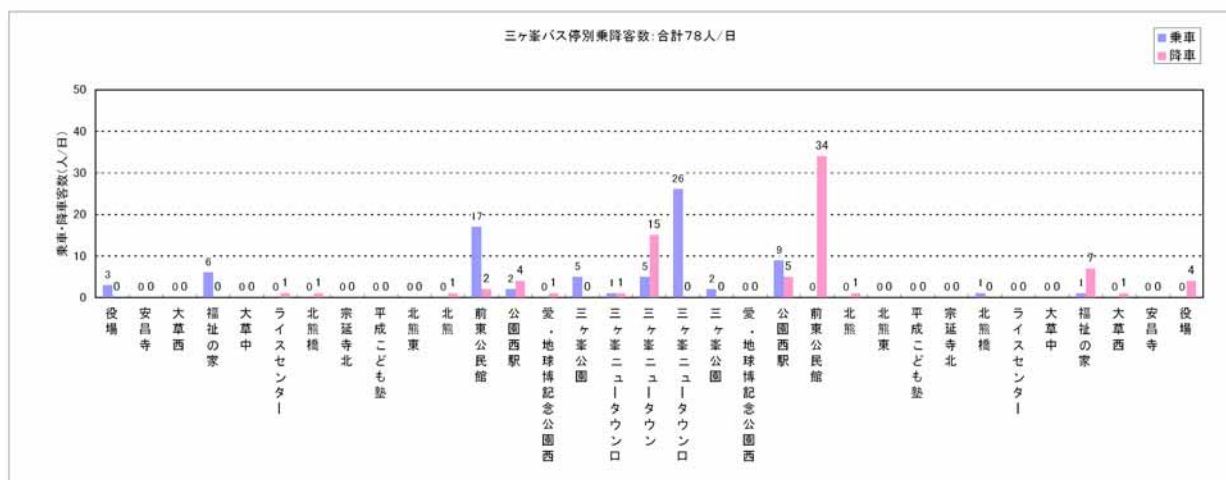
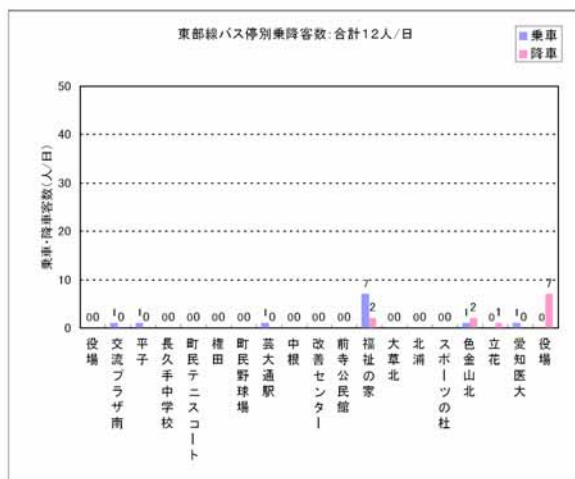
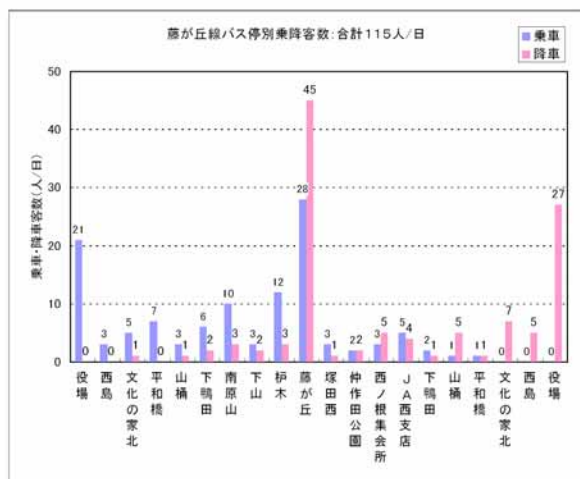


図 バス停別利用者数 (2 / 2)

(N - バス乗降客数調査)

(4) N - バスOD調査結果

ODカードの回収状況

OD調査カードは、配布枚数 に対する回収率は99.3%と高い回収率であった。

三ヶ峯線第1便で通学する小学生の人数が多く（調査時：34人）カード配布・受取によりN - バスの運行への影響が懸念されたので、配布は行わなかった。

今回のOD調査では、利用経路が把握できるように調査を行ったため、同時に行ったバス停別乗降客数との比較により、未回収のODは可能な限り再現を行い補正した上で集計を行った。

なお、複数の路線を利用している利用者を同一人物としてカウントすると391人となり、利用者数の約65%となる。

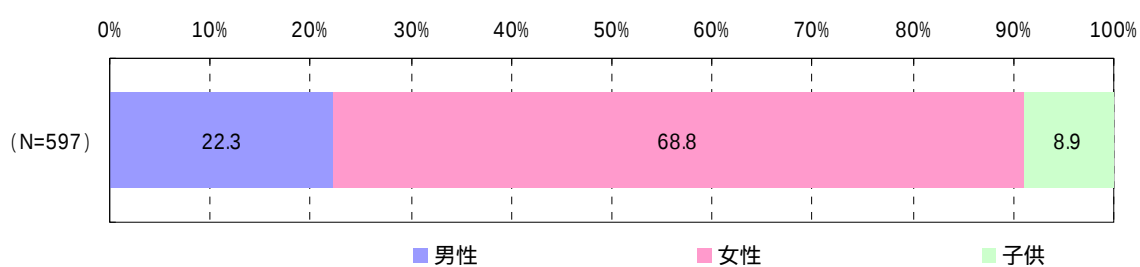
表 OD調査カードの回収結果と実利用人数

利用者数（人/日）	604
ODカード配布枚数（枚）：A	570
ODカード回収枚数（枚）：B	566
回収率：B / A	99.3%
実利用人数（人/日）	391

実利用人数は、乗継や往復利用などの同一人物を除いた人数

性別（不明除く）

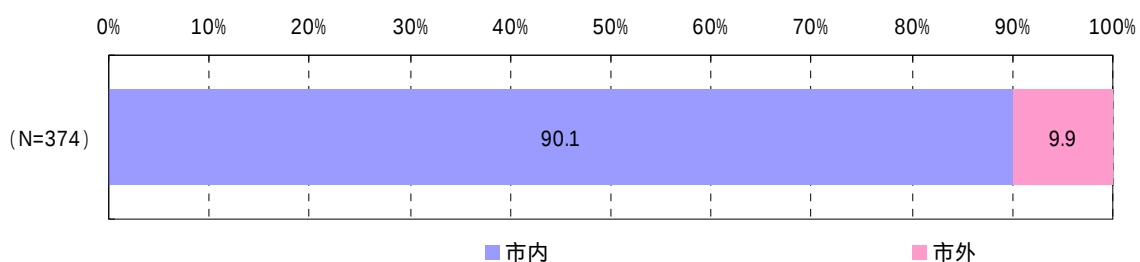
性別は、女性の利用が69%と約3分の2を占める。



(N - バスOD調査)

在住地（不明除く）

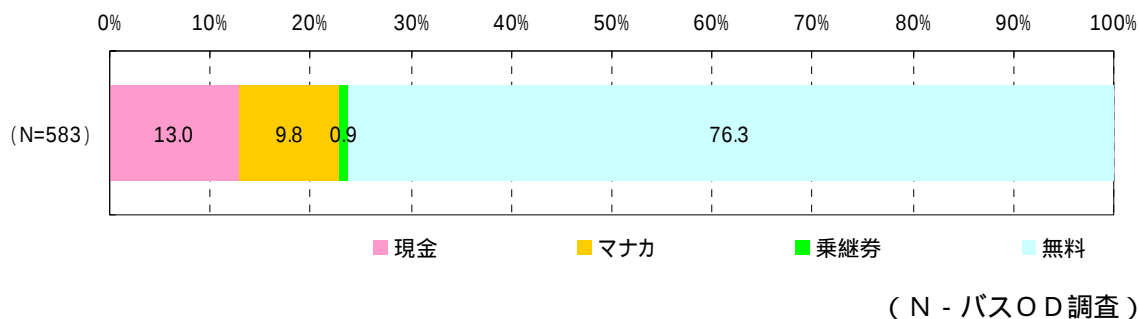
在住地は、市内在住が90%と大半を占める。（不明除く）



(N - バスOD調査)

乗車券の利用（不明除く）

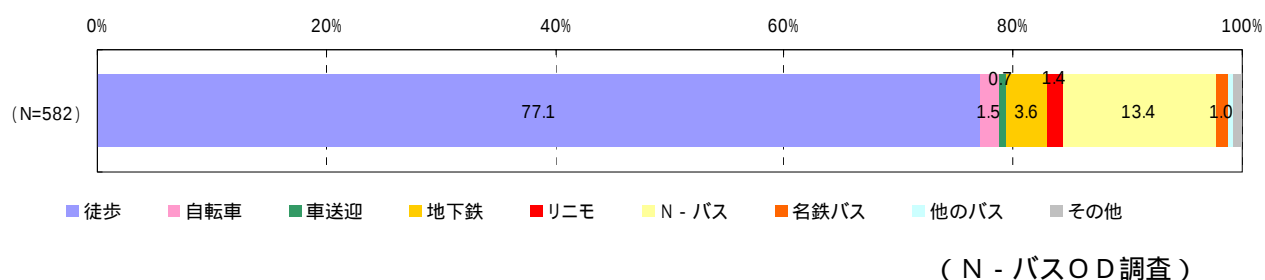
運賃の支払いは無料が約77%を占め、有料利用の比率は約23%となり、4～12月までの有料利用率19.33%と概ね類似している。有料利用者に占めるマナカの利用比率は約41%となっている。（不明除く）



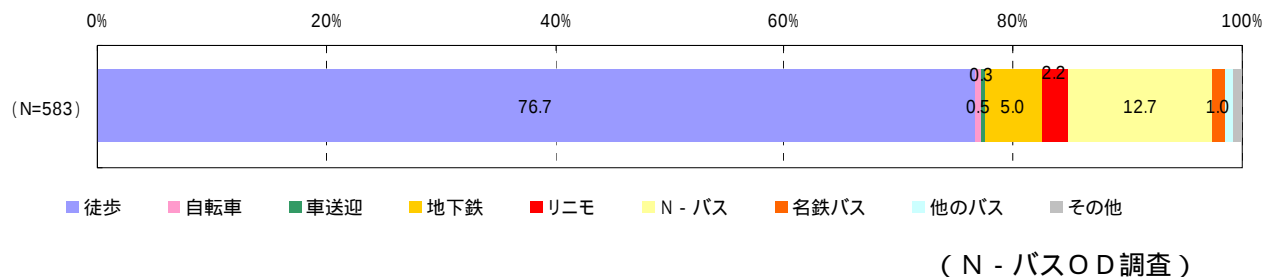
乗降前後に使った交通手段（不明除く）

徒歩利用が約77%を占め、次いでN - バス（約13%）、地下鉄（約4～5%）の順で多くなっている。

A．乗車前に使った交通手段：N - バス全体



B．降車後に使った交通手段：N - バス全体

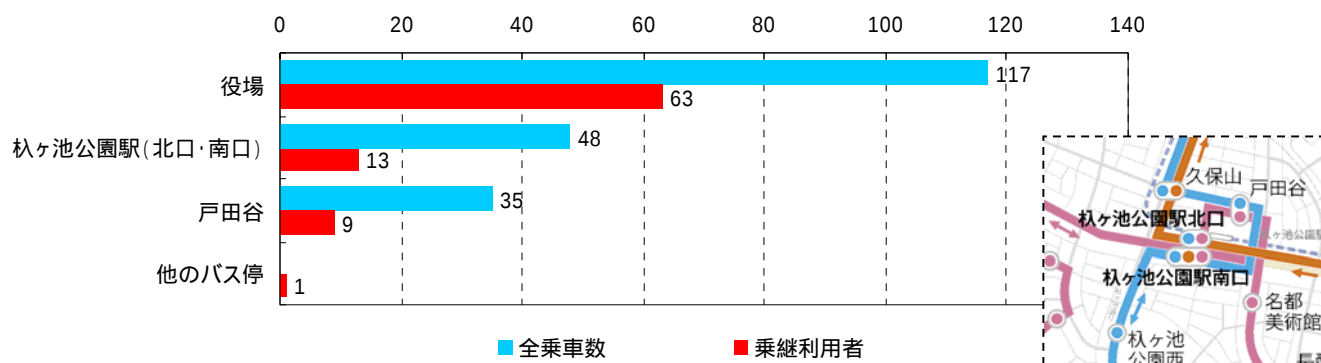


乗継利用の状況

役場での乗り継ぎが最も多く、全利用者の約54%を占める。次いで、杣ヶ池公園駅(北口・南口)が多いが、今回の調査では戸田谷バス停での乗り継ぎも見られた。

各バス停の無料での利用比率は、次の通りとなっている。

役場バス停：82%、杣ヶ池公園駅北・南口バス停：100%、戸田谷バス停：89%



(N - バスOD調査)

図 乗継利用の状況

バス停間の利用実態

バス停別に見たN - バスの利用者数では、「市役所」「福祉の家」「藤が丘」「戸田谷」「愛知医大」「杣ヶ池公園駅北口・南口」「前東公民館」「三ヶ峯ニュータウン口」「長久手郵便局南」のバス停で、利用者数の多さが目立っている。(25頁参照)

これら利用が多いバス停の流動のうち、「市役所」、「福祉の家」、「愛知医大」、「藤が丘駅」、「杣ヶ池公園駅」を抽出して26～30頁にまとめた。

1) 市役所：26頁参照

市役所に集中する側では、福祉の家からの利用が目立っている。その他では、杣ヶ池公園西、JA西支店、戸田谷、藤が丘など、市南西部からの利用が目立っている。

市役所から発生する側では、長久手古戦場駅、藤が丘、福祉の家への利用が多くなっている。

2) 福祉の家：27頁参照

福祉の家に集中する側では、安昌寺、市役所からの利用が目立っている。

福祉の家から発生する側では、市役所への利用が多くなっている。

3) 愛知医大：28頁参照

愛知医大に集中する側では、戸田谷からの利用が目立っている。

愛知医大から発生する側では、市役所への利用が多くなっている。

4) 藤が丘駅：29頁参照

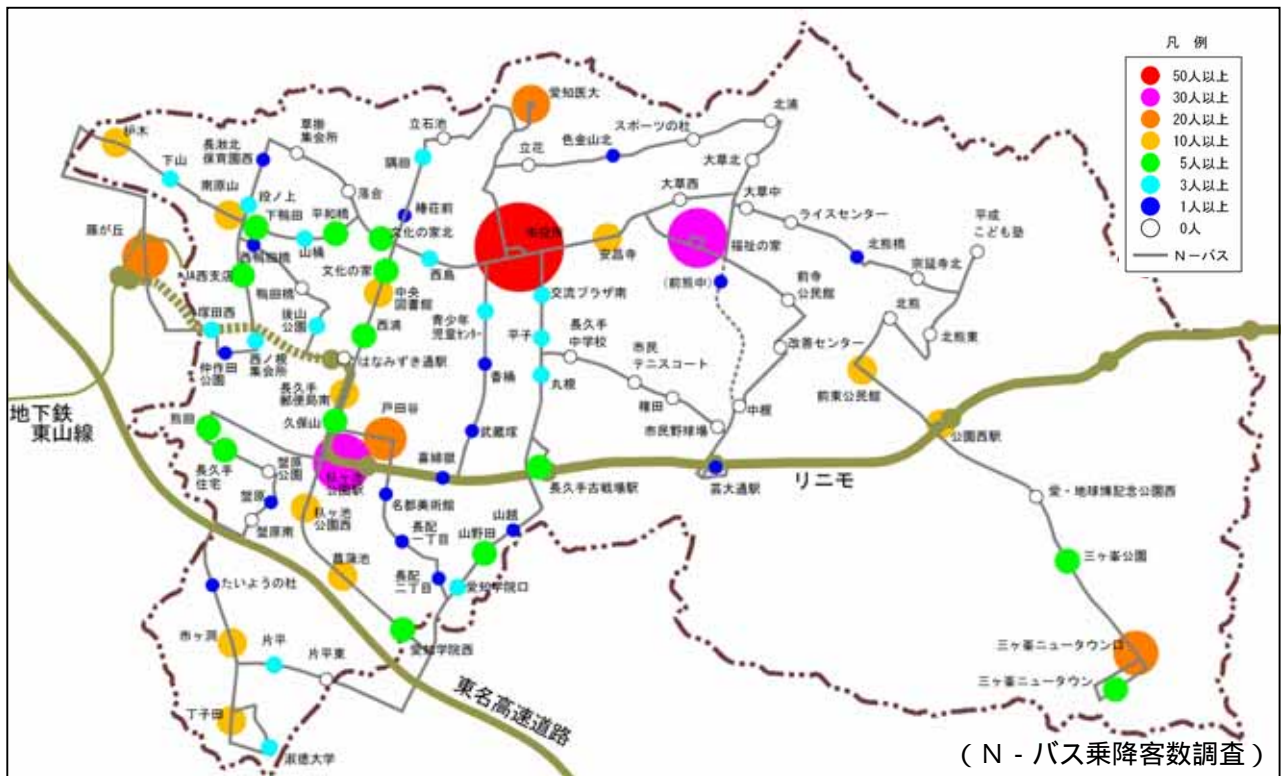
藤が丘駅に集中する側では、南原山、杣木、下鴨田、平和橋、市役所からの利用が目立っている。

藤が丘駅から発生する側では、市役所、山桶、文化の家北への利用が多くなっている。

5) 杣ヶ池公園駅：30頁参照

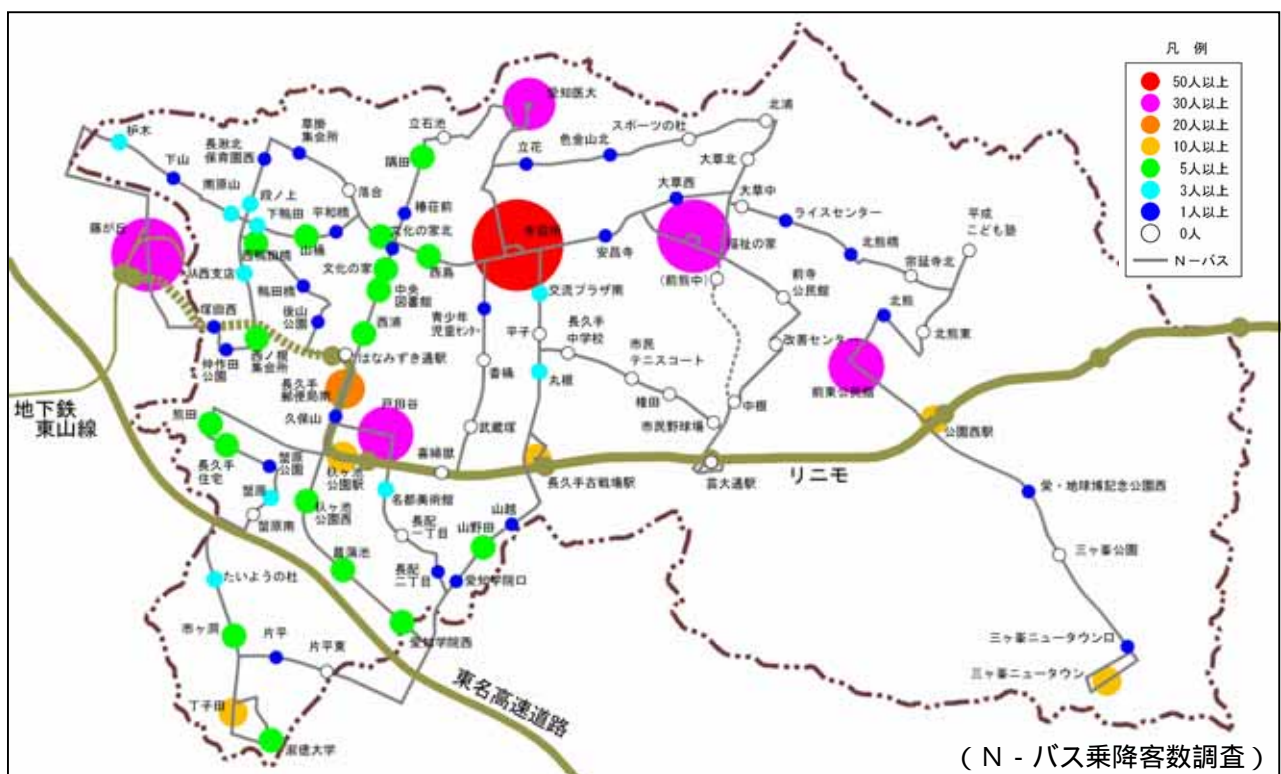
杣ヶ池公園駅に集中する側では、市ヶ洞からの利用が目立っている。

杣ヶ池公園駅から発生する側では、熊田、長久手住宅、淑徳大学への利用が多くなっている。



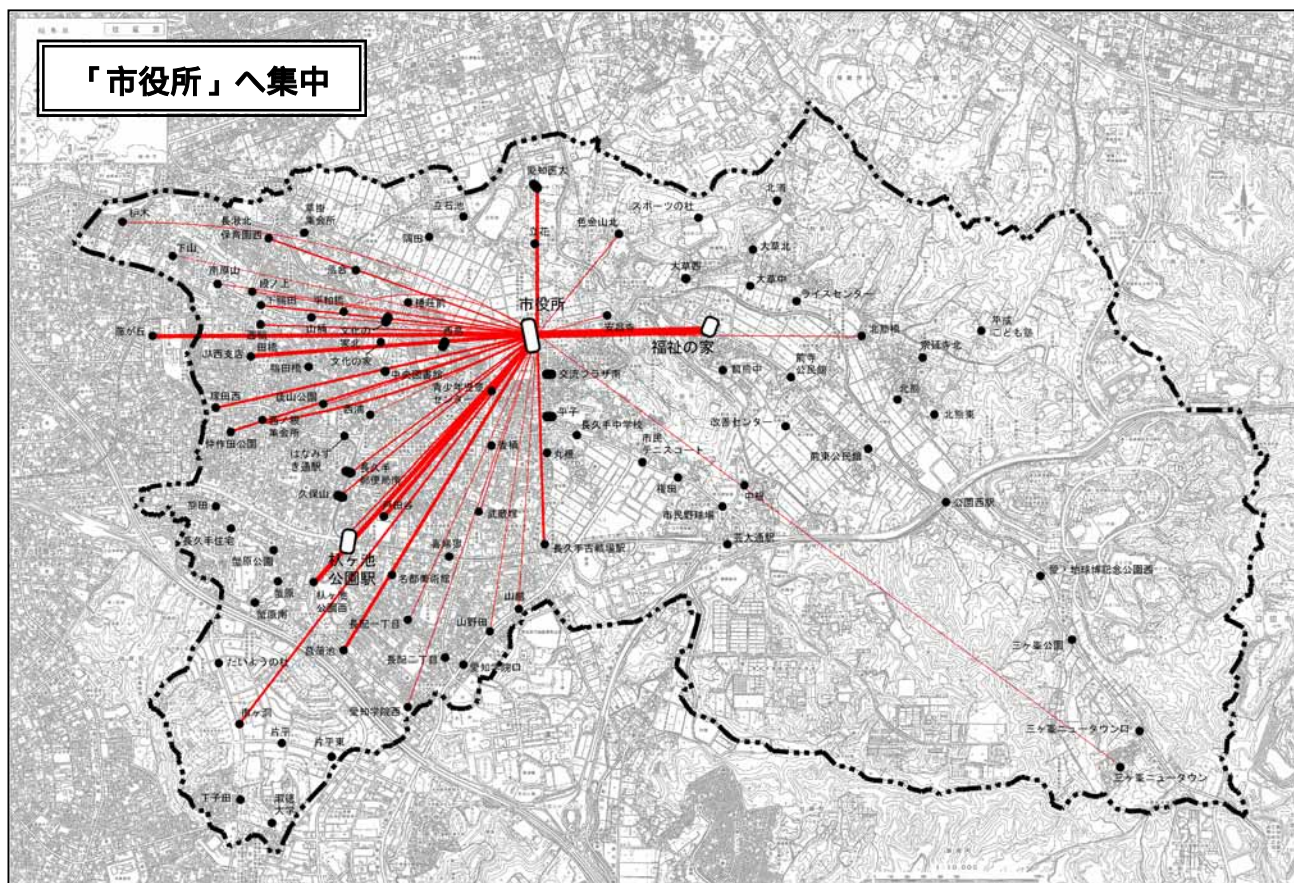
乗継は利用者として含めず

図 N - バスのバス停別利用者規模 (乗車利用者)

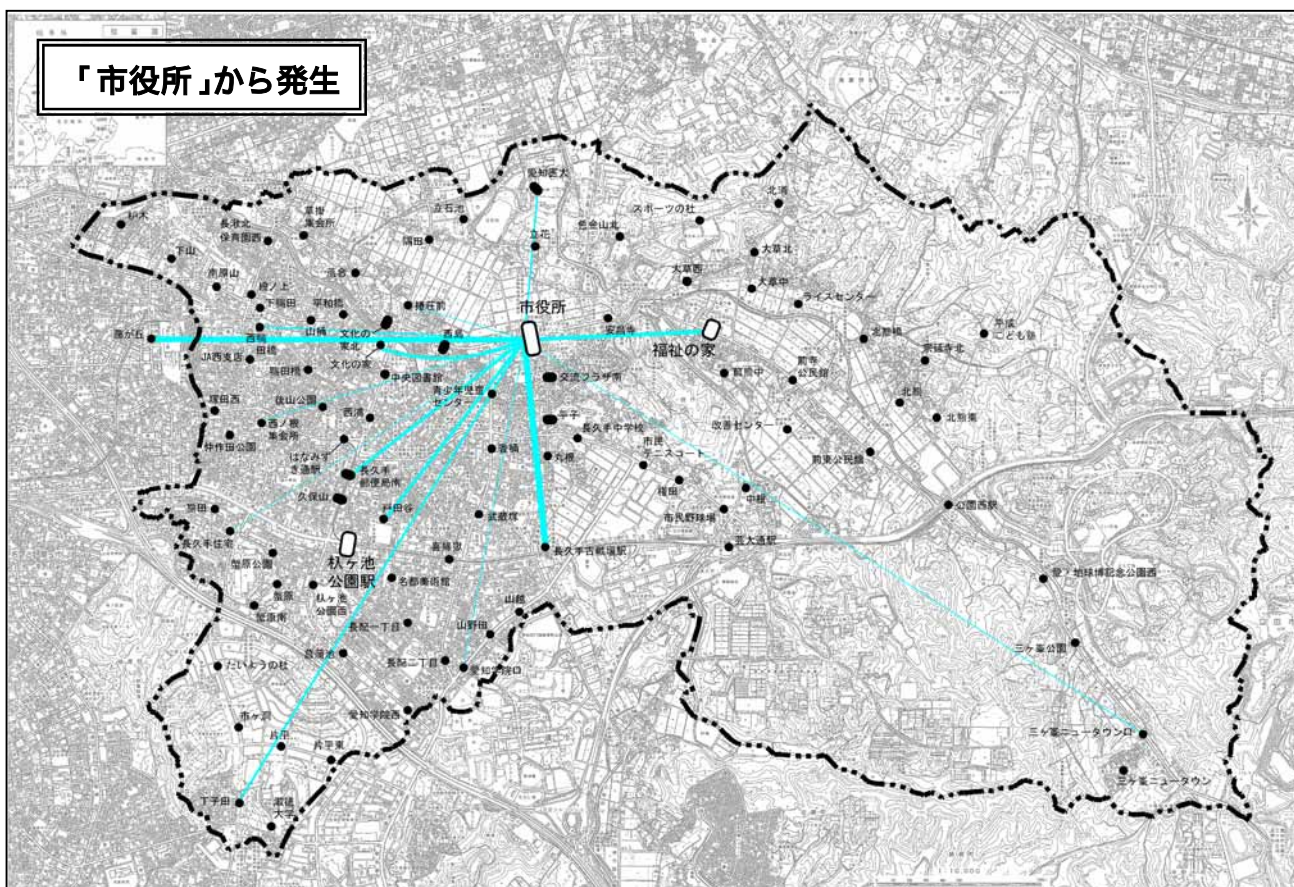


乗継は利用者として含めず

図 N - バスのバス停別利用者規模 (降車利用者)

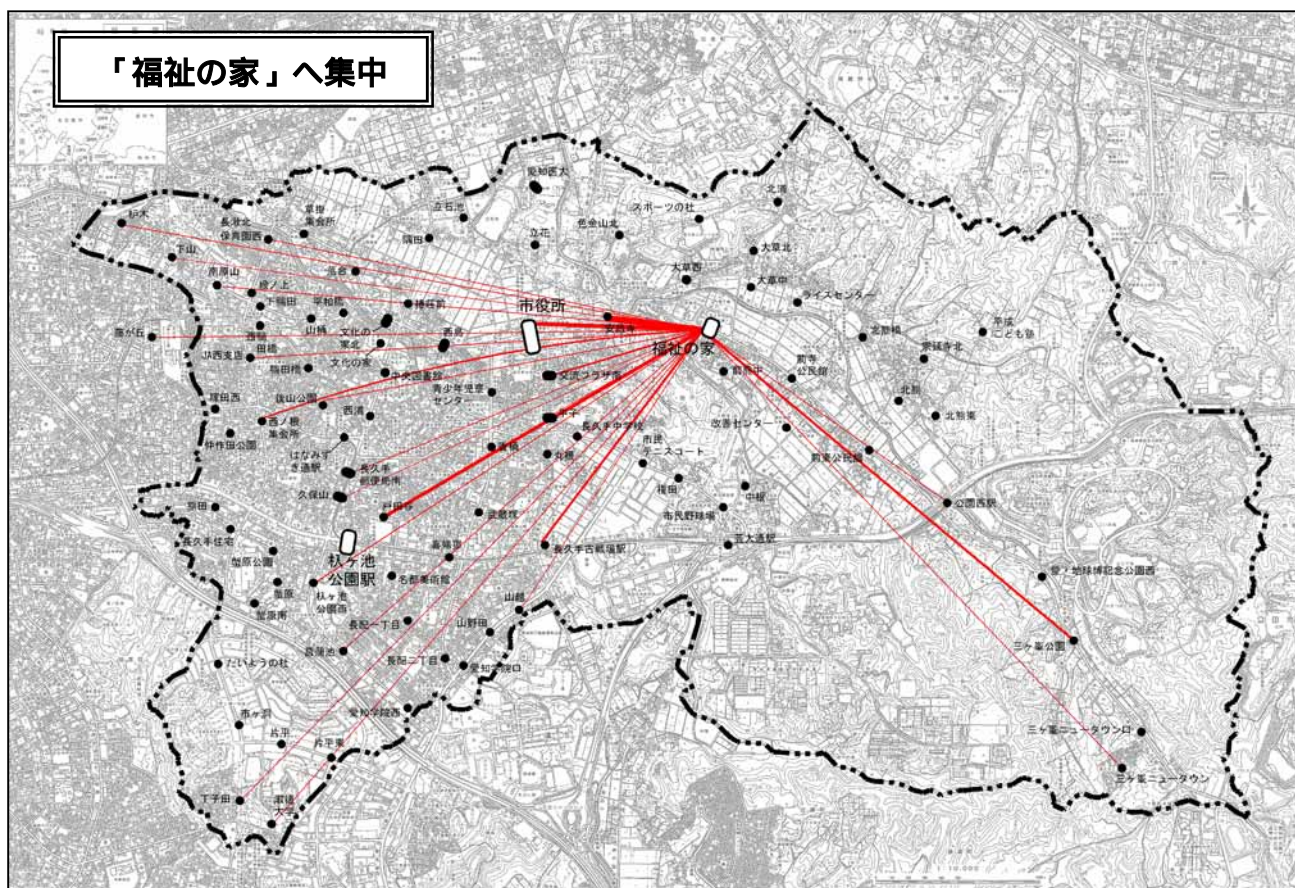


(N - バスOD調査)

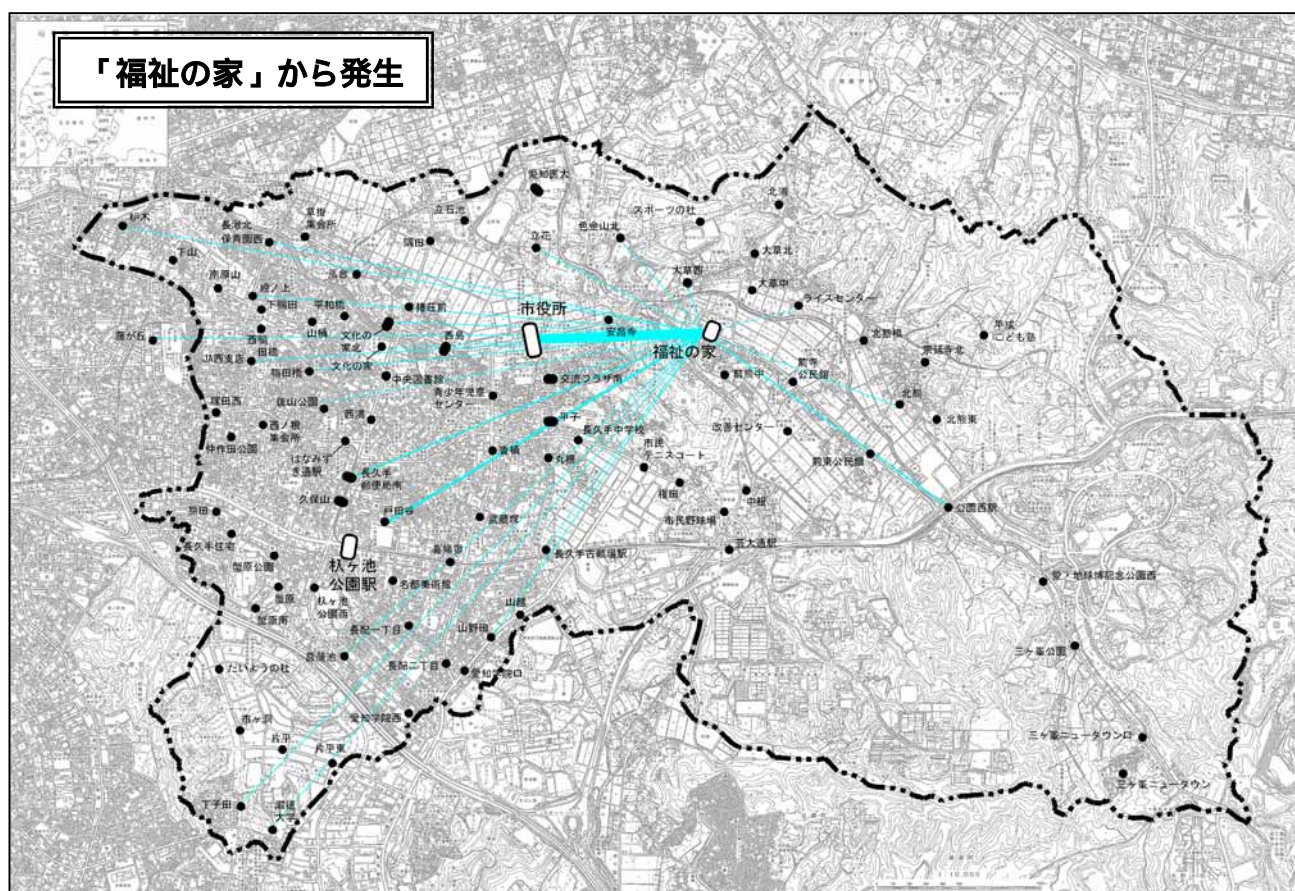


(N - バスOD調査)

図 N - バスのバス停間流動状況 (市役所バス停との発生集中)

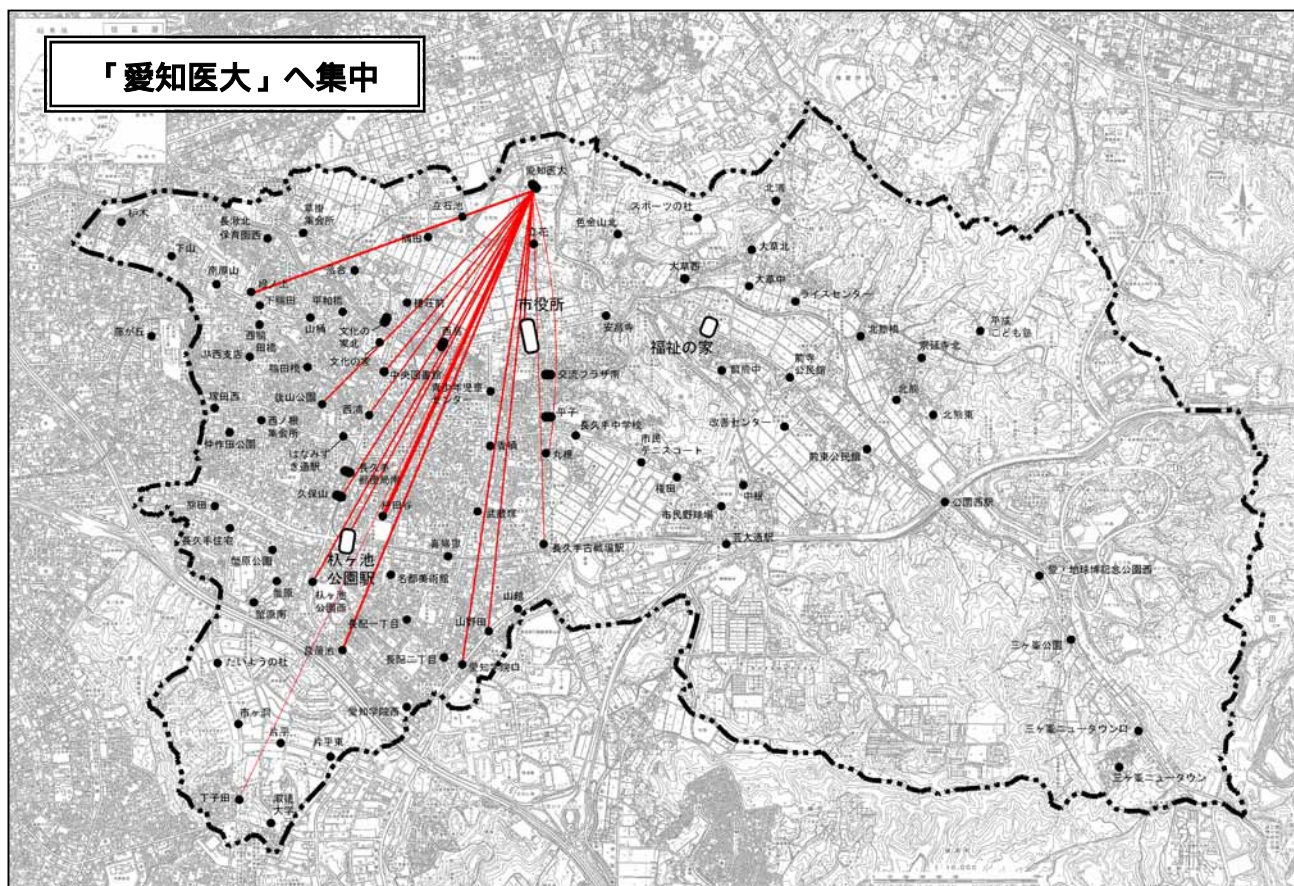


(N - バスOD調査)

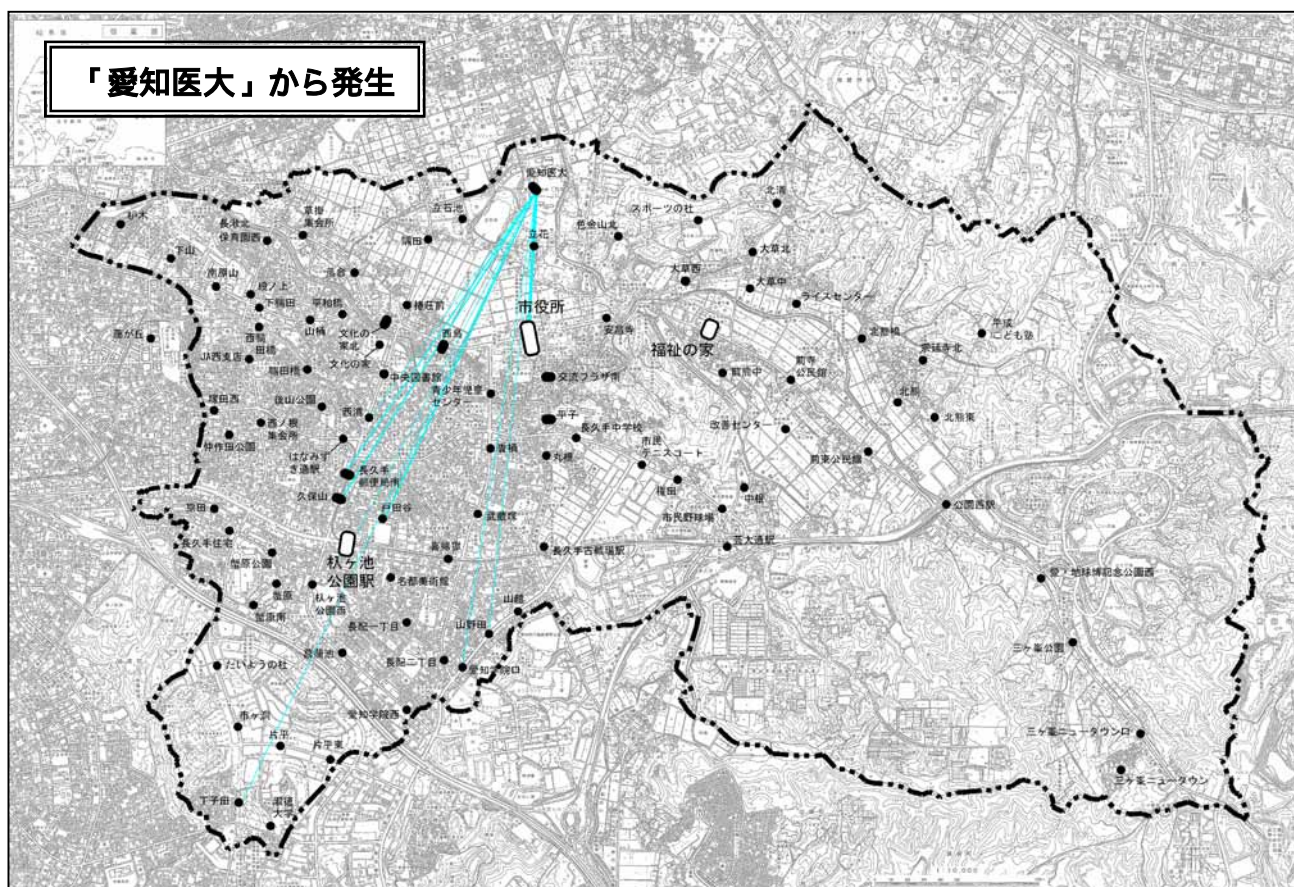


(N - バスOD調査)

図 N - バスのバス停間流動状況 (福祉の家バス停との発生集中)

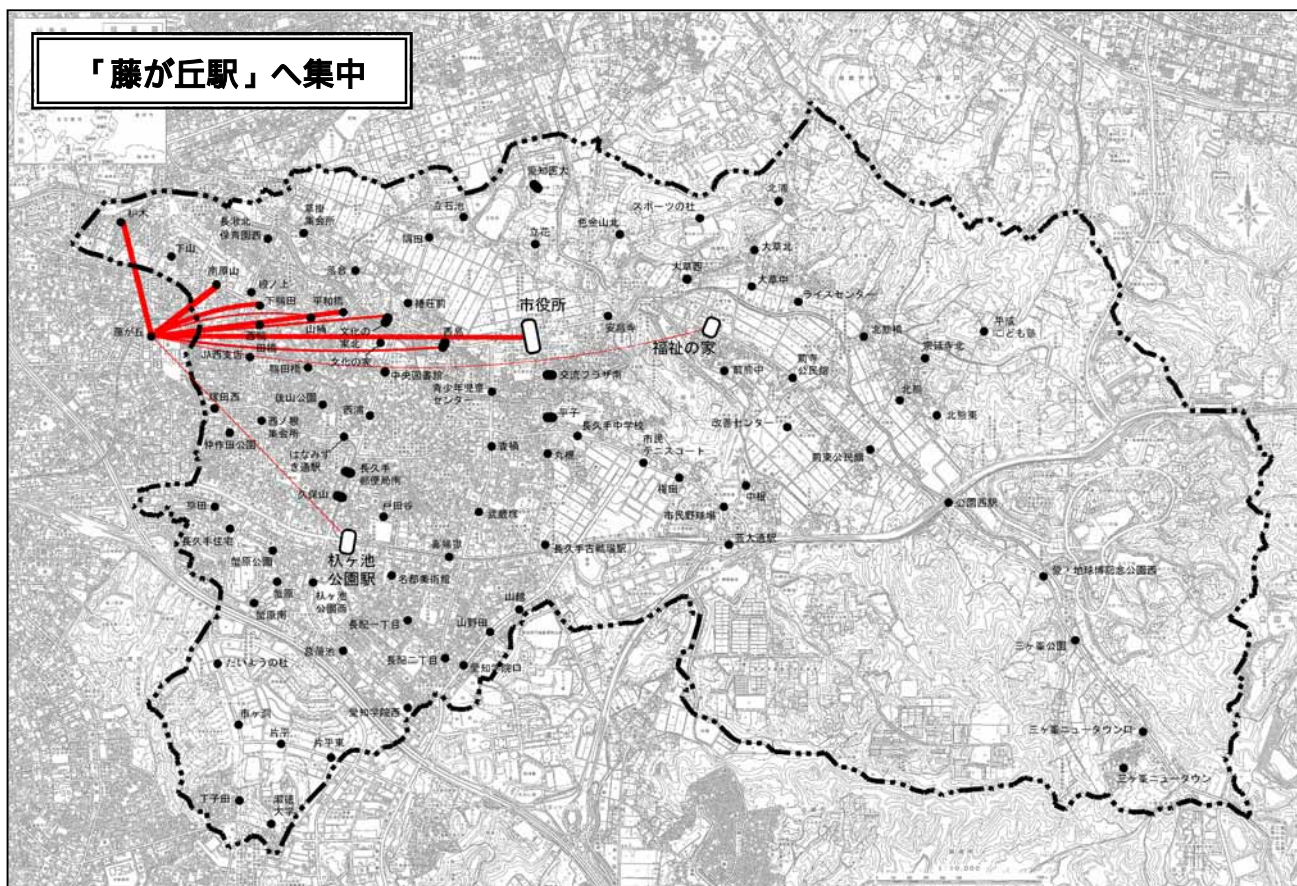


(N - バスOD調査)

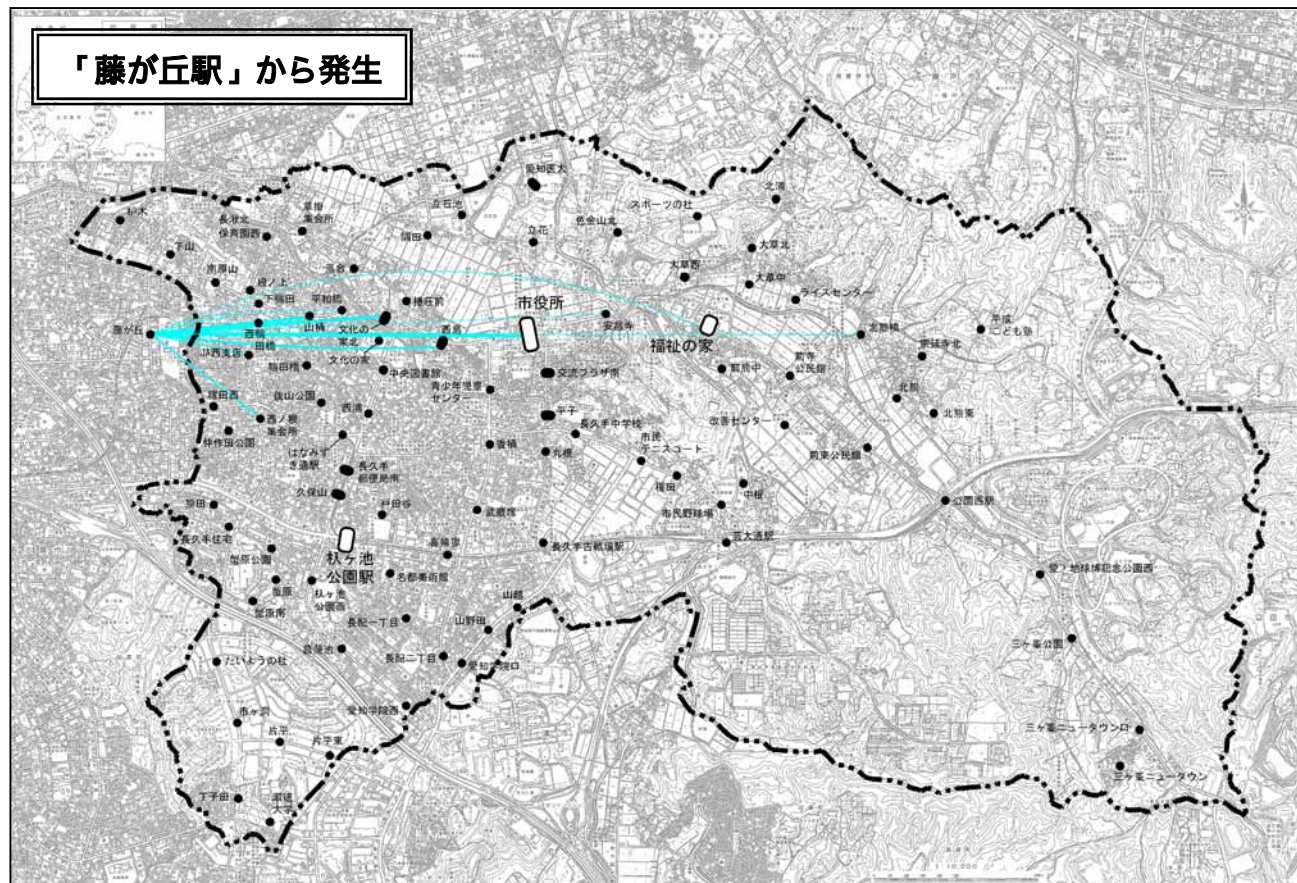


(N - バスOD調査)

図 N - バスのバス停間流動状況 (愛知医大バス停との発生集中)

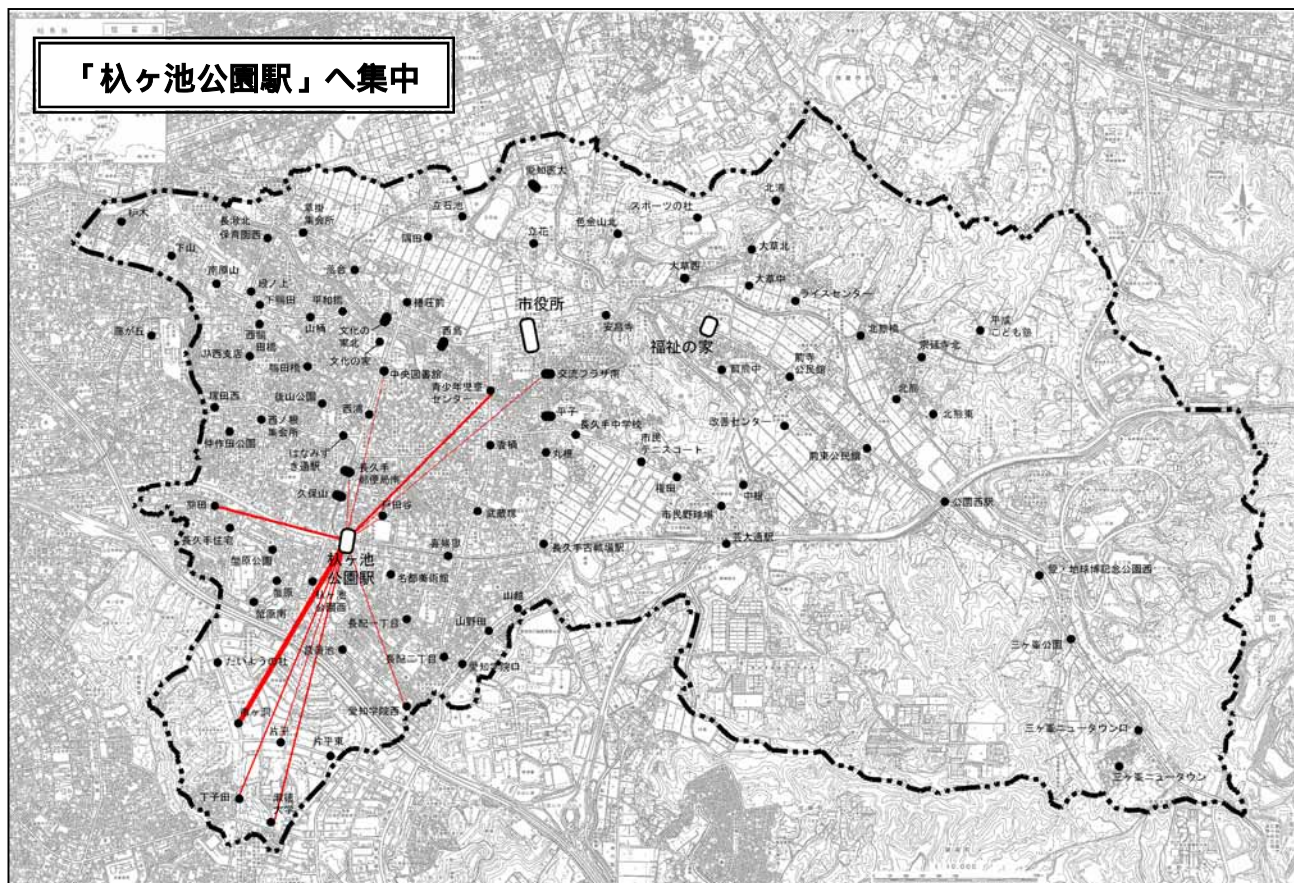


(N - バスOD調査)

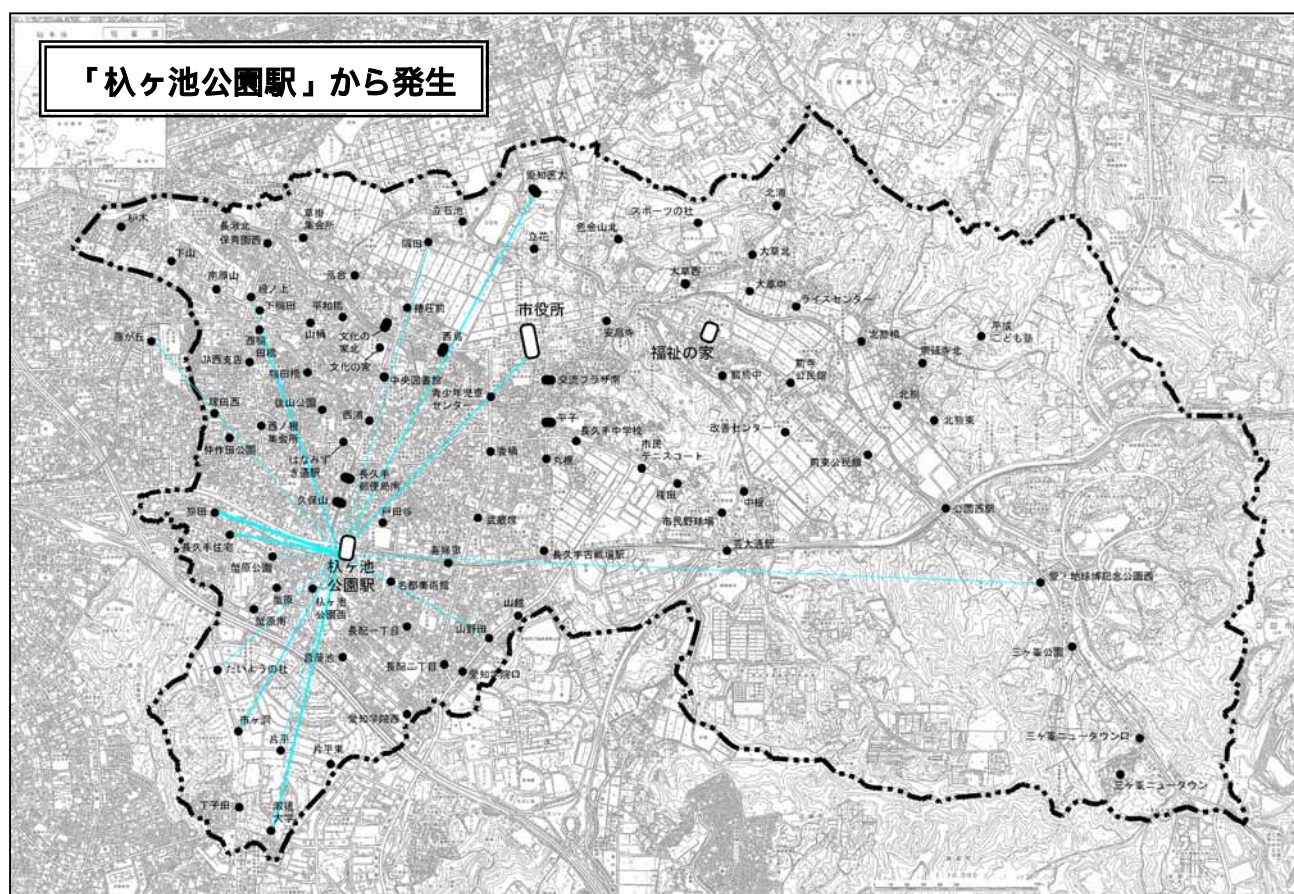


(N - バスOD調査)

図 N - バスのバス停間流動状況 (藤が丘バス停との発生集中)



(N - バスOD調査)



(N - バスOD調査)

図 N - バスのバス停間流動状況 (杧ヶ池公園駅バス停との発生集中)

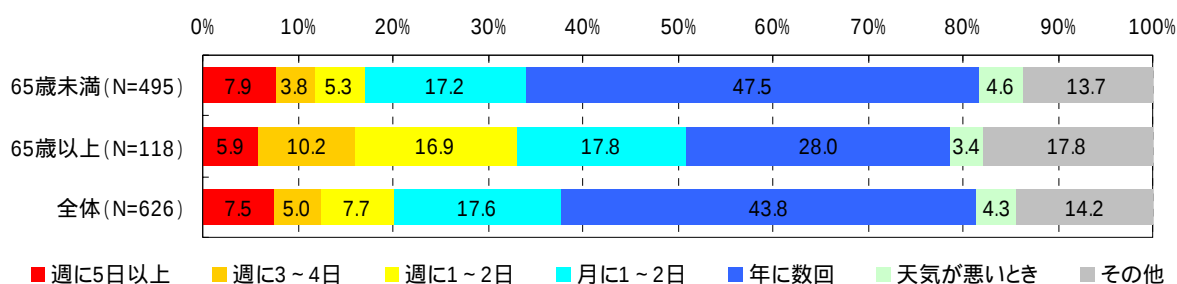
6. アンケート調査の結果

(1) 普段の公共交通の利用について

公共交通の利用状況

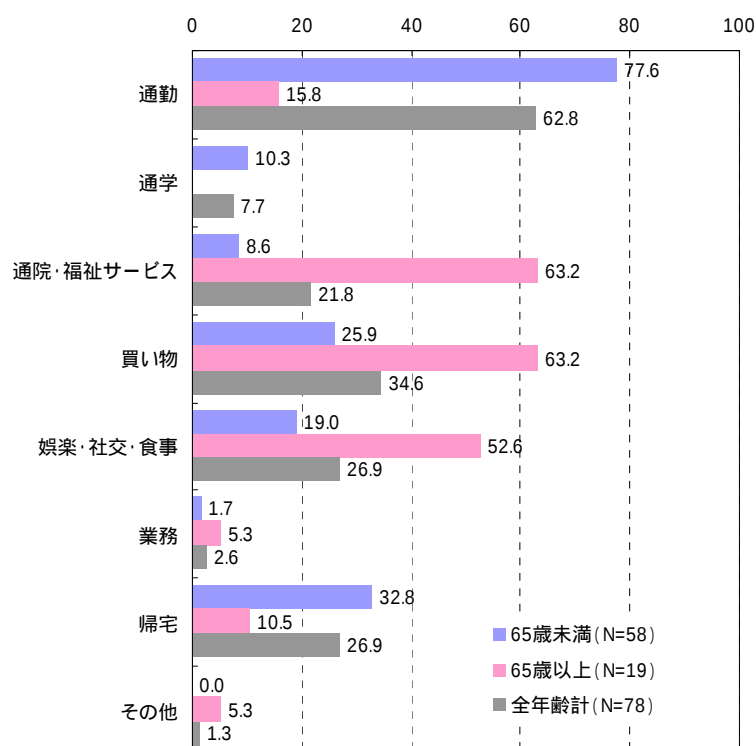
公共交通の利用頻度は、高齢者の方が多くなっている。

利用目的は、65歳未満の方では利用頻度が多い方は「通勤」の割合が多く、利用頻度が少ない方は「娯楽・社交・食事」の割合が多い。一方、65歳以上の方では利用頻度に関わらず「通院・福祉サービス」「買い物」「娯楽・社交・食事」が多い傾向にある。



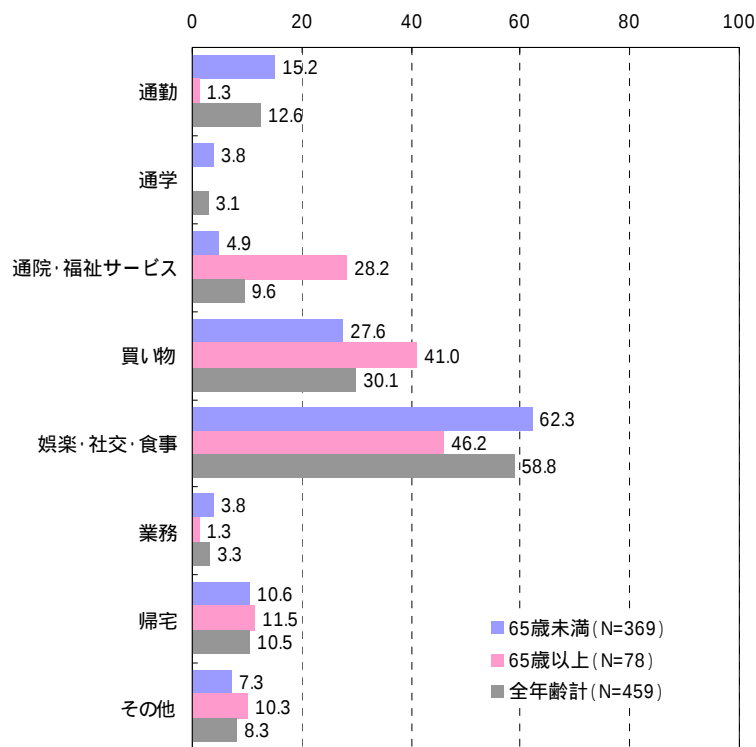
(住民アンケート調査)

図 市内の公共交通の利用頻度 (住民アンケート) 不明除く。全体は年齢不明含む



(住民アンケート調査)

図 公共交通の利用目的：週3日以上の利用頻度が多い方 不明除く。全体は年齢不明含む

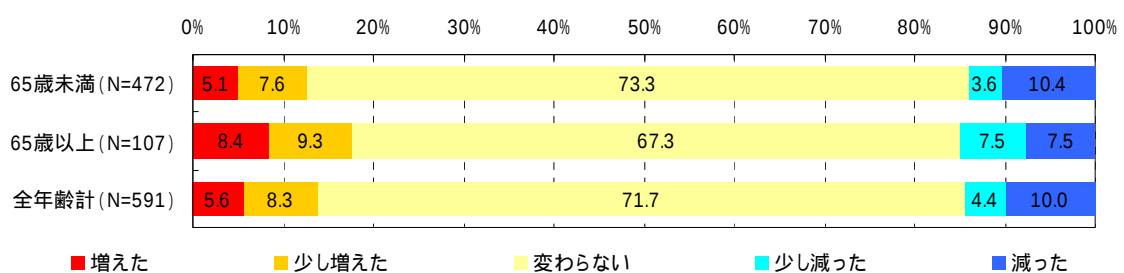


(住民アンケート調査)

図 公共交通の利用目的：週1日以上の利用頻度が少ない方 不明除く。全体は年齢不明含む

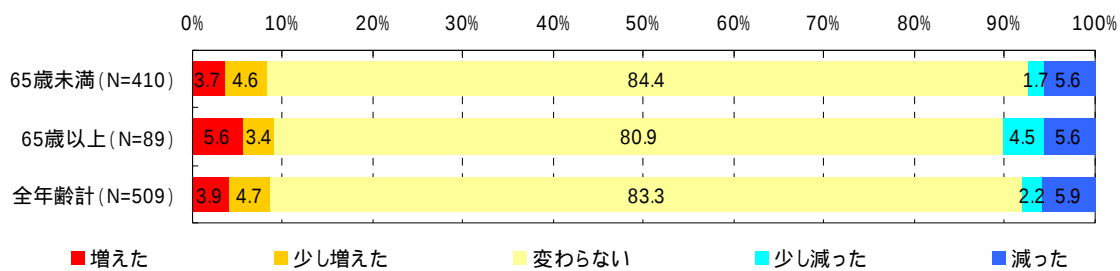
公共交通の利用機会の変化とその理由

公共交通の利用の増減について、回答者全体では「減った・少し減った」の割合が「増えた・少し増えた」の割合より多い。増減の理由は、公共交通のサービス水準以外の理由も見られ、それらの回答者を除くと(次頁図参照)「増えた・少し増えた」の割合の方が多くなる。



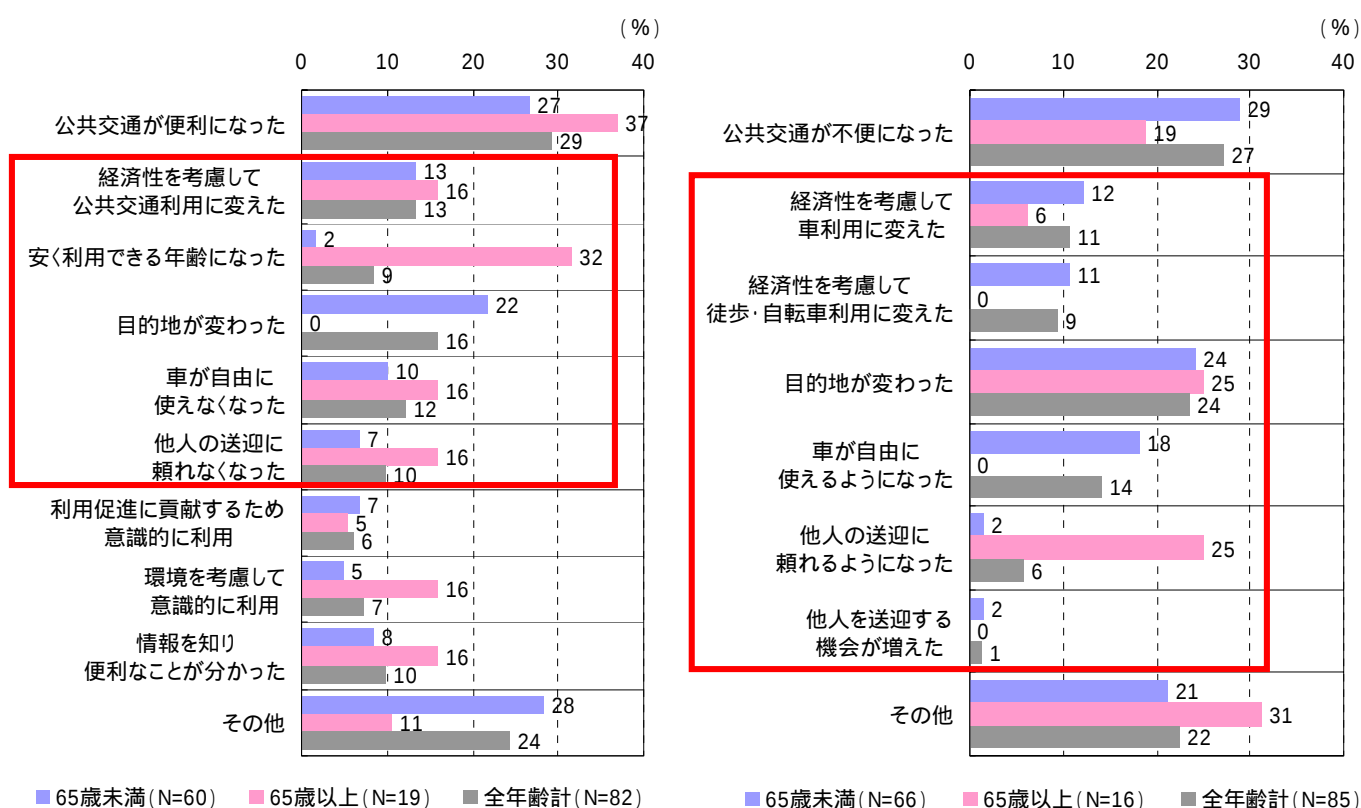
(住民アンケート調査)

図 市内の公共交通の利用機会
不明除く。「全年齢計」の集計では年齢不明含む



(住民アンケート調査)

図 市内の公共交通の利用機会：サービス水準以外の変化理由除いた場合
不明除く。「全年齢計」の集計では年齢不明含む



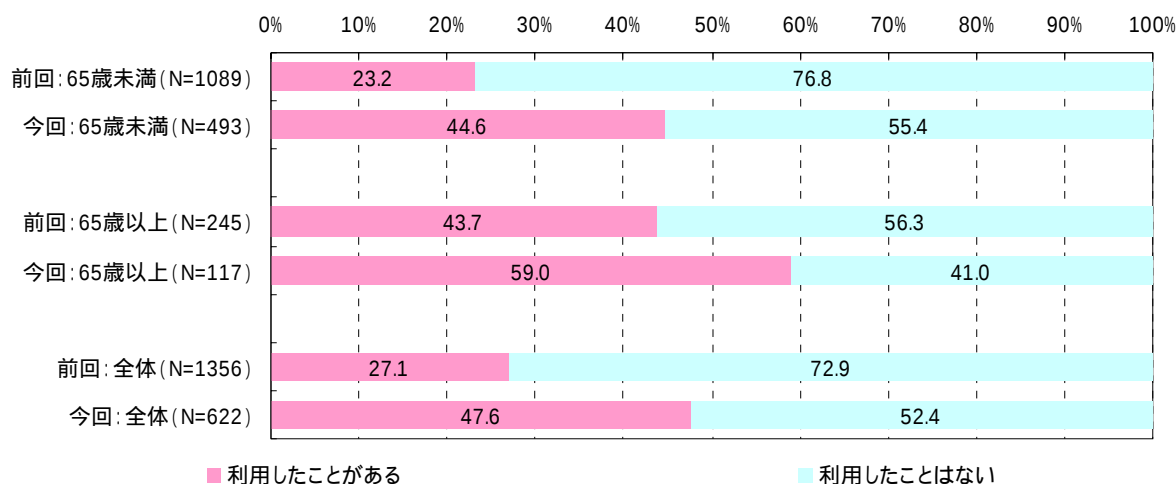
(住民アンケート調査)

図 公共交通の利用頻度が増えた理由 (右図) と減った理由 (左図)
赤枠内は公共交通のサービス水準以外の変化の理由であり、上図集計の際に除いた項目を指す。

(2) N - バスの利用について

N - バスの利用有無の割合と利用者属性の変化

「N - バスを利用したことある」の割合は、前回よりも増えている。

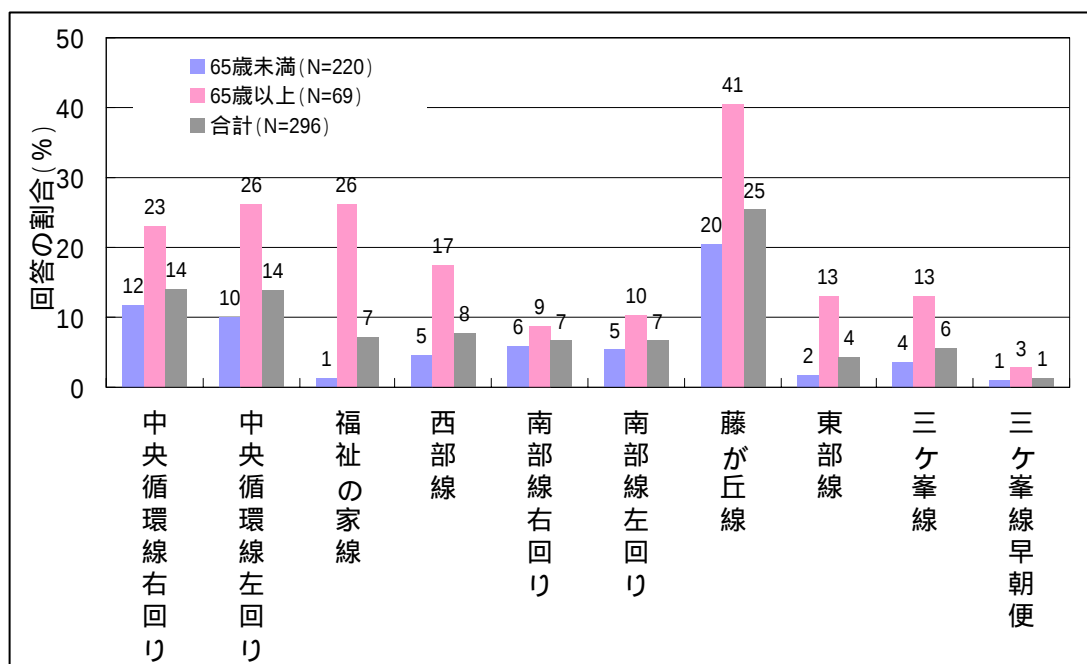


(住民アンケート調査)

図 N - バスの利用の有無 不明除く

利用したことがあるN - バスの路線

利用したことがあるN - バスの路線の割合は、利用者数と概ね傾向が類似しているが、南部線や三ヶ峯線は相対的に割合が低く、固定客の利用が推察される。

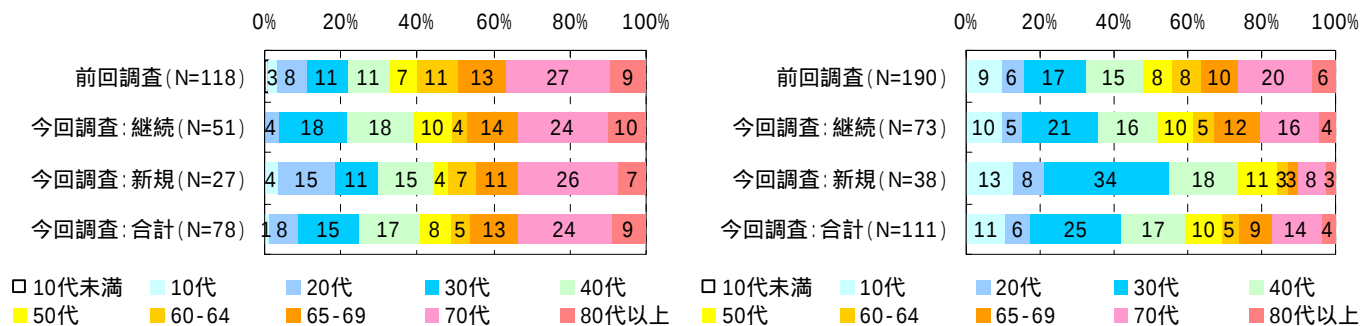


(住民アンケート調査)

図 利用したことがあるN - バスの路線

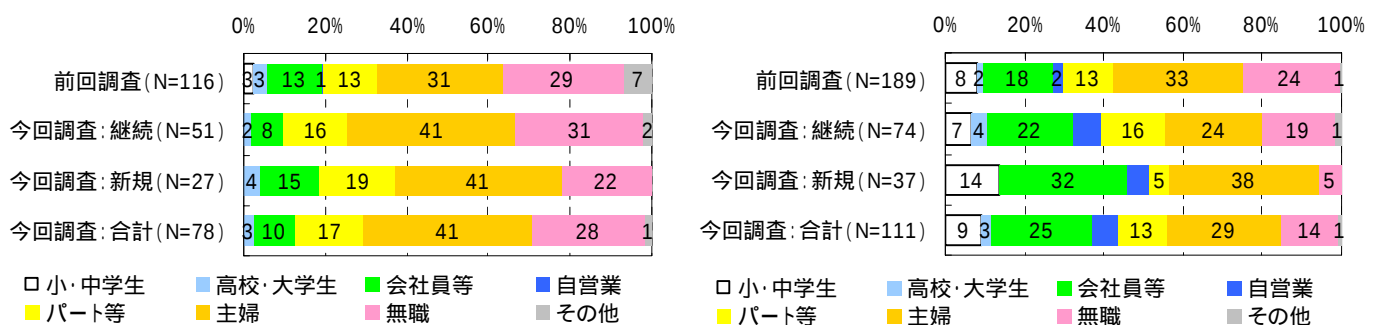
利用者属性の傾向

利用者属性を前回と比べると、年齢では30～40代の増加、職業は主婦や会社員の増加、利用目的は買物、娯楽・社交・食事目的の増加という特徴が出ている。



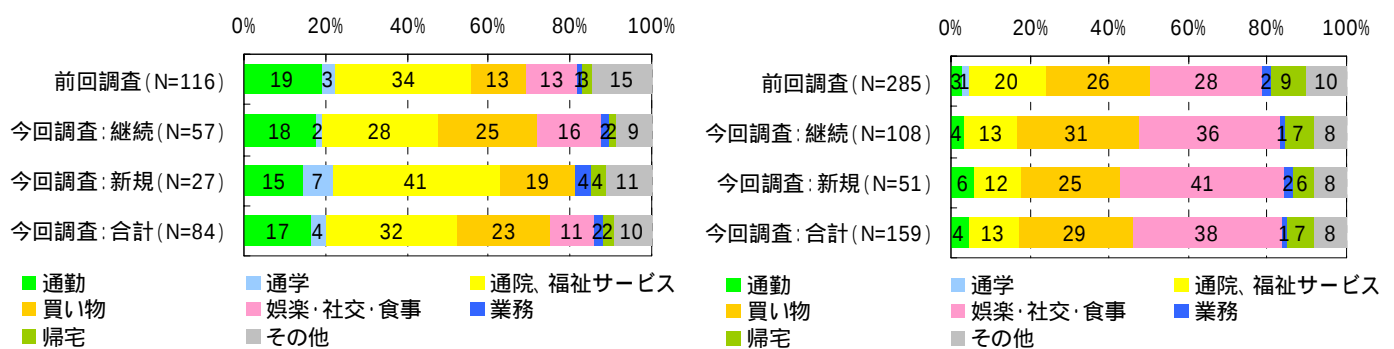
(左図: 利用者アンケート調査、右図: 住民アンケート調査)

図 N - バス利用者の年齢構成 不明除く



(左図: 利用者アンケート調査、右図: 住民アンケート調査)

図 N - バス利用者の職業構成 不明除く

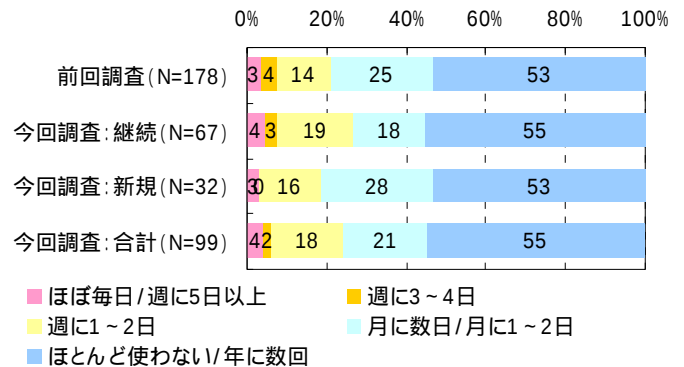
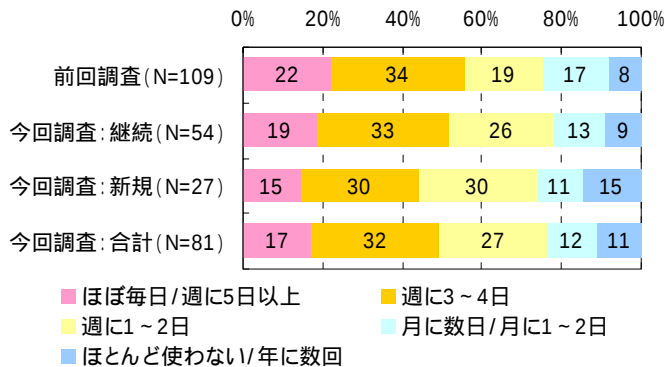


(左図: 利用者アンケート調査、右図: 住民アンケート調査)

図 N - バス利用者のN - バス利用目的 不明除く

利用頻度

利用頻度は、利用者アンケートでは週3日以上の割合が約56%を占めている。



(左図:利用者アンケート、右図:住民アンケート)

図 N - バスの利用頻度 不明除く

主な目的地

主な目的地については、回答数上位を抽出すると、利用者・住民アンケート双方とも、6つの同じ目的地が上位を占めている状況にある。

バス停の利用者は、主な上位を占める目的地の最寄りバス停の利用が多くなっている。

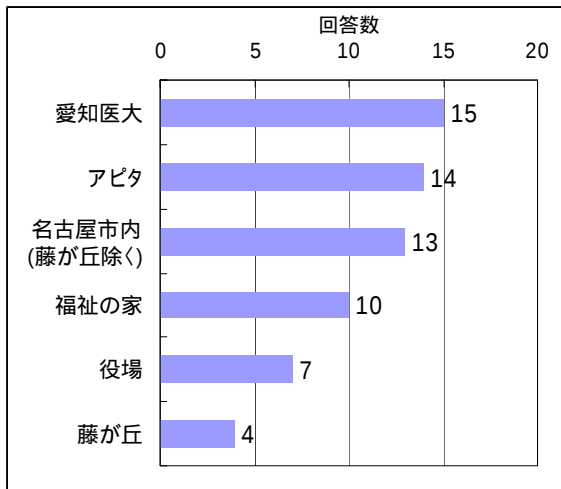


図 主な目的地(利用者アンケート)

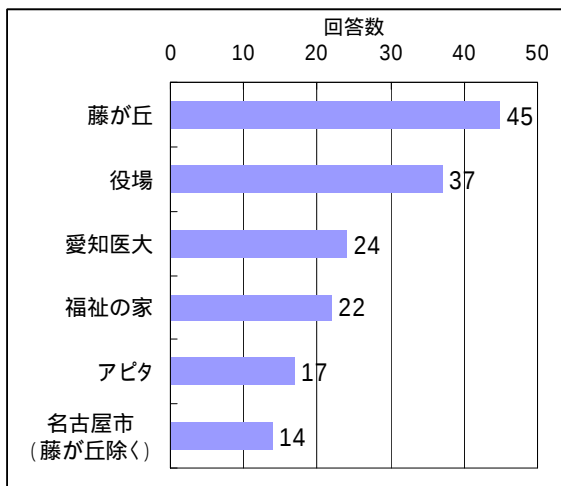


図 主な目的地(住民アンケート)

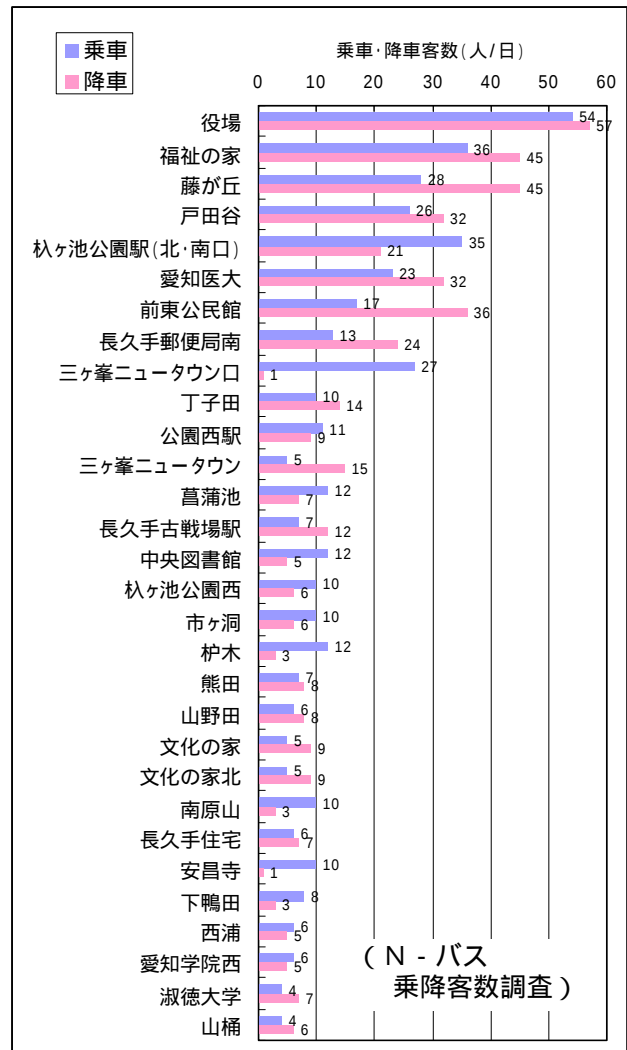


図 バス停別利用者数:上位30(乗継除く)

往復利用について

1) 往復利用状況

行き・帰りとも利用した割合は、新規利用者の方が往復利用の割合が大きくなっている。路線別に見ると、双方向運行を強化した南部線で効果が出ている。

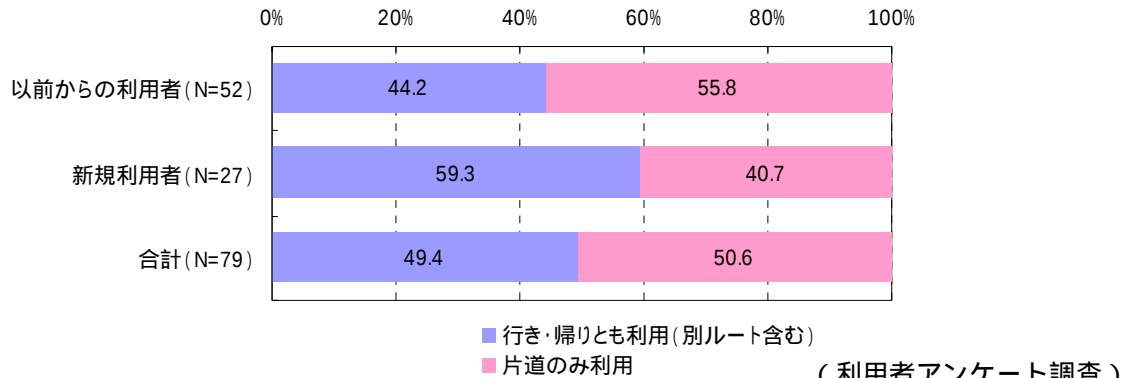
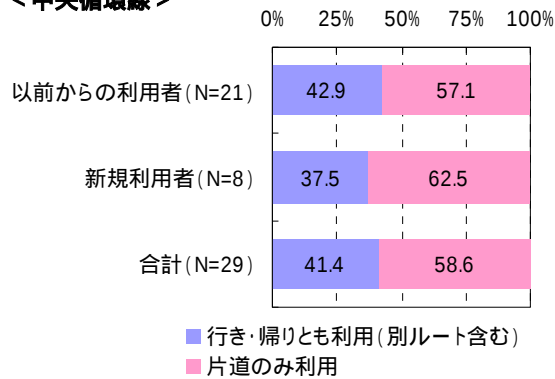


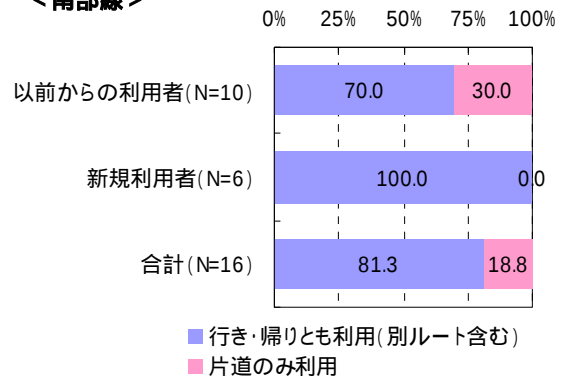
図 往復利用の状況 不明除く

(利用者アンケート調査)

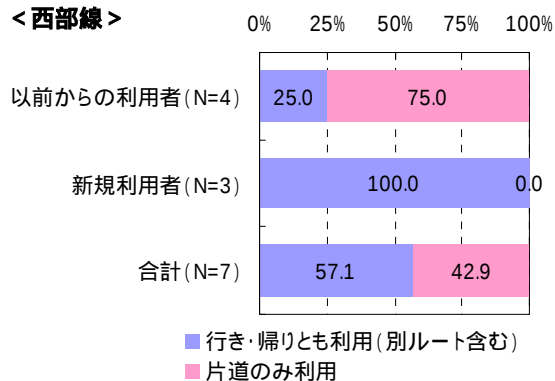
< 中央循環線 >



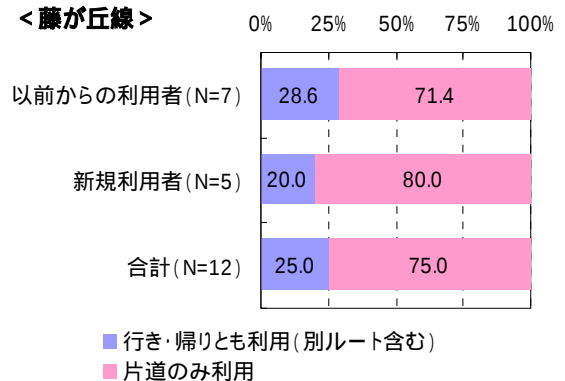
< 南部線 >



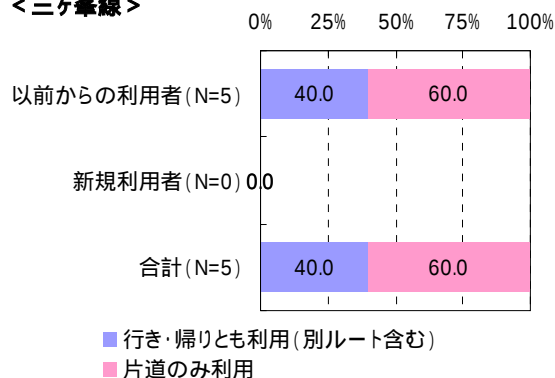
< 西部線 >



< 藤が丘線 >



< 三ヶ峯線 >



< 福祉の家線 >

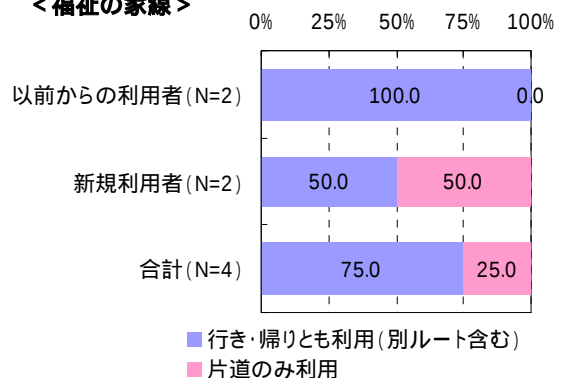


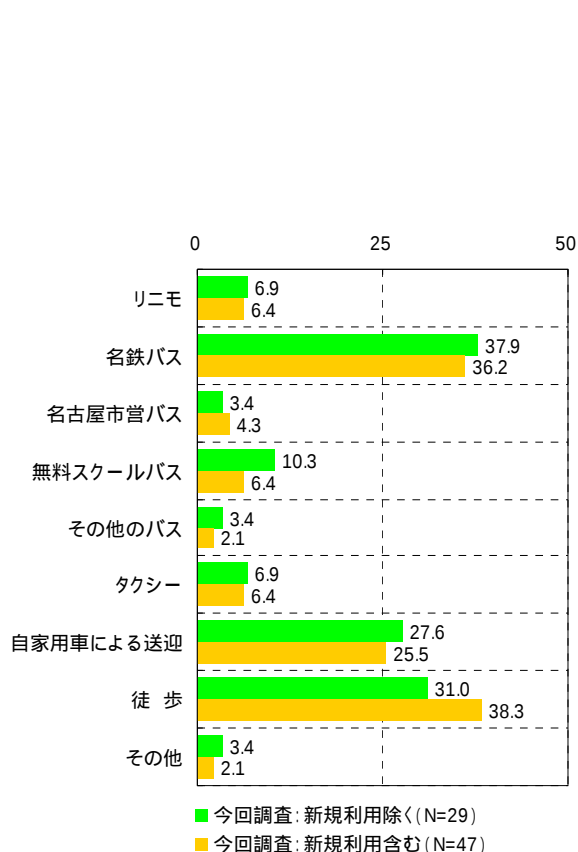
図 往復利用の状況 不明除く

(利用者アンケート調査)

2) 往復利用しない時の交通手段と往復利用しない理由

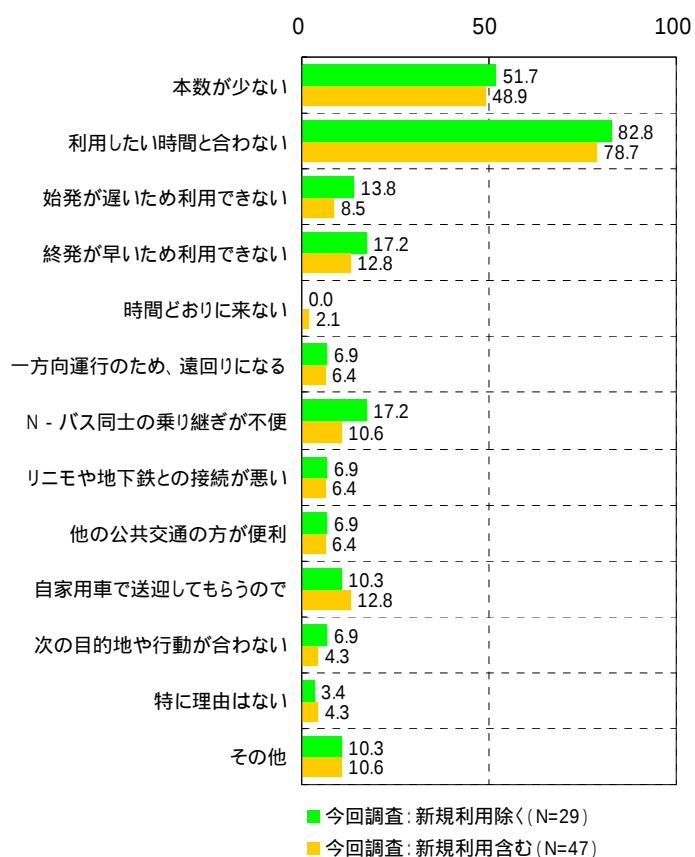
往復利用しない時の交通手段は、「徒歩」「名鉄バス」「自家用車送迎」が多くなっている。

片道しか利用しない理由として、「利用したい時間と合わない」「本数が少ない」が多くなっている。



(利用者アンケート調査)

図 往復利用しない時の交通手段



(利用者アンケート調査)

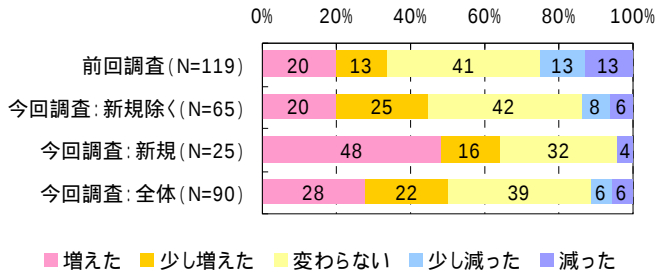
図 往復利用しない理由

N - バス利用者の行動の変化

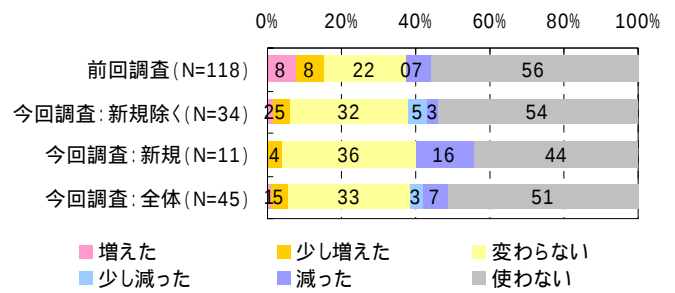
N - バス利用者の行動の変化は、大半の項目が前回調査と比べて「増えた・少し増えた」の比率が増加している。

その中で、「N - バスから乗り継いでリニモを利用する回数の変化」については、前回よりも「増えた・少し増えた」の比率は減っている。

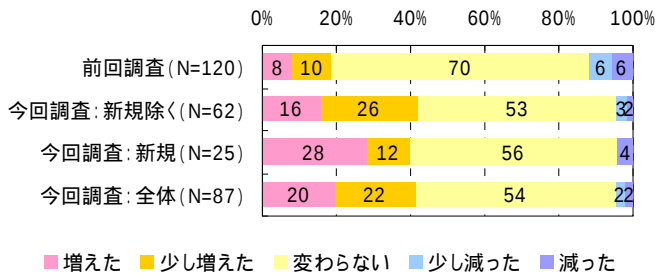
N - バスを利用する回数の変化
(不明除く)



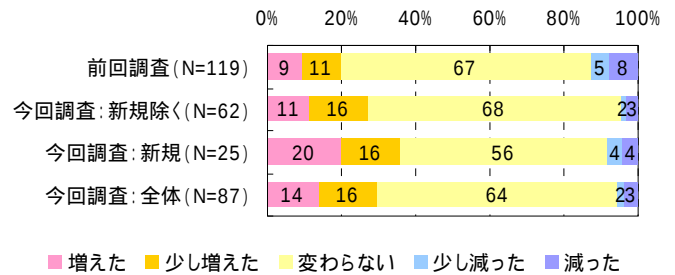
N - バスから乗り継いでリニモを利用する回数の変化
(不明除く)



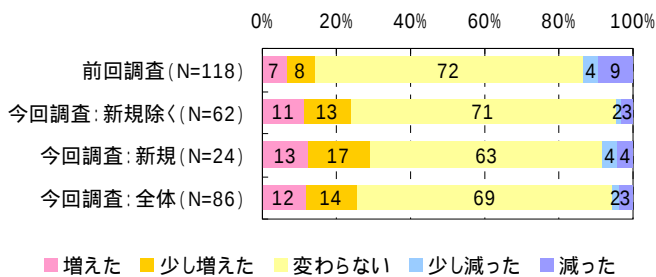
出かける機会の変化
(不明除く)



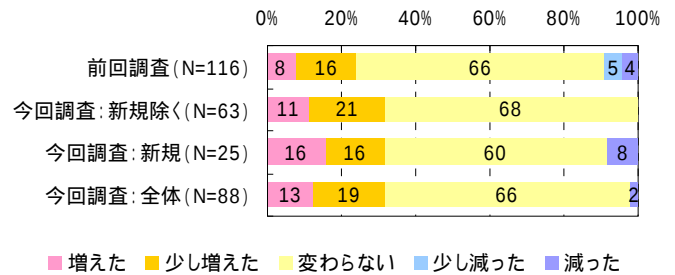
出かける長久手町内の目的地の数の変化
(不明除く)



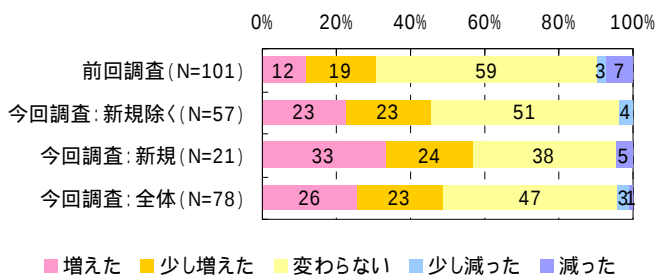
人と接する機会の変化
(不明除く)



1人で出かける回数の変化
(不明除く)



以前は自動車を使っていたが、N - バスやリニモなどの
公共交通を使う機会の変化 (不明除く)



(利用者アンケート調査)

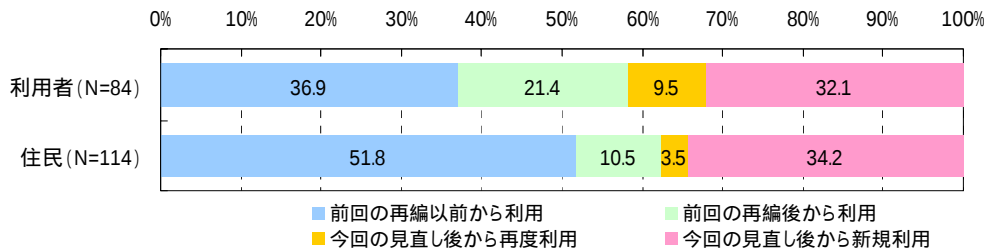
図 N - バス利用者の行動の変化

(3) N - バスの満足度について

現在の利用者の利用時期

4月1日以降も利用しているN - バス利用者のうち、新規利用者が3割を超える比率を占めている。(住民アンケートの集計では、4月1日以降は利用していない方は含めずに集計)

N - バス未利用時期の交通手段は、徒歩、名鉄バス、自動車、自転車の順で多くなっている。

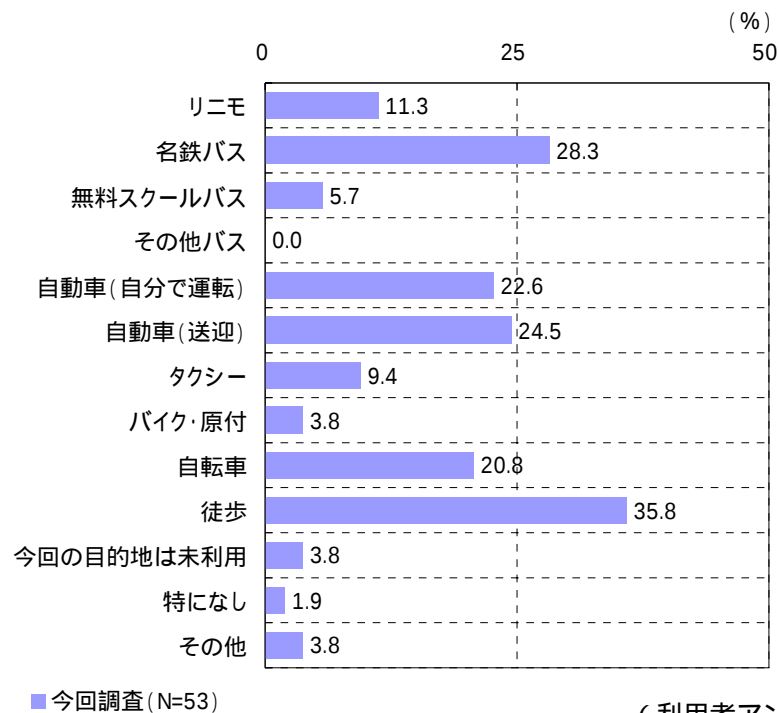


(利用者・住民アンケート調査)

図 3-5 利用時期の構成 不明除く

表 上図の凡例と再編・見直し時期との関係

凡例の内容	平成21年9月1日 前回の再編		平成23年4月1日 今回の見直し	
	↓		↓	
前回の再編以前から利用				
前回の再編後から利用				
今回の見直し後から再度利用				
今回の見直し後から新規利用				

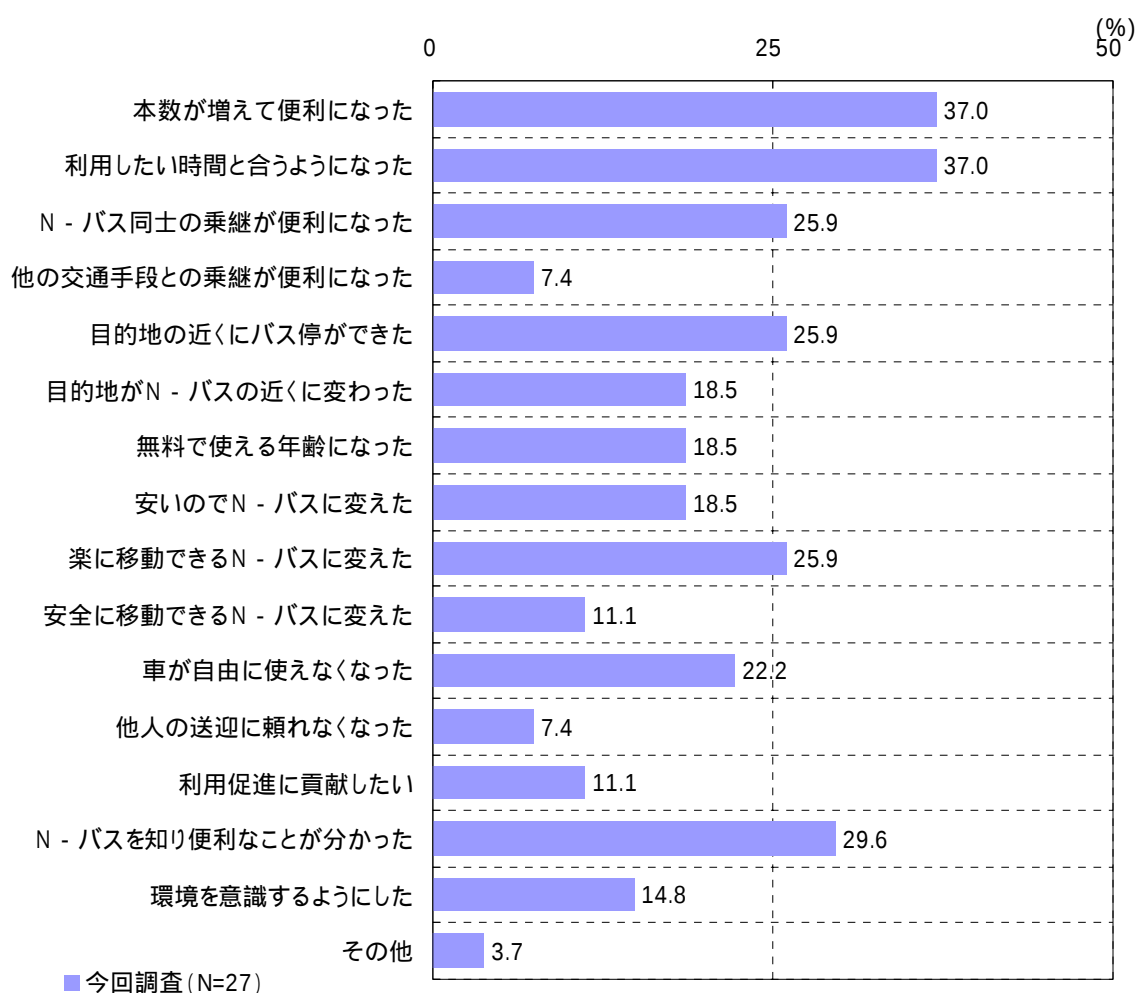


(利用者アンケート調査)

図 N - バス未利用時期の移動交通手段

新規利用者の利用理由

新規に利用するようになった理由として、「本数が増えて便利になった」「利用したい時間と合うようになった」「N - バスを知り便利なのが分かった」など、見直しに当たって取り組んだ改善の項目が上位にあり、結果として表れた形となっている。



(住民アンケート調査)

図 新規にN - バスを利用するようになった理由

利用者満足度と見直し前と比べた優劣

1) 全体

N - バスの満足度は、見直しによって主に改善した「運行本数」「運行ダイヤ」「始発時間」「終発時間」で、前回調査よりも満足度が高くなっている。

一方で「総合評価」が前回調査よりもやや低くなっており、「運行本数」「運行ダイヤ」の満足度は低い水準にあることが影響している可能性がある。

見直し前との優劣については、「変化なし」の3点以上の項目が多くなっており、3点を下回る項目は「運行ダイヤ」の1項目となっている。

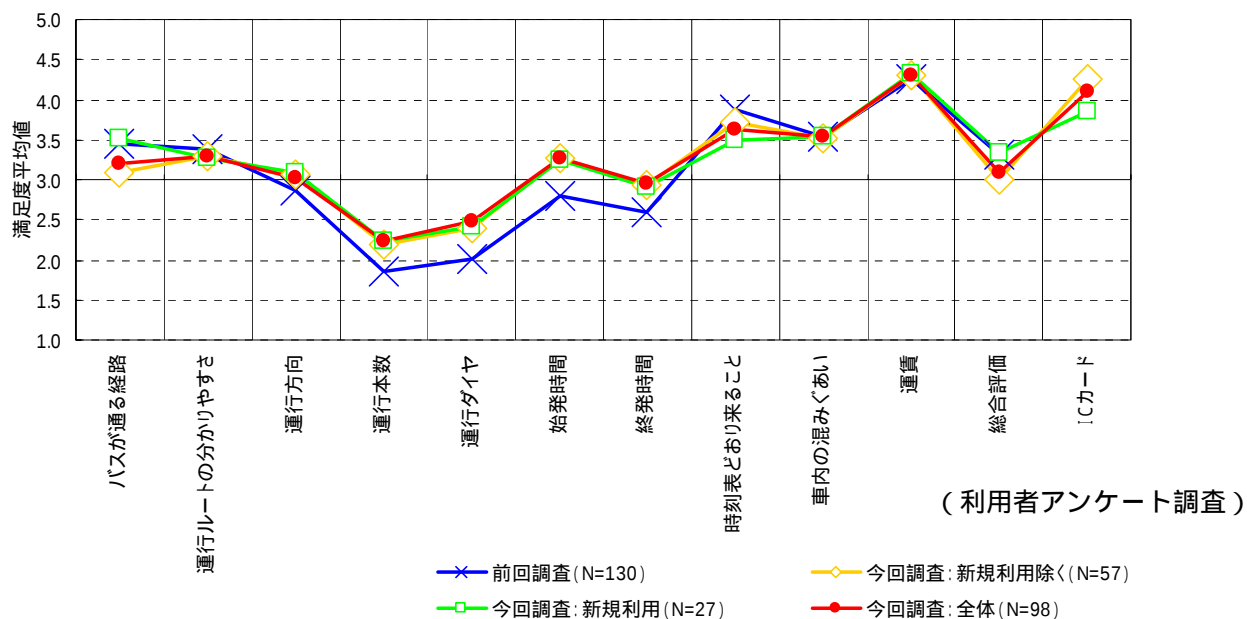


図 N - バスの満足度 (平均)【5段階評価：満足5点～不満1点】

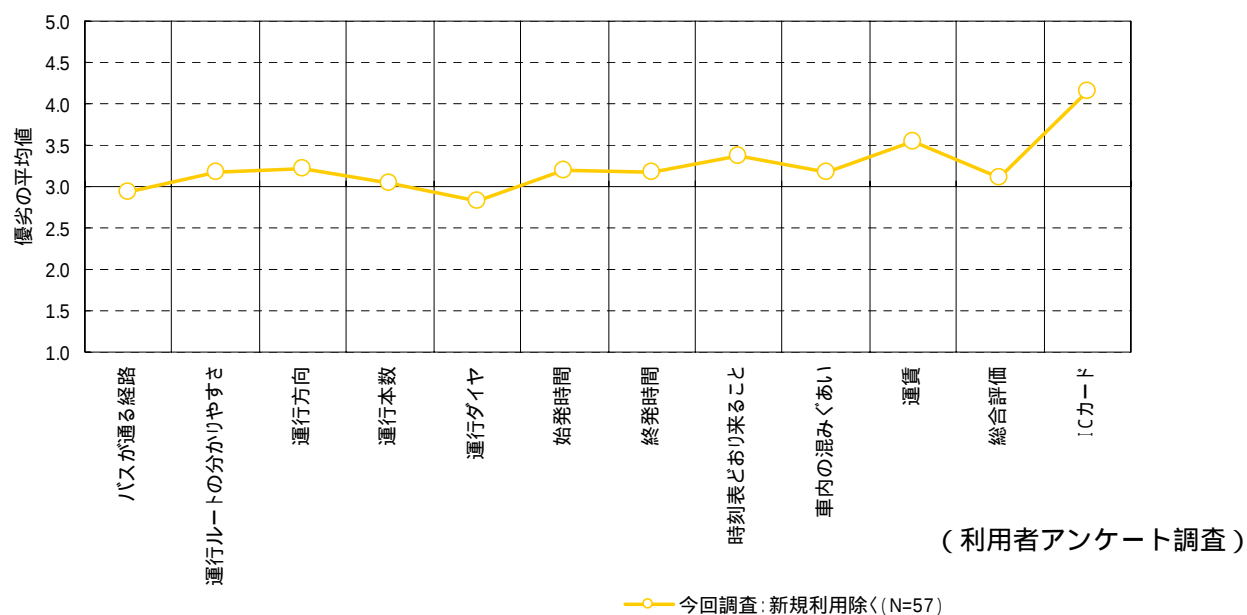


図 N - バスの見直し前と比べた優劣 (平均)【5段階評価：良い5点～悪い1点】
新規利用者除く

2) 路線別

運行本数を増加した中央循環線では、「運行本数」「運行ダイヤ」「始発時間」「終発時間」のサービス水準に関わる項目の満足度が全体よりも高くなり、見直し前との優劣も全体よりも高くなっている。双方向運行を強化した南部線では「運行方向」の満足度が高くなり、見直し前との優劣も「運行方向」「運行本数」「運行ダイヤ」の項目で全体よりも高くなっている。最も利用が多い藤が丘線では、「バスが通る経路」「運行方向」「運行本数」「運行ダイヤ」「始発時間」で全体よりも満足度が低く、「総合評価」も低くなっている。回答数は少ないが、西部線は「運行方向」、三ヶ峯線は「運行本数」「運行ダイヤ」の満足度が全体よりも低くなっている。

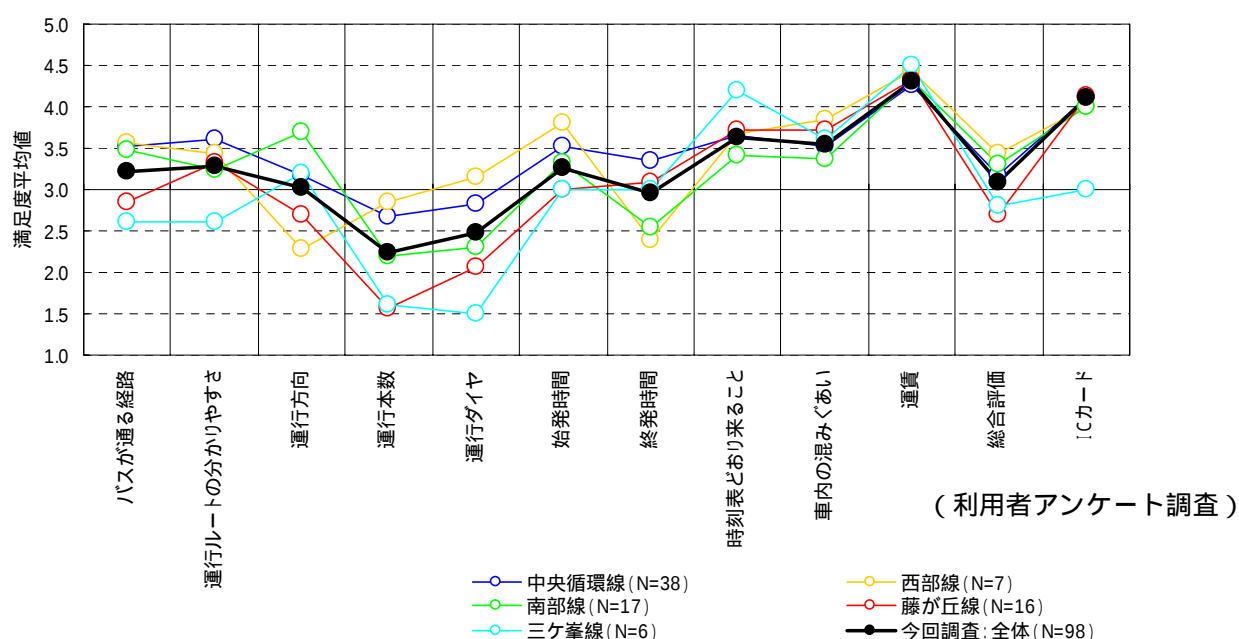


図 N - バスの満足度：路線別（平均）【5段階評価：満足5点～不満1点】 新規利用者含む

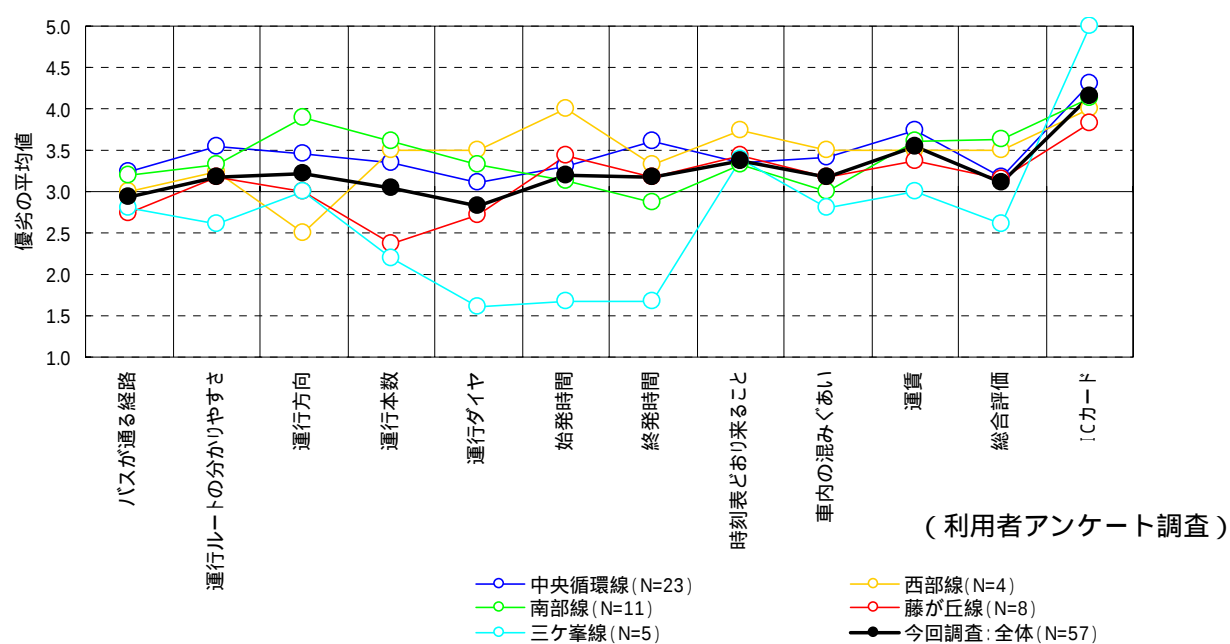
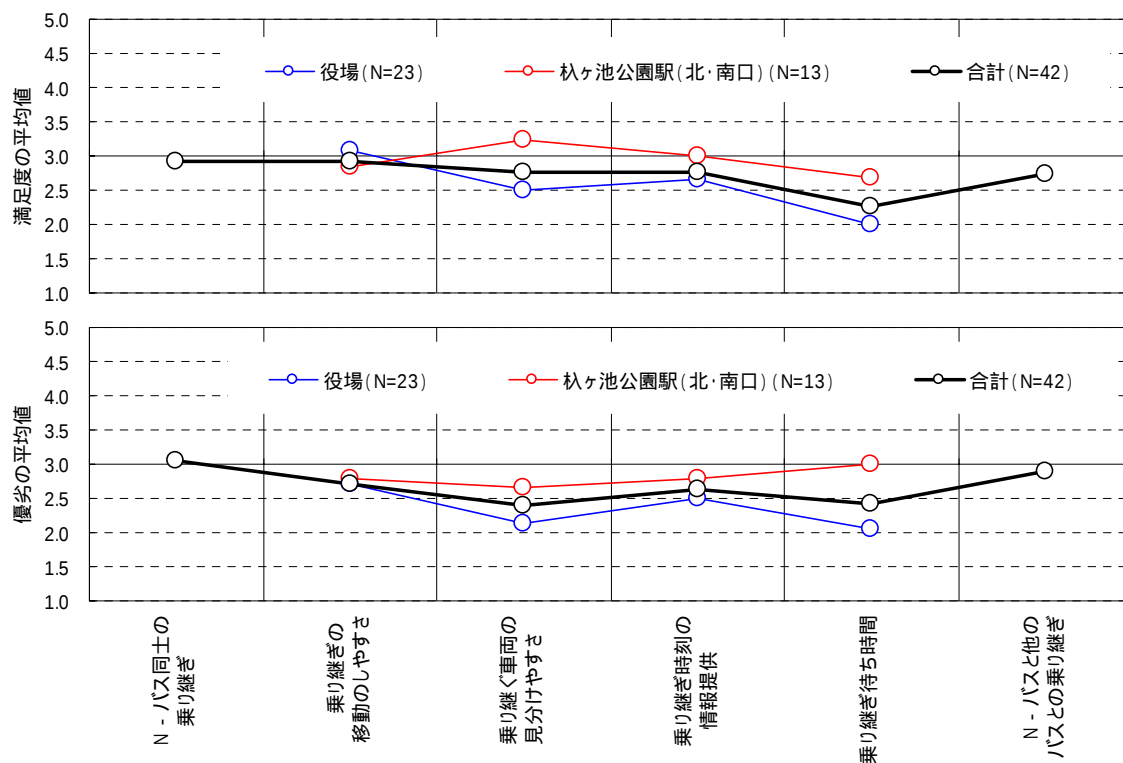


図 N - バスの見直し前と比べた優劣：路線別（平均）【5段階評価：良い5点～悪い1点】
新規利用者除く

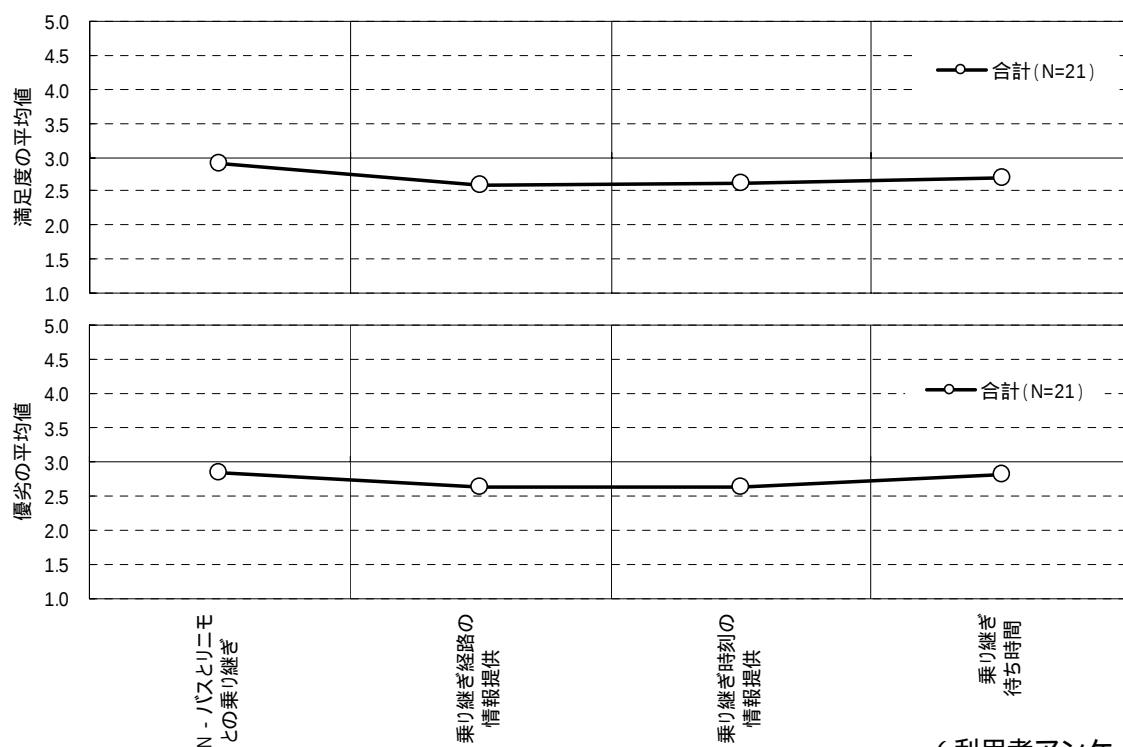
乗継利用の満足度と見直し前と比べた優劣

乗り継ぎに関しては、全般的に満足度が低くなっている。杣ヶ池公園駅については、北・南口に分けたことが役場よりも良い評価に影響していると考えられる。



(利用者アンケート調査)

図 N - バス同士の乗継ぎに関する満足度 (上図) と見直し前と比べた優劣 (下図)



(利用者アンケート調査)

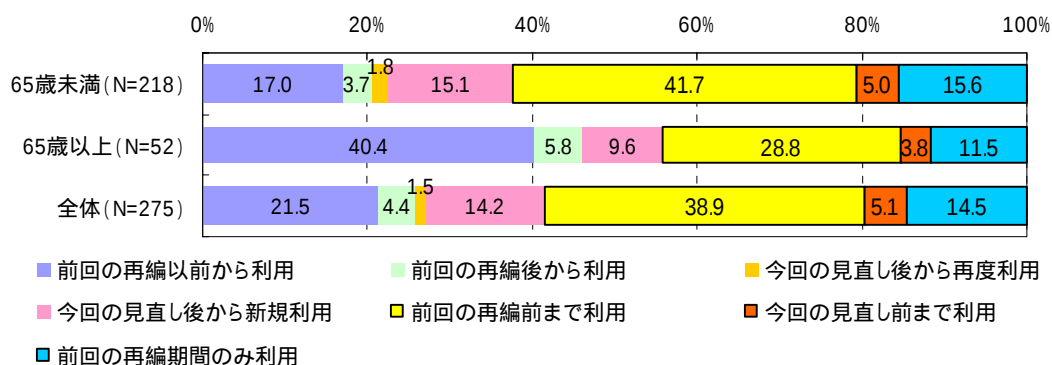
図 N - バスとリニモとの乗継ぎに関する満足度 (上図) と見直し前と比べた優劣 (下図)

(4) N - バスを利用しなくなった方の状況

N - バスを利用しなくなった方を含む利用時期の比率

現在の利用者としては新規利用が増えているものの、住民アンケートの結果では「以前は利用していたが現在未利用」の割合が全体では約59%を占める。(下図参照)

N - バスの利用しやすかった時期は、現在も利用している方は、『今回の見直し』が利用しやすい割合が高くなっているが、現在未利用の方は『前回再編以前』の割合が高く、全体を合わせると『前回再編以前』の割合が約55%と高い結果となった。(次頁図参照)

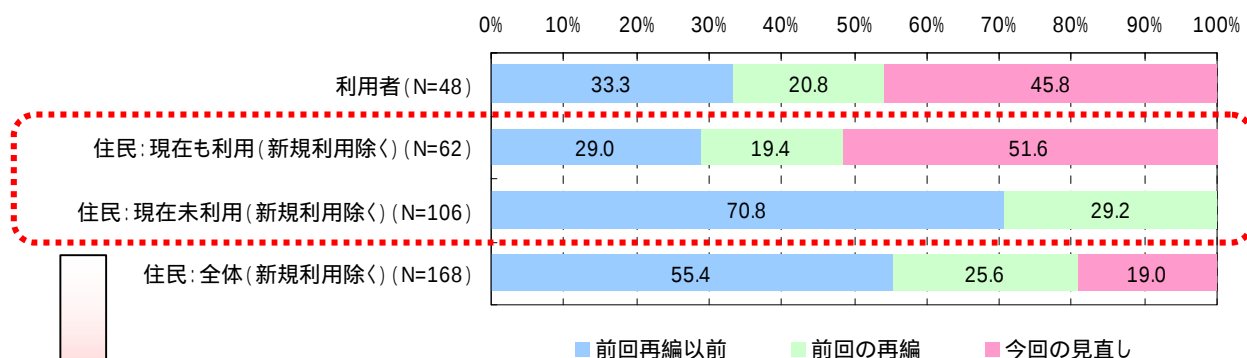


(住民アンケート調査)

図 N - バスを利用しなくなった方を含む利用時期 不明除く

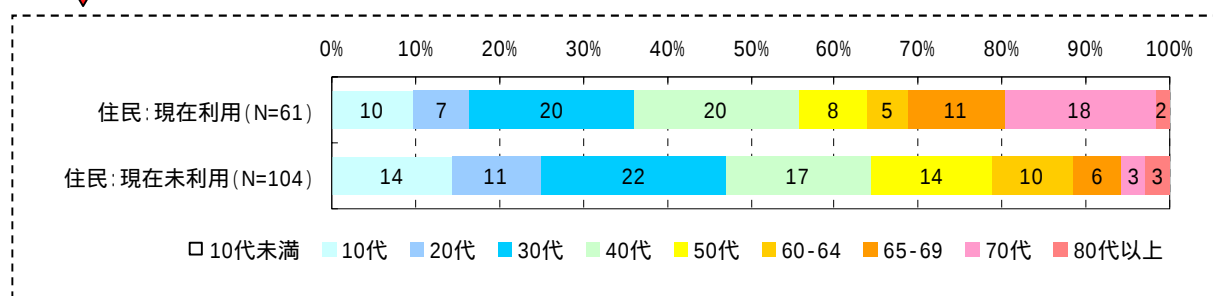
表 上図の凡例と再編・見直し時期との関係

凡例の内容		平成 2 1 年 9 月 1 日 前回の再編	平成 2 3 年 4 月 1 日 今回の見直し
		↓	↓
利用 現在も	前回の再編以前から利用		
	前回の再編後から利用		
	今回の見直し後から再度利用		
	今回の見直し後から新規利用		
未利用 現在	前回の再編前まで利用		
	今回の見直し前まで利用		
	前回の再編期間のみ利用		



(利用者・住民アンケート調査)

図 N - バスを利用しやすかった時期 不明除く



(住民アンケート調査)

図 3-19 現在利用者と現在未利用者の年齢構成 不明除く

N - バスを利用しなくなった方の居住地区

N - バスを利用しなくなった方の居住地区を見ると、藤が丘周辺の地区に多く見られる。藤が丘周辺の地区は、市内でも人口密度の高い地域であるので、今後の改善の際には参考とする必要がある。なお、昨年度の調査を参考に見ると、公共交通で行けるとよいと思う市内の主要施設に対する回答数の分布は、藤が丘周辺や南部地区ほど比率が高くなっている。（次頁参照）

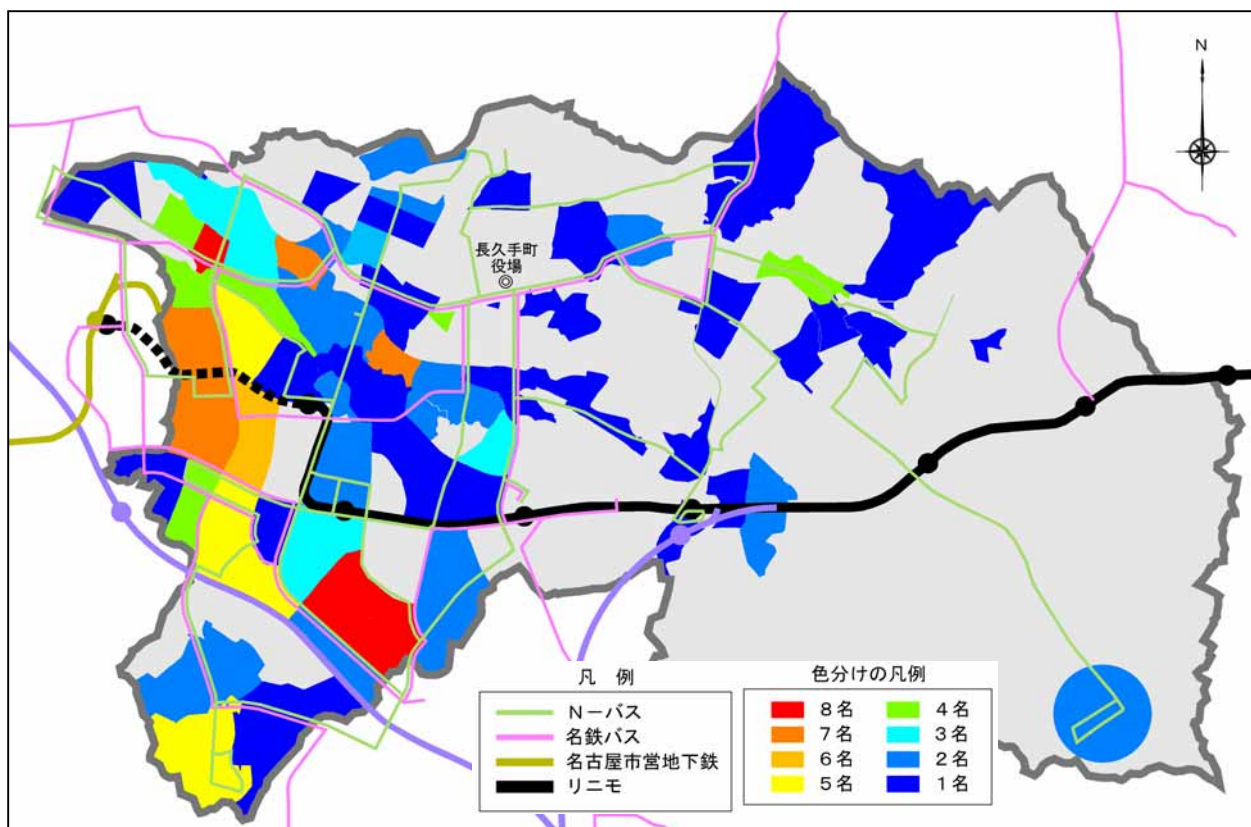


図 「N - バスを利用なくなった」と回答した方の数

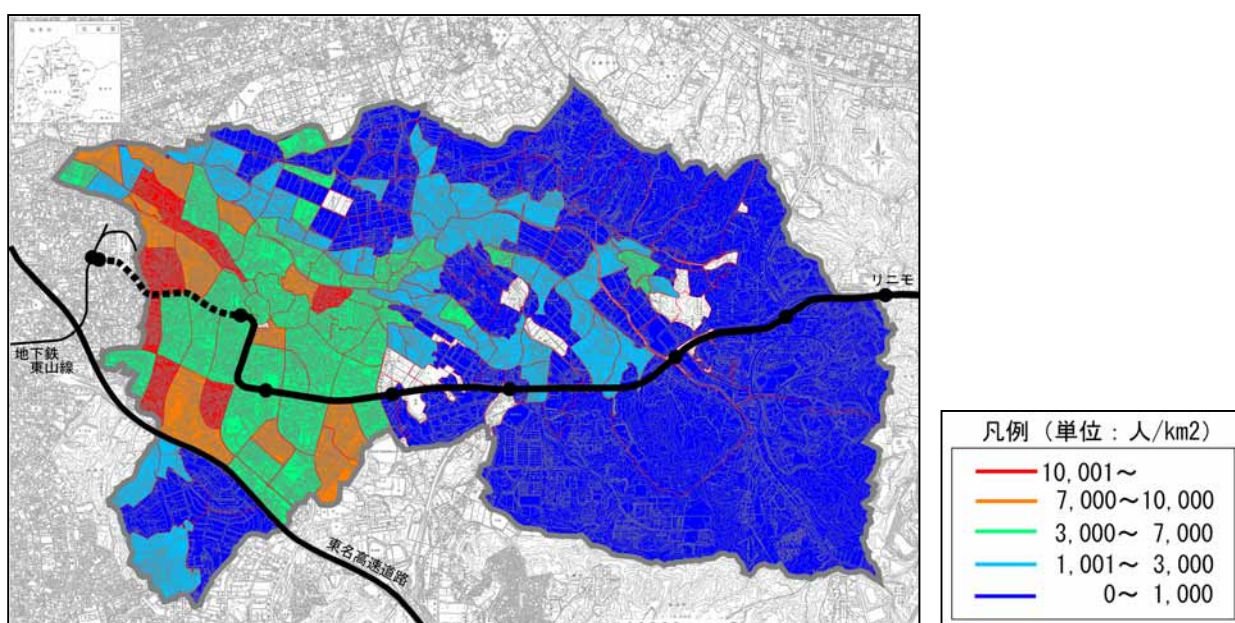
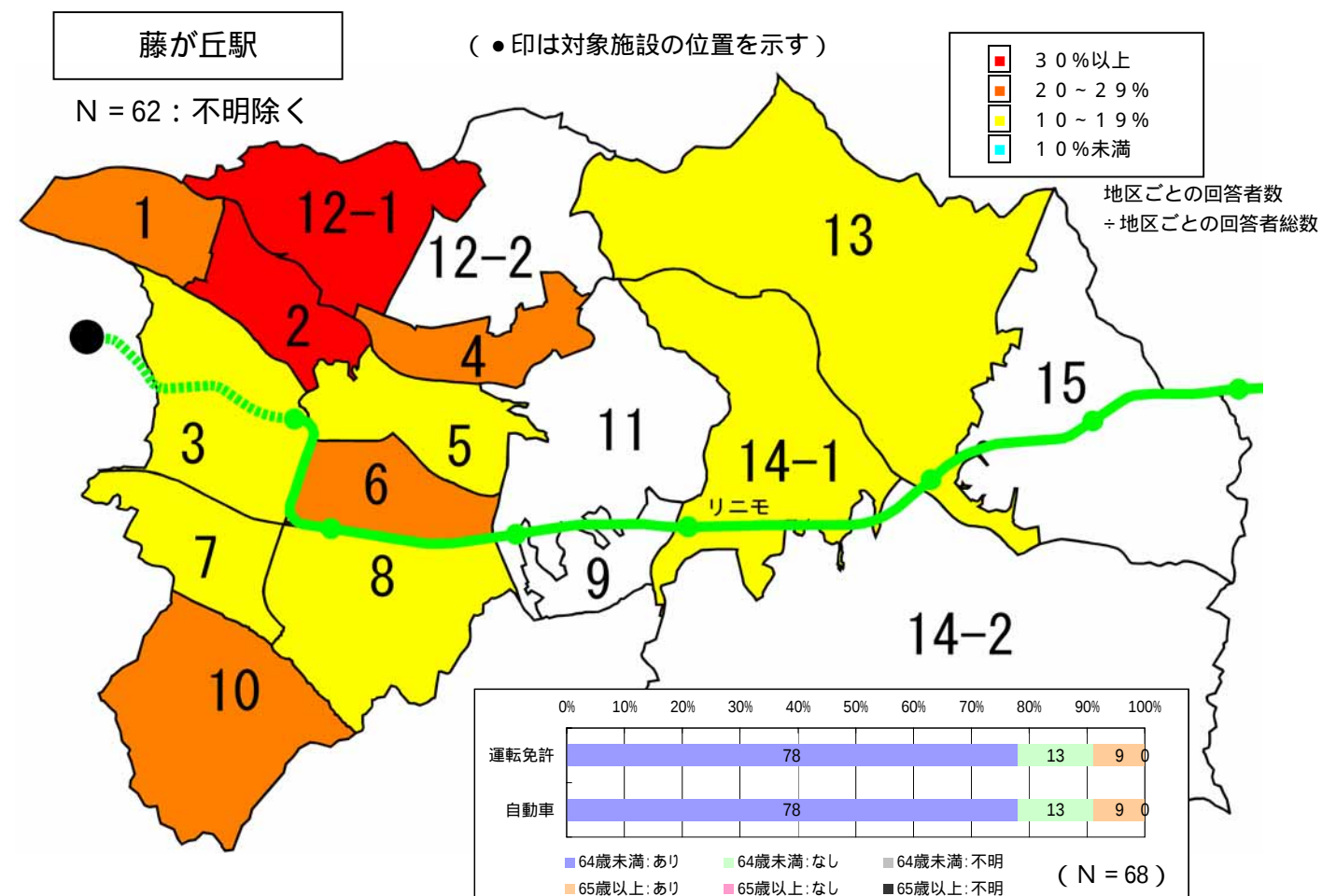
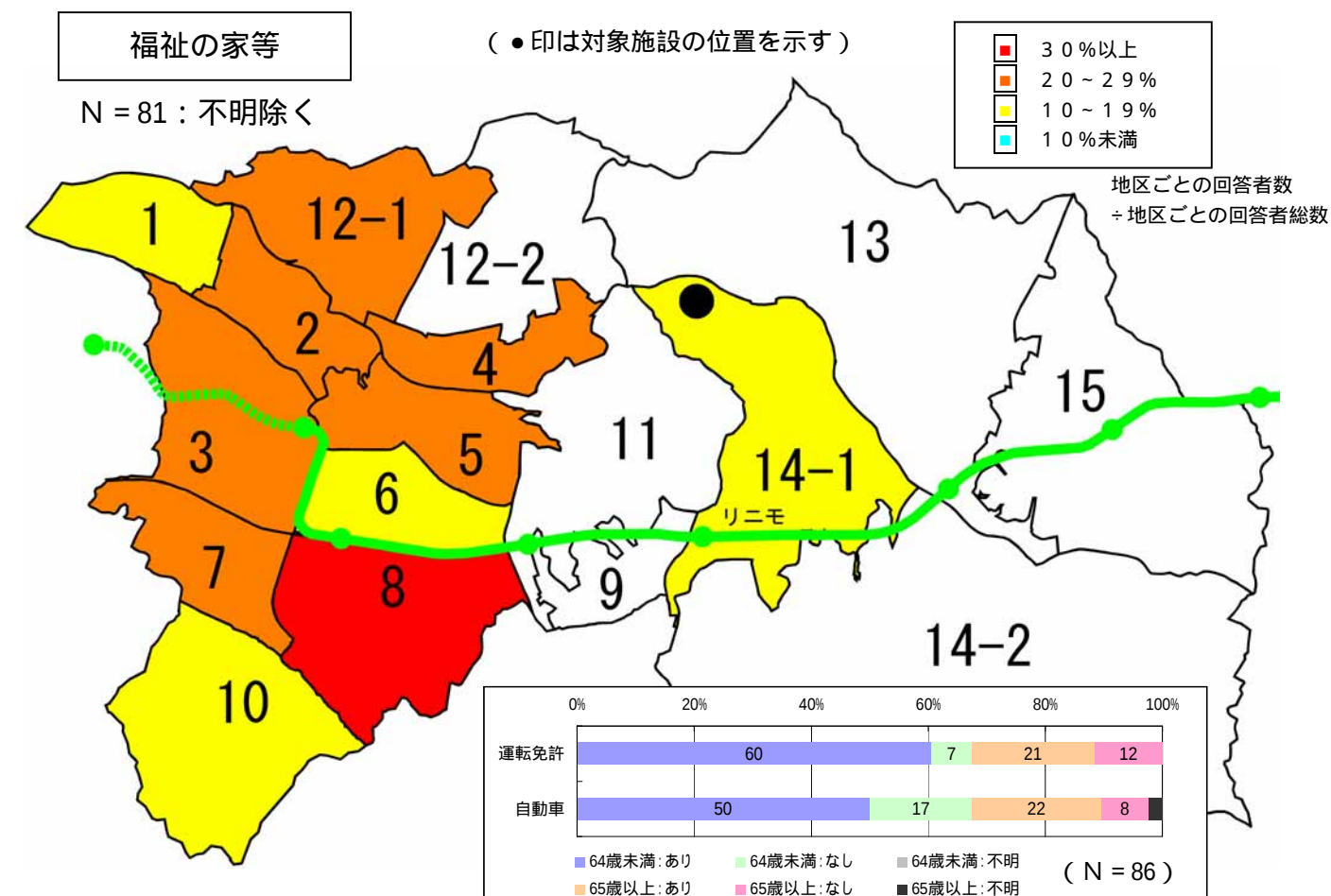
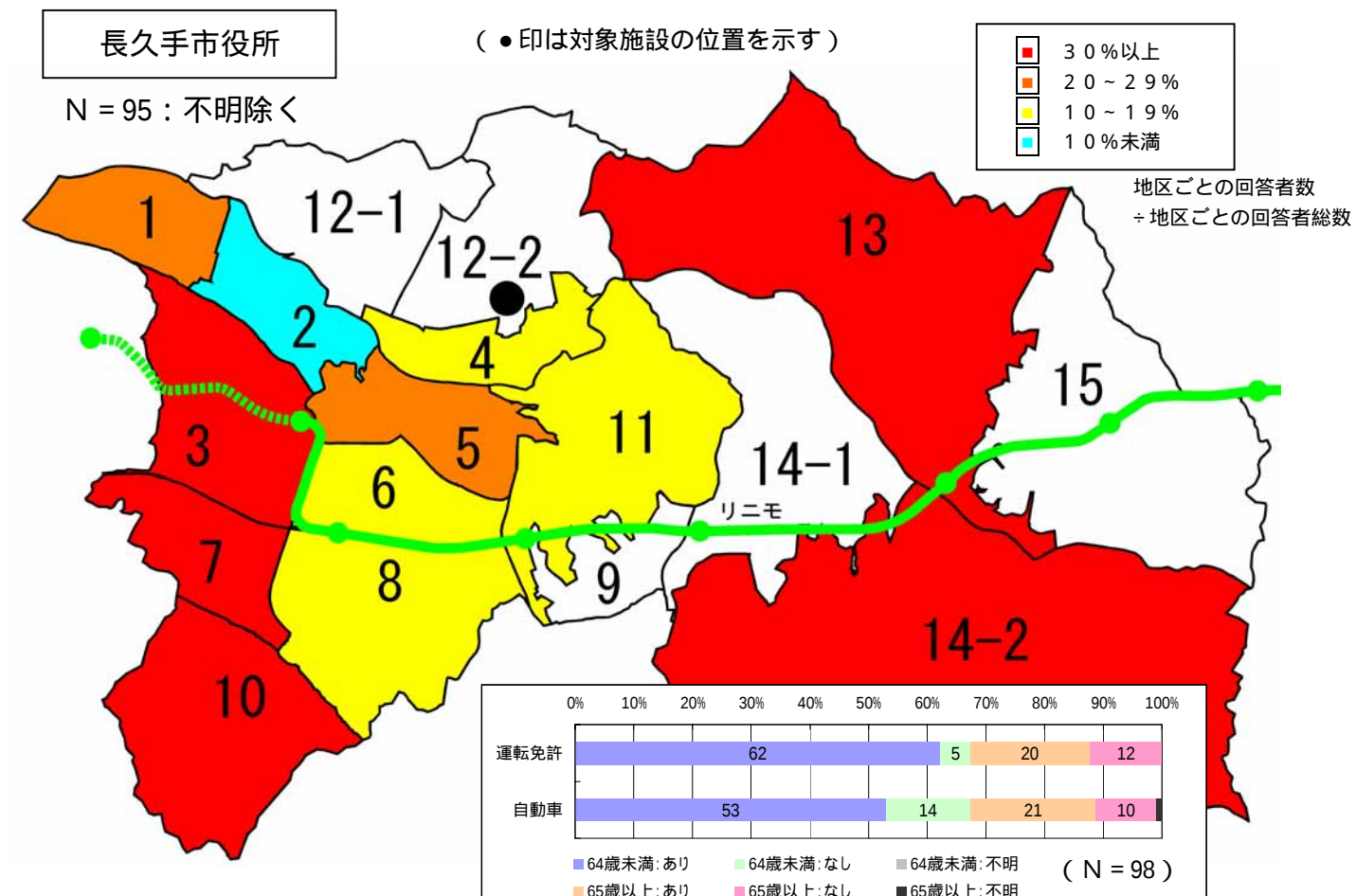
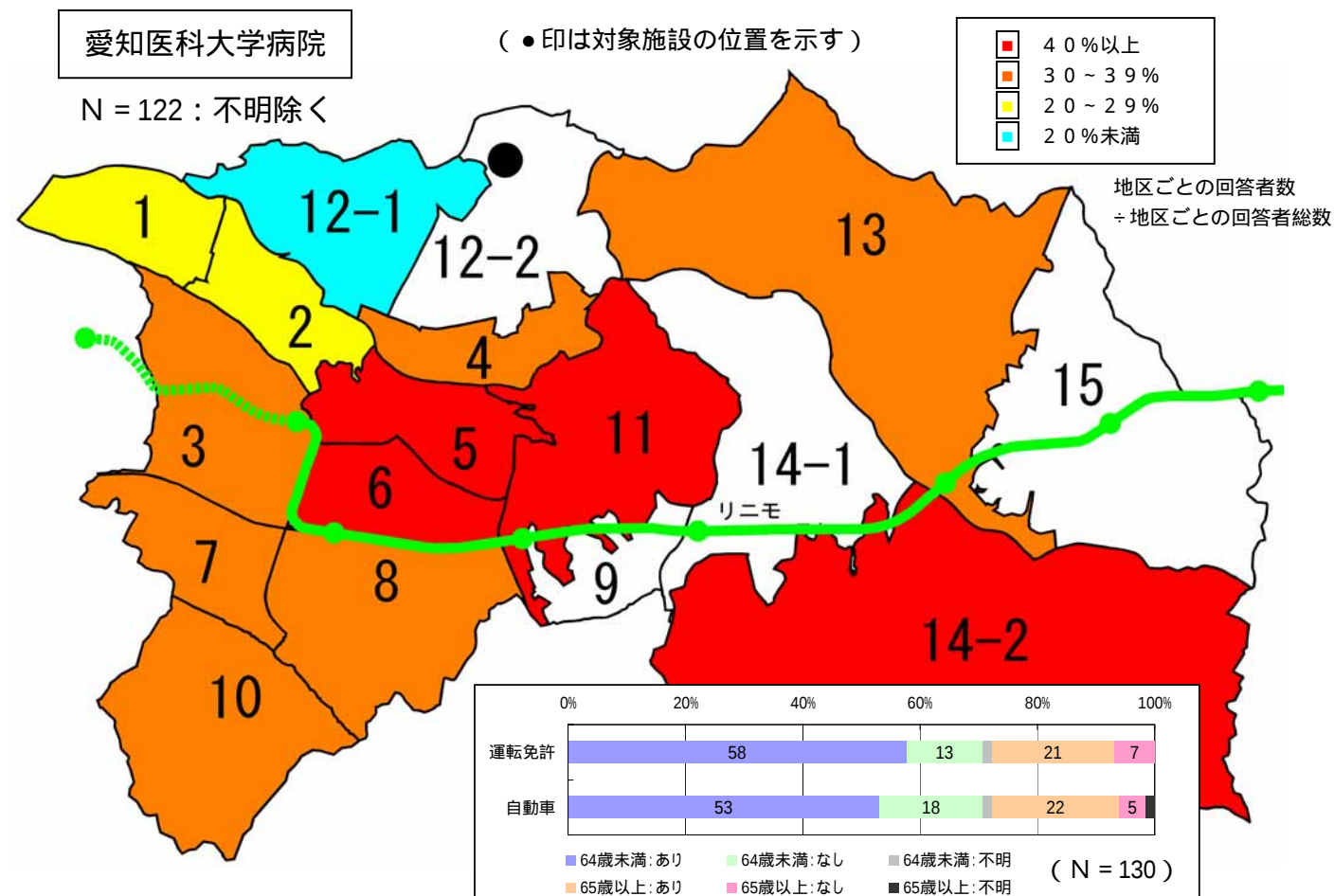


図 長久手市の人口分布



資料：平成22年度 長久手町公共交通利用実態調査他業務委託報告書（平成22年9月 長久手市）

図 参考：公共交通で行けるとよいと思う施設についてのゾーンごとの回答者総数に占める回答数の比率

N - バスを利用しなくなった方の理由と代替りの交通手段

N - バスを利用しなくなった理由は、「特に理由はない」が最も多く、次いで「利用できるダイヤがなくなったから」の理由が多くなっている。

N - バスを利用しなくなった方が、N - バスの代わりに使っている交通手段は、65歳未満では「タクシー」「外出をやめた」の順で比率が多く、65歳以上では「徒歩」「タクシー」「バイク・原付」の順で比率が多くなっている。

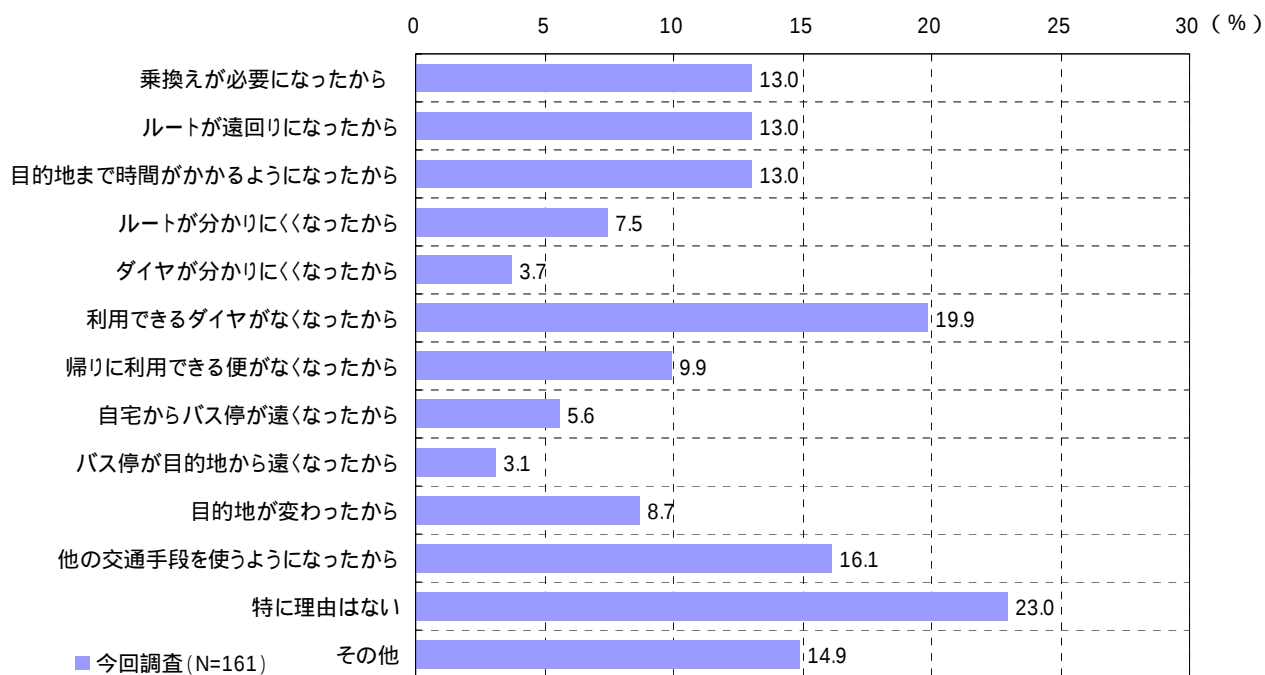


図 N - バスを利用しなくなった理由 (%)

(住民アンケート調査)

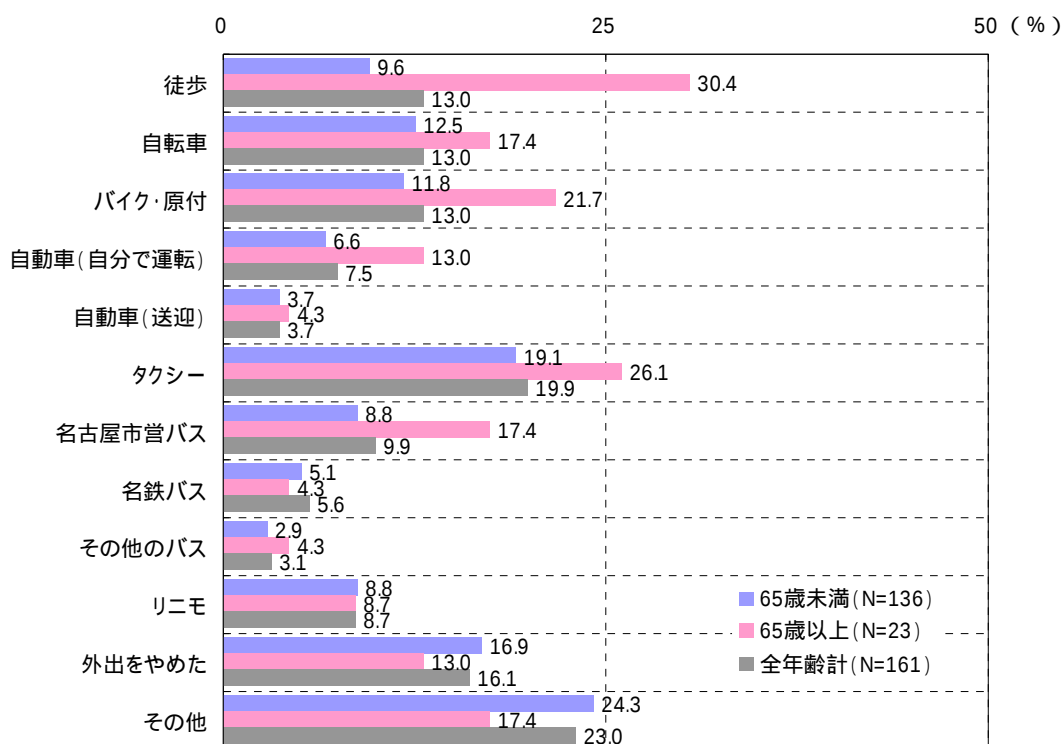


図 N - バスの代わりに使っている交通手段

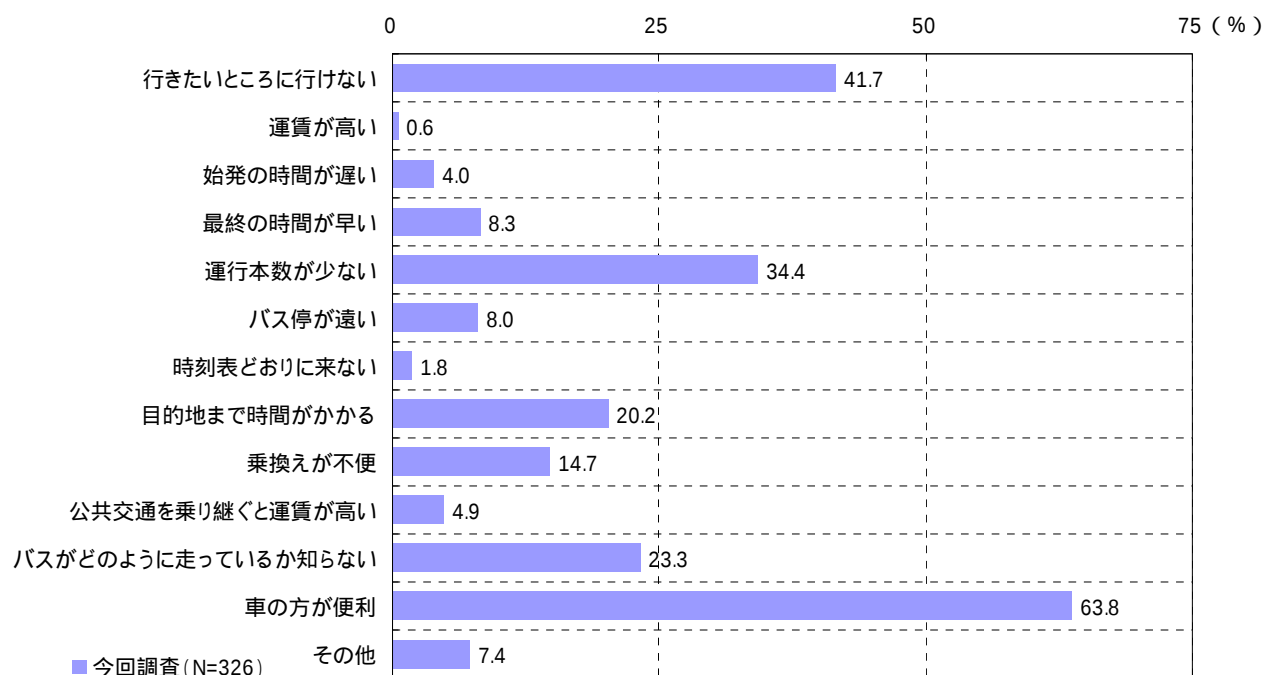
(住民アンケート調査)

N - バスを利用していない方の理由

1) 理由の内訳

N - バスを利用しない理由は、「車の方が便利」が最も多く、次いで「行きたいところに行けない」「運行本数が少ない」の順で多くなっている。

前で整理した「N - バスを利用したことがある」の割合が増えており、改善の効果が表れていると考えられるが、今後も引き続き利便性向上に向けた取り組みが必要と考えられる。

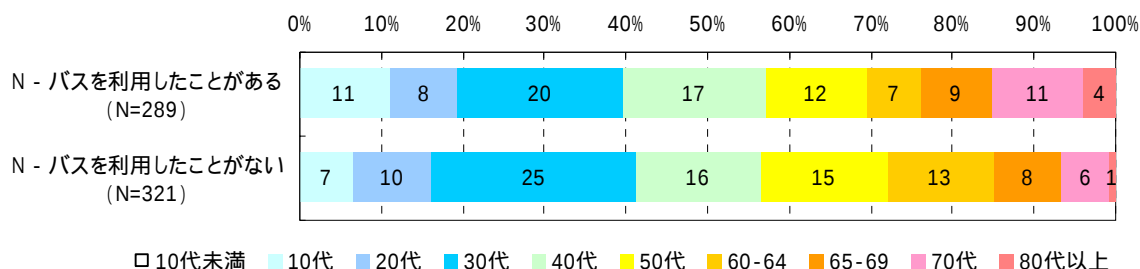


(住民アンケート調査)

図 N - バスを利用しない理由

2) N - バス利用有無の年齢構成比較

N - バスを利用したことがある・なしの年齢構成を見ると、「利用したことがない」方が65歳未満の比率が約85%と多くなっている。

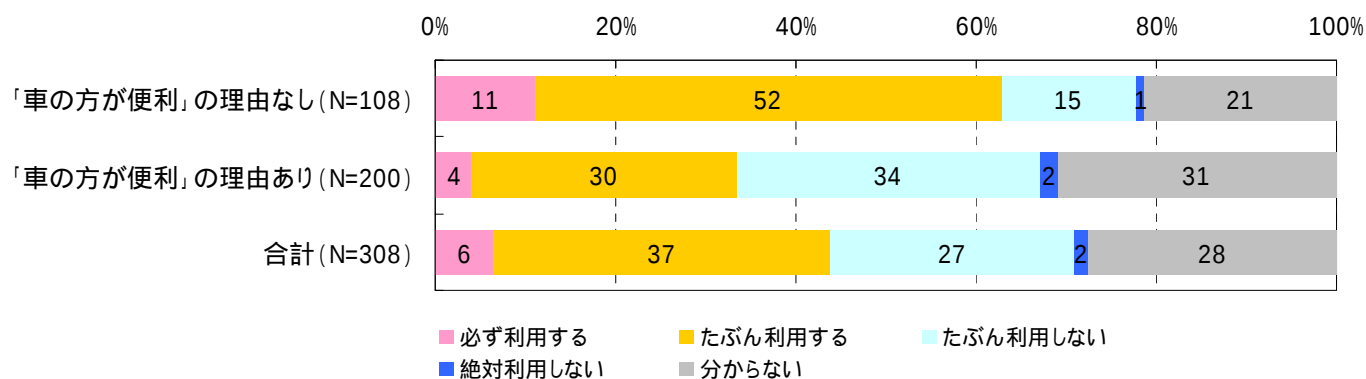


(住民アンケート調査)

図 N - バスを利用したことがある・なしの年齢構成 不明除く

3) N - バスを利用しない理由が解決した場合の利用の有無

N - バスを利用しない理由が解決した場合の利用の有無は、「車の方が便利」の理由がない方は、「必ず利用する・たぶん利用する」の割合が約63%であるのに対し、「車の方が便利」の理由がある方は、「必ず利用する・たぶん利用する」の割合が約34%と、半分程度の比率となる。



(住民アンケート調査)

図 利用していない理由が解決した場合のN - バスの利用の有無 不明除く

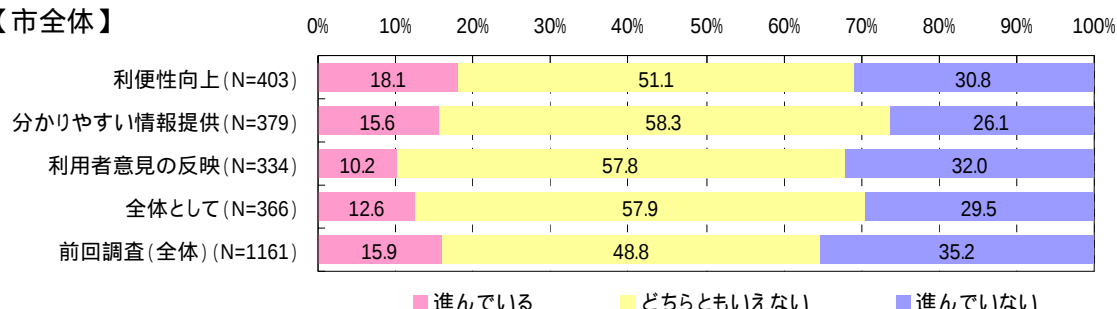
(5) 公共交通に関する取り組みの認知状況

公共交通の推進度について

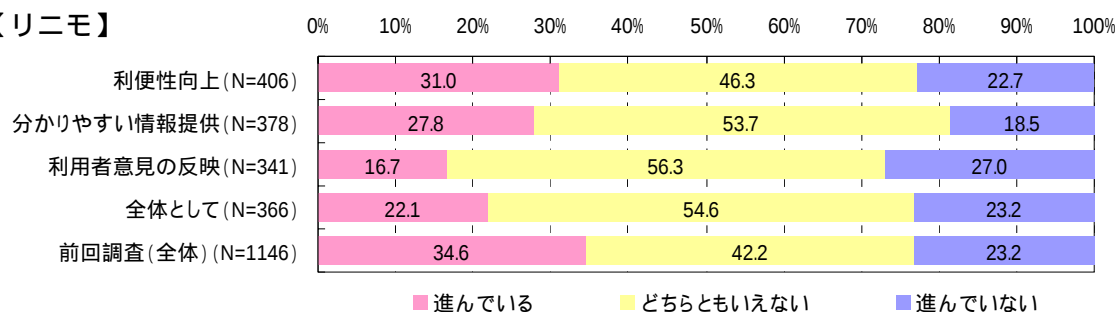
公共交通を便利にする様々な施策についての進捗度に関する市民感覚は、「市全体」としての回答では、「進んでいない」の比率が多くなっている。

事業者ごとで見ると、「進んでいる」の比率が多い項目はリニモの「利便性向上」「分かりやすい情報提供」の2つであり、その他は「進んでいない」の比率が多くなっている。

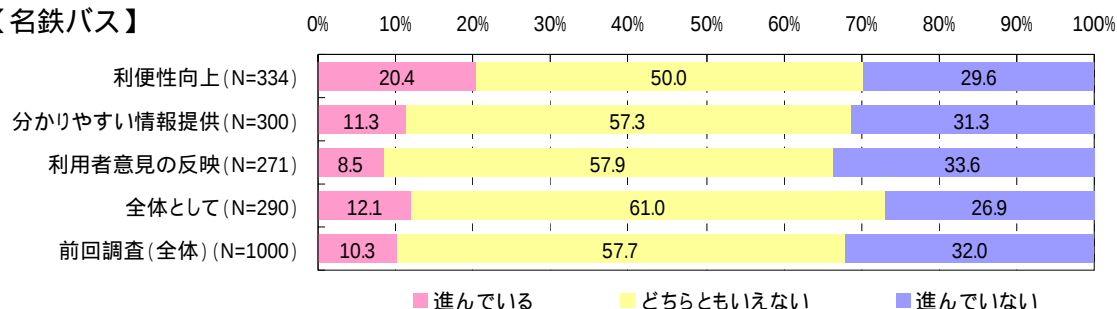
【市全体】



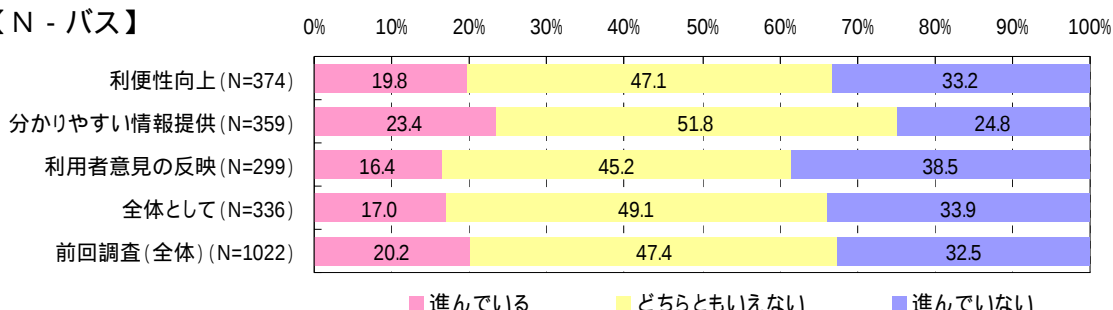
【リニモ】



【名鉄バス】



【N - バス】



(住民アンケート調査)

図 公共交通施策の推進度 分からない・不明除く

ホームページ、広報紙、地元回覧板の閲覧状況

ホームページは「必要な時にかぎり見る」が多いものの、次いで「パソコンはあるがほとんど見ない」の比率も多い。広報紙と地元回覧板は、市ホームページと比べて閲覧されており、高齢者は「ほぼ毎回見る」が7割を超える高い比率となっている。

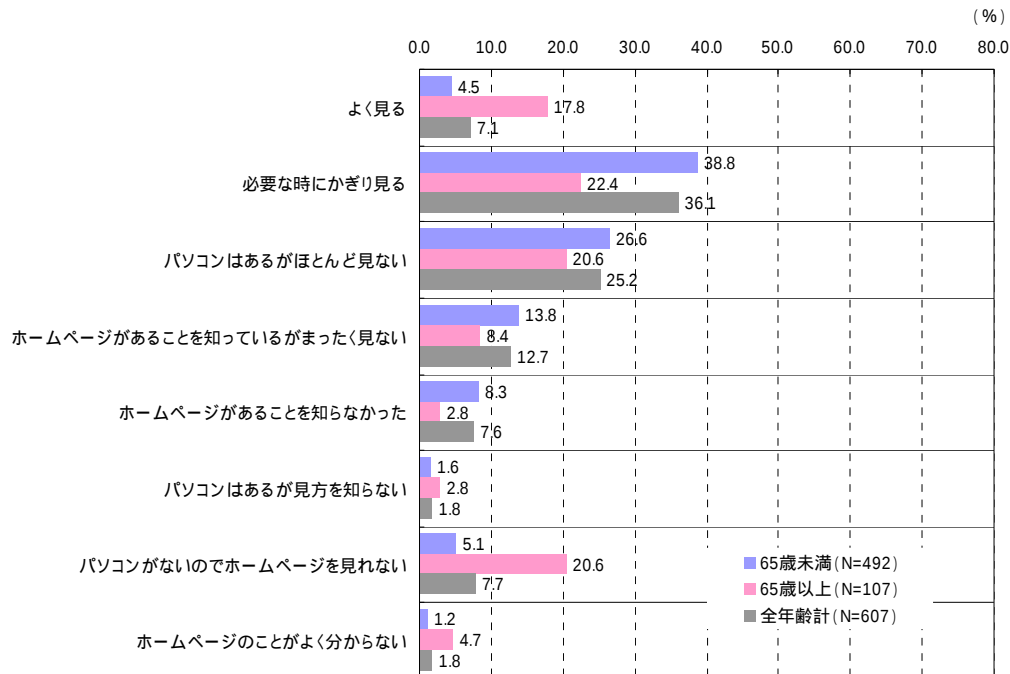


図 ホームページの閲覧状況 不明除く (住民アンケート調査)

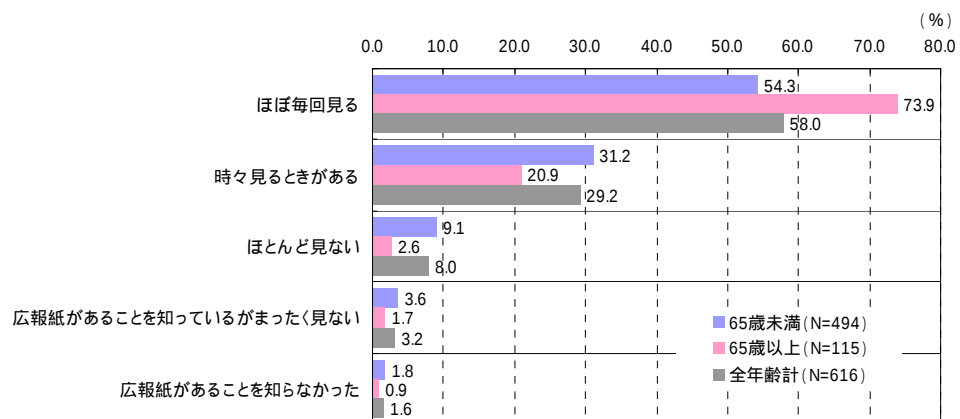


図 広報紙の閲覧状況 不明除く (住民アンケート調査)

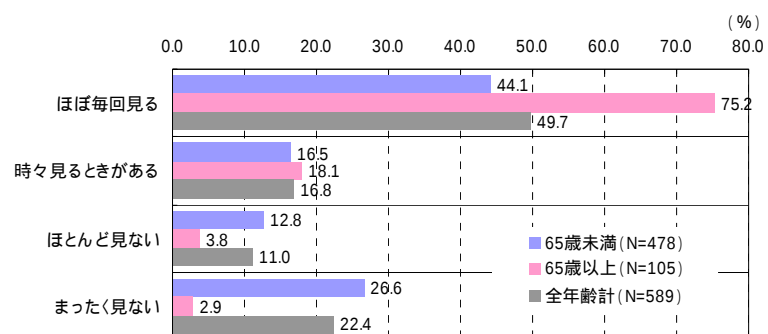
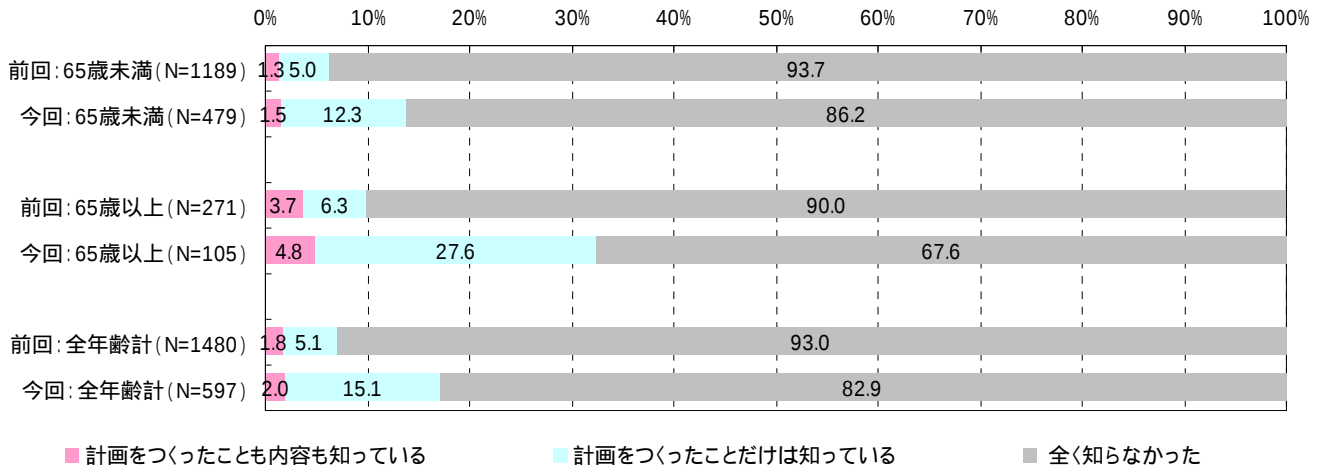


図 地元回覧板閲覧状況 不明除く (住民アンケート調査)

連携計画の認知状況

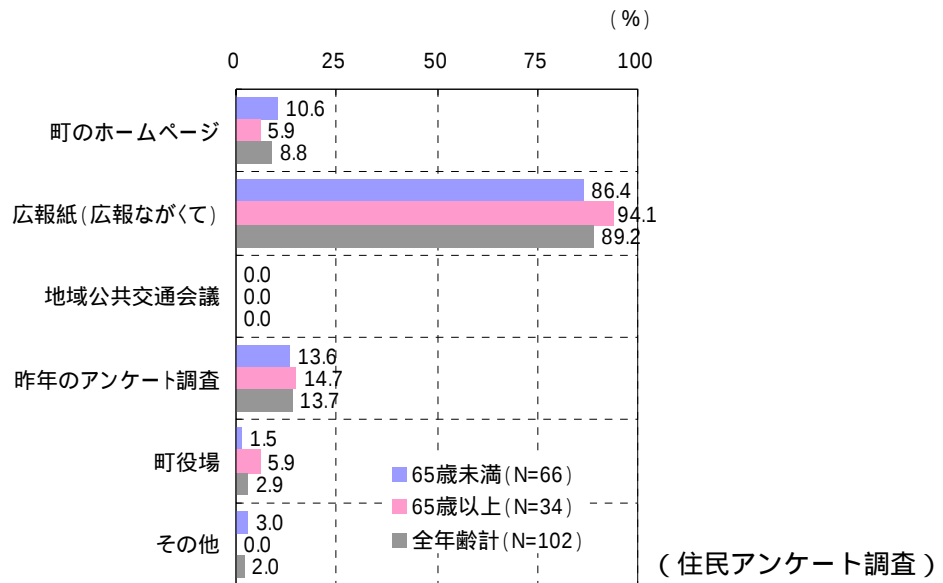
連携計画の認知度は、前回よりもやや増えている結果となっている。

連携計画の情報入手先は、「広報紙」が約90%と大半を占める。次いで、「昨年のアンケート調査」は約14%となっている。



(住民アンケート調査)

図 連携計画の認知状況 不明除く。「全年齢計」の集計では年齢不明含む



(住民アンケート調査)

図 連携計画の情報入手先 不明除く

N - バスの見直しの情報入手先

N - バスの見直しを知った情報入手先は、「広報紙」が約45%と多く、高齢者が約62%と特に高くなっている。しかし、65歳未満では「知らなかった」の割合が約49%と最も多くなっている。

N - バスの認知状況別の居住時期構成を見ると、「知らなかった」の回答者の方が、長久手市に居住してから間もない方の割合が多くなっている。

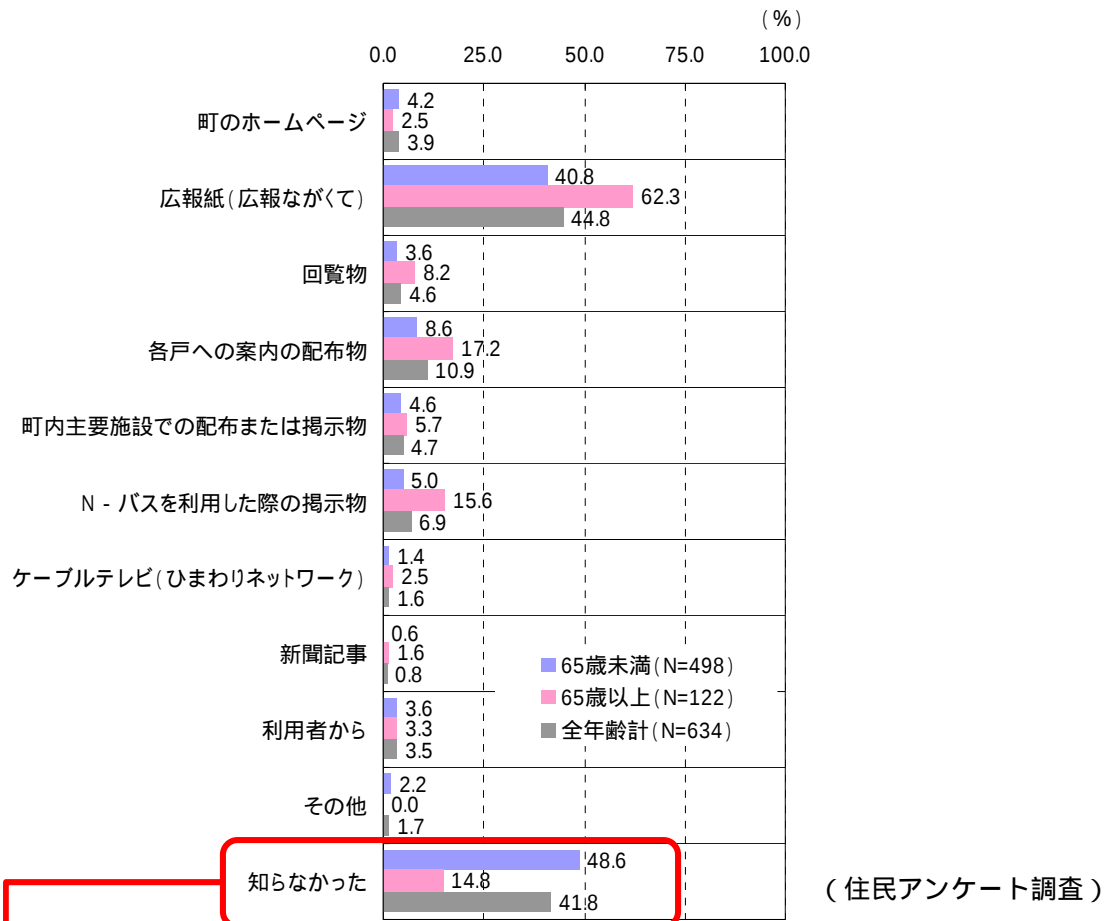


図 N - バスの見直しを知った情報入手先 不明除く

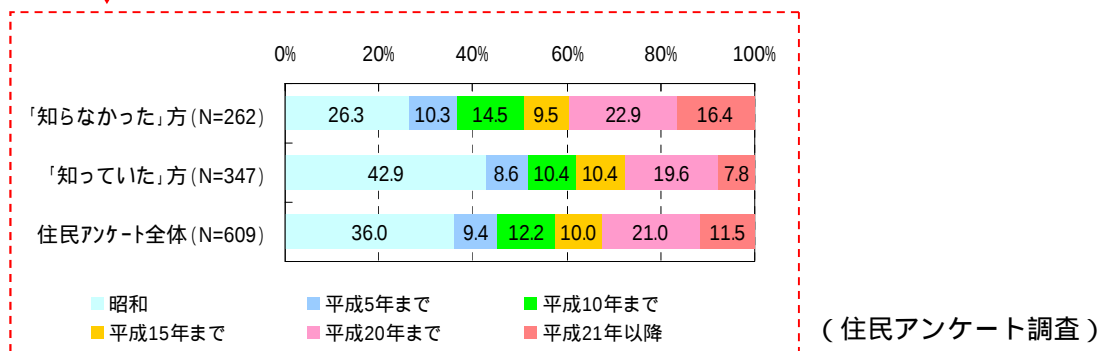


図 N - バスの見直しの認知状況別の居住時期 不明除く

周知・広報活動の認知状況と効果

1) 認知状況と効果でグラフを分けた場合

一般的に、利用者に比べて住民の周知・広報活動の認知度は低くなっている。

「路線図・時刻表があること」「広報紙と一緒に各戸に配布されたこと」の認知度と効果が高く、閲覧の比率が高い広報紙の活用が影響していると考えられる。N - バスの見直しの関する認知度と効果は、利用者・住民ともに「広報紙での特集記事の掲載」が高くなっており、今後の周知・広報活動の展開を行う上で参考とする必要がある。

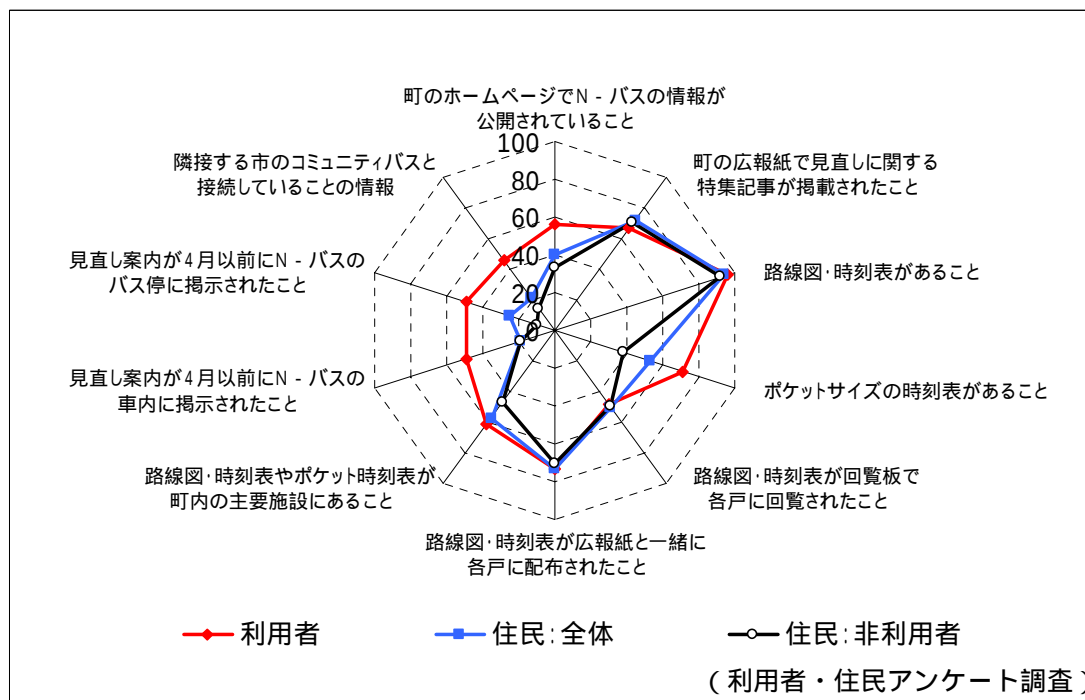


図 周知・広報活動の取り組みの認知状況：「知っている」と回答した方の割合

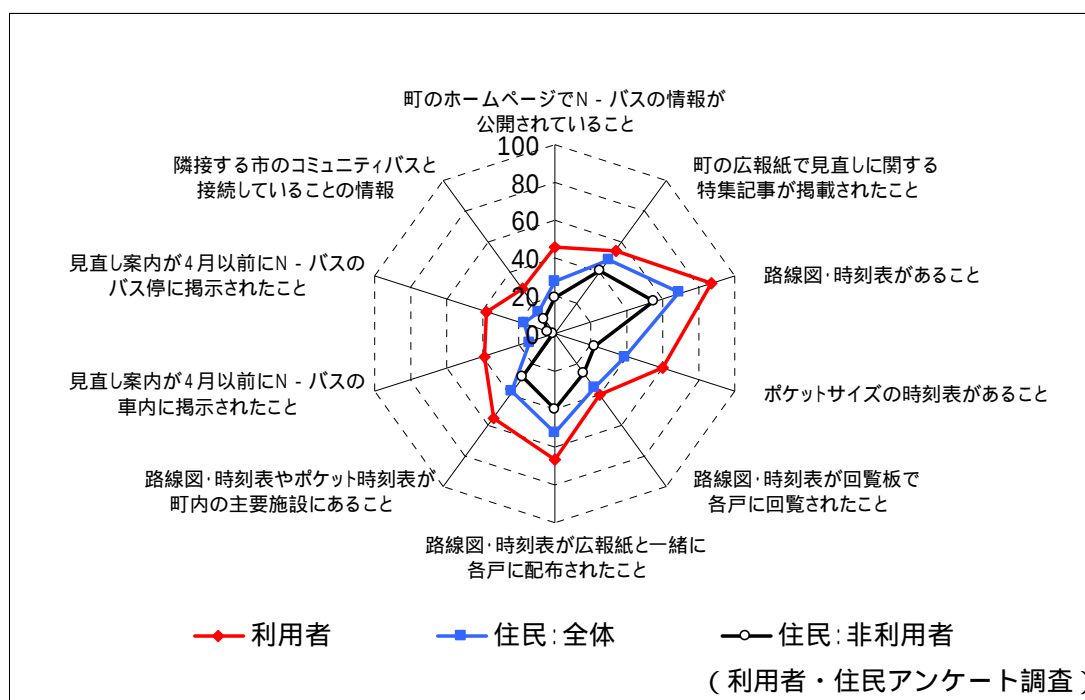


図 周知・広報活動の取り組みの効果：「役に立った」と回答した方の割合

2) 利用者アンケートと住民アンケートで分けた場合

利用者にとっては、「市ホームページでのN - バス情報の公開」は、紙媒体での情報提供に次いで『役に立った』の比率が高くなっている。昨年度、市ホームページでの情報提供の充実を図ったところであり、継続して取り組むことが必要と考えられる。

その一環として、駅すばあとコミュニティバス検索サイトの『コミたん』での情報提供を9月22日から始めたところである。

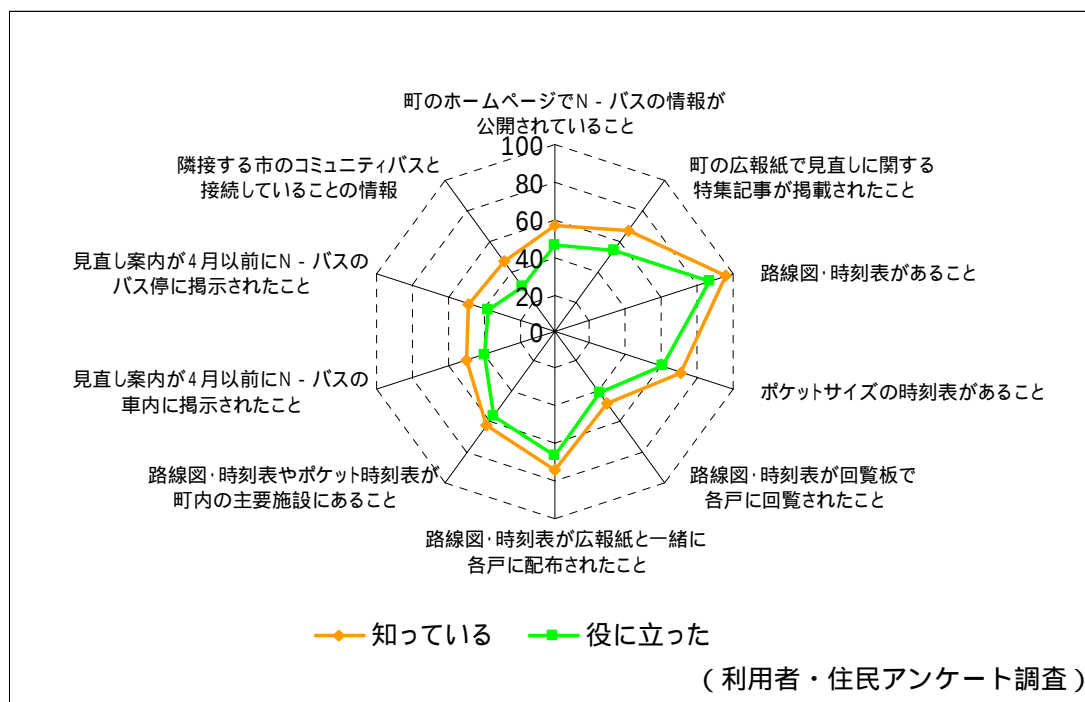


図 周知・広報活動の取り組みの認知状況：「知っている」、「役に立った」の回答割合

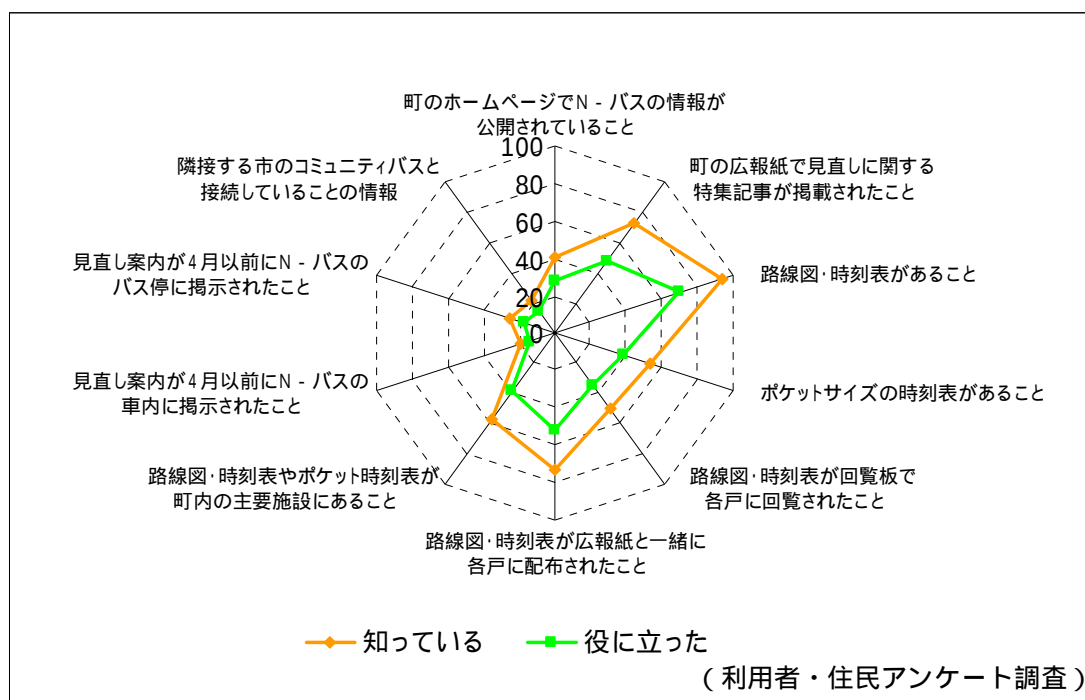


図 周知・広報活動の取り組みの認知状況：「知っている」、「役に立った」の回答割合

(6) 自由意見の集約

公共交通の推進度に関する自由意見

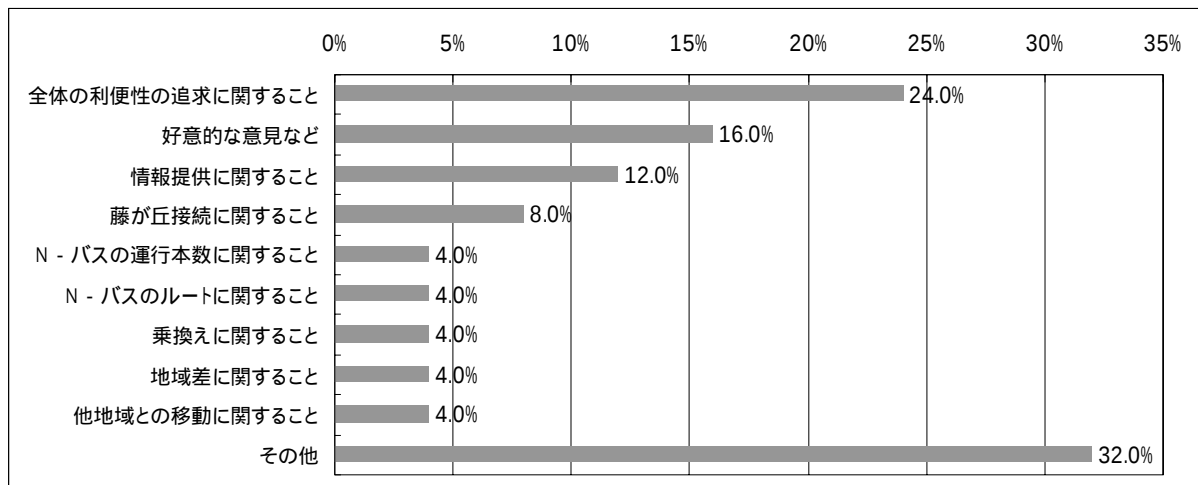
1) 市全体

全体の利便性の追求に関する意見が多く、地域差があること、全体が良くなるためのルート検討や、一部の利用に留まっているのではという意見があった。

情報提供に関しては、利用者や住民の意見がどのように反映されたかを求める意見があった。

公共交通の推進度に関する市全体に対する意見集約

(回答者数 : 25名、延意見数 : 27件)



(平成22年度利用者アンケート)

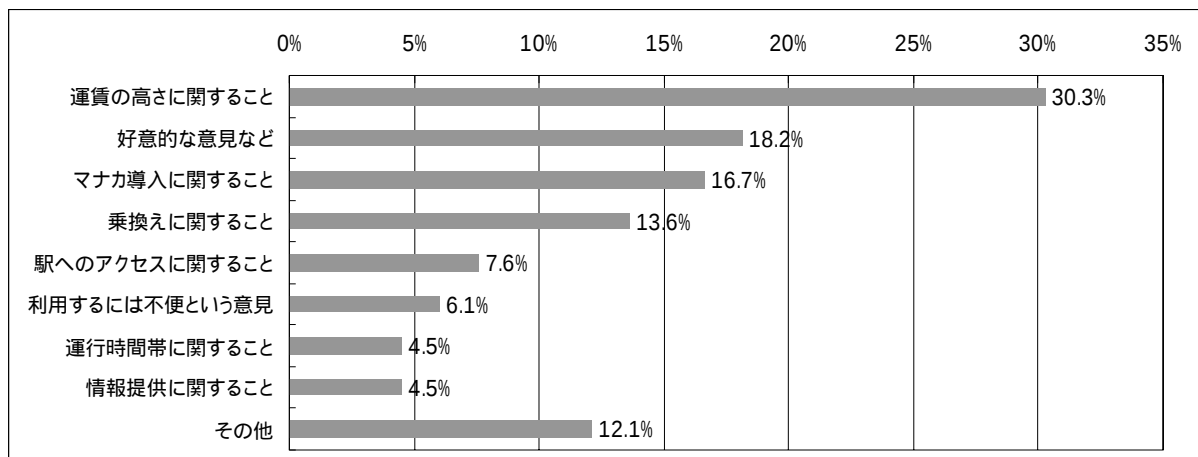
2) リニモ

運賃の高さとマナカの導入に関する意見が多くなっている。

乗換えに関しては、藤が丘駅での接続の悪さや、乗換え移動に不便を感じるこの意見があった。

公共交通の推進度に関するリニモに対する意見集約

(回答者数 : 66名、延意見数 : 75件)



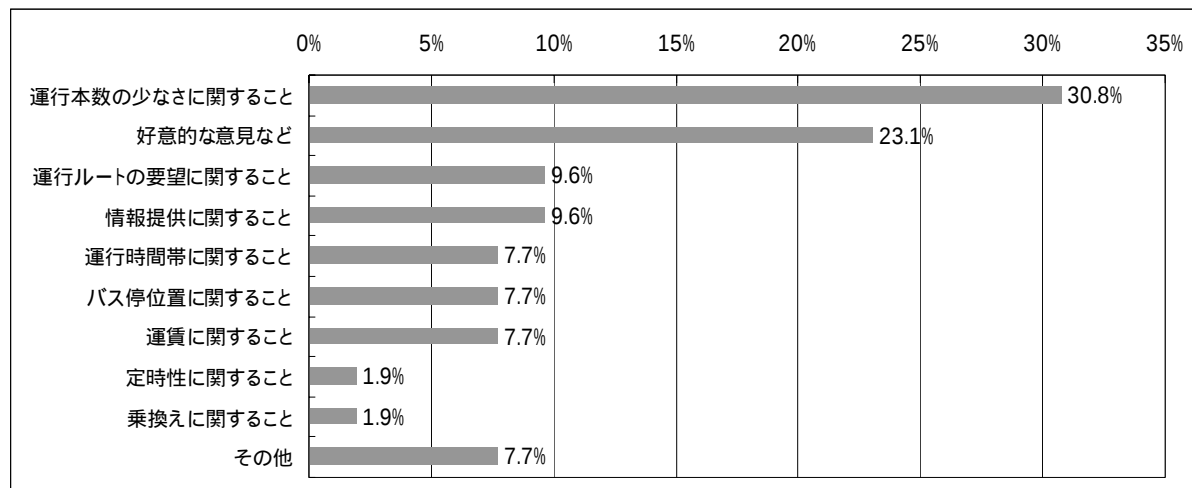
(平成22年度利用者アンケート)

3) 名鉄バス

運行本数の少なさに関する意見が多くなっている。

公共交通の推進度に関する名鉄バスに対する意見集約

(回答者数：52名、延意見数：56件)



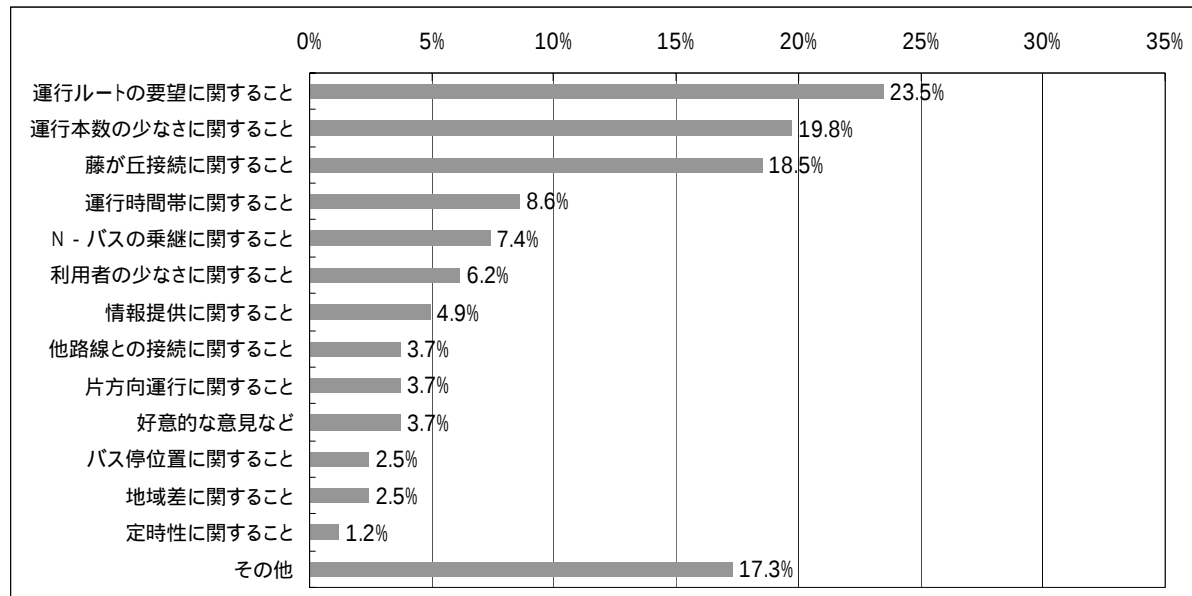
(平成22年度利用者アンケート)

4) N - バス

運行ルートの要望、運行本数の少なさ、藤が丘接続に関する意見が多くなっている。

公共交通の推進度に関するN - バスに対する意見集約

(回答者数：81名、延意見数：100件)



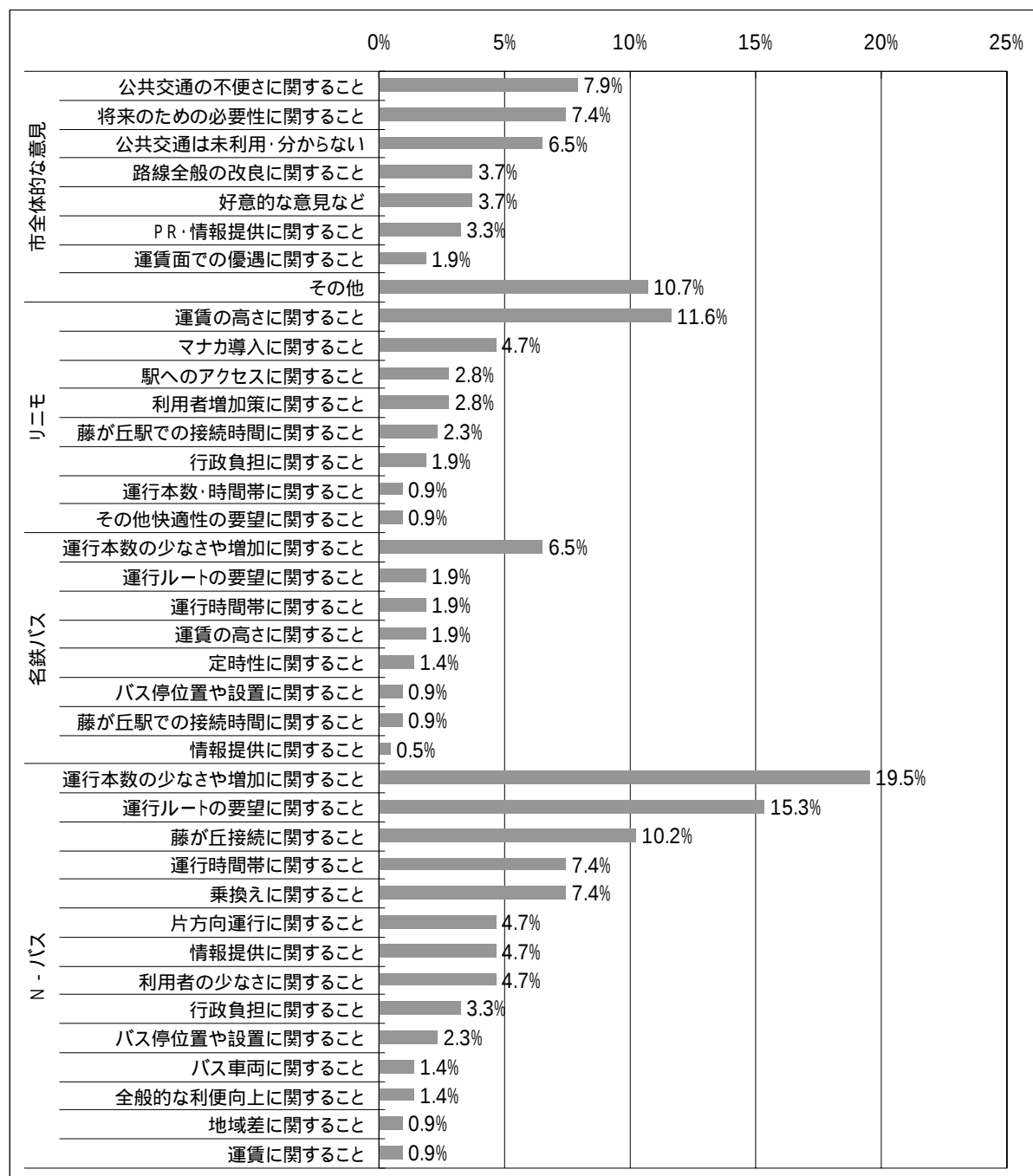
(平成22年度利用者アンケート)

長久手市の公共交通に関する自由意見

市全体や交通事業者ごとの意見の上位は、公共交通の推進度で多かった意見と同じ傾向となっている。

長久手市の公共交通に関する意見集約

(回答者数 : 215名、延意見数 : 372件)



(平成23年度住民アンケート)